NEC プロジェクター

ViewLight®
ビューライト

NP-PX602UL-WHJD/ NP-PX602WL-WHJD

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

1. 添付品や名称を確認する — 1
2. 映像を投写する（基本操作） — 2
3. 便利な機能 — 3
4. マルチスクリーン投写 — 4
5. オンスクリーンメニュー — 5
6. 機器と接続する — 6
7. 本体のお手入れ — 7
8. ユーザーサポートウェア — 8
9. 付録 — 9

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピュータやブルーレイプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名
  NP-PX602UL-WHJD/NP-PX602WL-WHJD
- 機種名について
  本機に貼付しているラベルでは、機種名を「NP-PX602UL」または「NP-PX602WL」と表記しています。
  取扱説明書では、機種名の末尾に「-WHJD」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Printed in China　2014年11月　2版

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

本機は日本国内専用です

国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
  添付の電源コードは国内使用専用です。
  日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
  詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に

- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - コードの上に重い物をのせない
  - コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - コードの上を敷物などで覆わない
  - コードを傷つけない、加工しない
  - コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - コードを加熱しない

  電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - 風呂やシャワー室で使用しない
  - プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

  万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - 暖房の近くや振動の多い所
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 油煙や湯気の当たるような場所
  - 調理台や加湿器のそば

⚠警告

動作中にレンズをふさがない

● 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。

● プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

内部に物を入れない

異物挿入禁止

● プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

● プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
また改造しないでください。火災・感電およびレーザ光がもれる原因となります。
内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

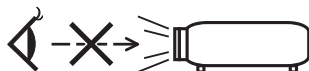
プロジェクターのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

● プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

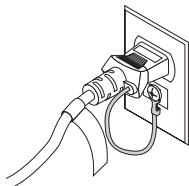
● 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。
視力障害の原因になります。

● プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

● プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

天吊りの設置について

● 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠注意

機器のアースは確実にとってください

- 本機の電源プラグはアース付き２芯プラグです。
  機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は31 ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風孔をふさがない

- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。
  火災の原因となることがあります。
  プロジェクターを設置する場所は周囲から適切な空間をあけてください。（➡10 ページ）

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動するときは電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。
- 移動する場合は、レンズフードを持たないでください。
  レンズフードが外れ本体が落下し、けがの原因となることがあります。
- 本機に別売のセーフティカバーを取り付けているとき、移動する場合は、セーフティカバーを持たないでください。
  セーフティカバーが外れ本体が落下し、けがの原因となることがあります。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない

- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- 本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

レンズシフト動作中は指の挟み込みに注意

- レンズシフト動作中は、レンズフード内部に手を近づけないでください。
  レンズフードとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

電池の取り扱いについて

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について

内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1 年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する

- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

⚠注意

光源のレーザモジュールについて

- 本製品にはレーザモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザ放射の露光に結びつくことがあります。

本製品は、クラス 2 レーザ製品に分類されます。

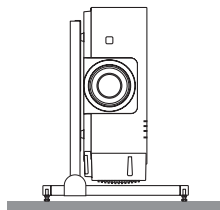
このクラス 2 レーザ製品の説明ラベルと警告ラベルは、プロジェクター本体の右側面に貼付されています。

3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意

- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
  - ・3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
  - ・スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
  - ・長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
  - ・本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
  - ・視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

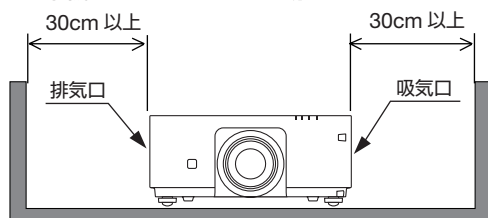
- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機は、本体を左右方向に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
  ただし、ポートレート設置※は可能です。ポートレート設置のときは、吸気口が下側になるように設置してください。ポートレート設置上のご注意をご覧ください。
  ※ 専用置台の製作および別売のセーフティカバーを本体に取り付ける必要があります。(153 ページ)

- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5 時間／日または 260 日／年を超えて)使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。(115 ページ)
- 標高約 760m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高速」に設定してください。「高速」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  ・本機を移動する際は、いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズユニットに添付のレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてください。
  ・プロジェクター本体に強い衝撃や振動を与えないように注意して運んでください。

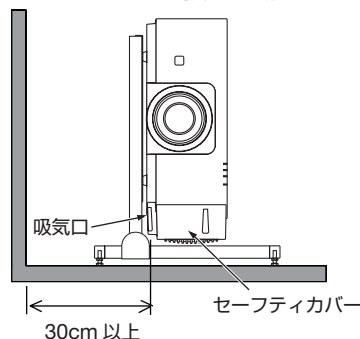
・宅配便や貨物輸送はレンズユニットを外し、ご購入の際の梱包箱をご使用ください。プロジェクターの故障の原因となります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
- 廃棄について
  本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

設置する際の周囲との距離についての注意

本機を設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。
本機から出た高温の排気が再び本機に吸気される場合があります。
また、エアコンから吹き出された風が本機に当たらないようにしてください。
本機の温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。

例 1：本機の左右に壁がある場合

（注）左の図において、プロジェクター本体の前方、および上方は十分な空間があるものとします。

例 2：ポートレート投写の場合

（注）左の図において、プロジェクター本体の前方、後方、および上方は十分な空間があるものとします。ポートレート投写の設置例については、153 ページをご覧ください。

別売のレンズユニット取り扱い上の注意

本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。また、添付の防塵キャップは必ず取り付けてください。取り付けないと、光学ユニット内部にほこりなどが入り、光学部品の損傷や画質劣化の原因となります。

電源プラグを抜く際の注意

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本体の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- 本機の電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜くことができます。
  映像投写中に AC 電源を切断した直後や、本機の電源を切った直後は、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
  アスペクト、台形補正、部分拡大、マルチスクリーンなどの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機の使用目的に応じて、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

① スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。
  HDMI OUT 端子、Ethernet/HDBaseT ポート、USB ポート、LAN 機能、メール通知機能
  詳しくは、132 ページをご覧ください。

② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）

- 「1 時間」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。
  詳しくは、133 ページをご覧ください。

目次

はじめに …… 表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください … 3
お願い …… 9
目次 …… 12
本書の表記について …… 14

1. 添付品や名称を確認する …… 15

1-1. 特長 …… 15
1-2. 添付品の確認 …… 17
1-3. 本体各部の名称 …… 19
1-4. リモコン各部の名称 …… 25

2. 映像を投写する（基本操作） …… 30

2-1. 映像を投写する流れ …… 30
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する …… 31
2-3. 本機の電源を入れる …… 32
2-4. 入力信号を選択する …… 35
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する …… 38
2-6. コンピュータの映像を自動調整する …… 43
2-7. 本機の電源を切る …… 44
2-8. あとかたづけ …… 45

3. 便利な機能 …… 46

3-1. 投写光を消去する（レンズシャッター）…… 46
3-2. 映像を消去する（AV ミュート）…… 46
3-3. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）…… 47
3-4. 動画を静止画にする（静止）…… 47
3-5. 映像の一部を拡大する（部分拡大）…… 48
3-6. ライトモードと省エネ効果 …… 49
3-7. 台形歪みを調整する（4 点補正）…… 51
3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する …… 54
3-9. 3D 映像を投写する …… 57
3-10. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作 …… 61

4. マルチスクリーン投写 …… 67

4-1. マルチスクリーン投写でできること …… 67
4-2. 2 つの映像を同時に投写する …… 71
4-3. エッジブレンディング機能を使って投写する …… 74

5. オンスクリーンメニュー …… 79

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …… 79
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 83
5-3. 入力端子 …… 88
5-4. 調整 …… 92
5-5. 表示 …… 103

5-6. セットアップ ……111
5-7. 情報 ……136

6. 機器と接続する …… 138

6-1. レンズユニット（別売）を取り付ける ……138
6-2. コンピュータと接続する ……142
6-3. ディスプレイと接続する ……145
6-4. ブルーレイプレーヤなどの AV 機器と接続する ……147
6-5. 書画カメラと接続する ……150
6-6. 有線 LAN と接続する ……151
6-7. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する ……152
6-8. ポートレート（縦向き）投写をする ……153
6-9. プロジェクターをスタック設置して投写する ……156

7. 本体のお手入れ …… 158

7-1. レンズの清掃 ……158
7-2. キャビネットの清掃 ……159

8. ユーザーサポートウェア …… 160

8-1. 添付ソフトウェアの動作環境 ……160
8-2. インストール方法 ……161
8-3. LAN を経由して本機を操作する（Virtual Remote Tool） ……164
8-4. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5）……167

9. 付 録 …… 170

投写距離とスクリーンサイズ……170
オプションボードの取り付け方法（別売） ……174
対応解像度一覧……176
仕様 ……180
外観図……183
主な端子のピン配列と信号名……185
故障かな？と思ったら……187
インジケータ表示一覧……192
トラブルチェックシート……194
索引 ……196
本製品に含まれる TOPPERS 適用ソフトウェアのライセンスについて ……199
別売品／商標について……201

保証と修理サービス（必ずお読みください）…… 203

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内 … 裏表紙

本書の表記について

マークの意味

マーク	意味
重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
注意	注意や制限事項を表しています。
参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
➡	本書内の参照ページを表しています。
適応機種	特定の機種についての説明を表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

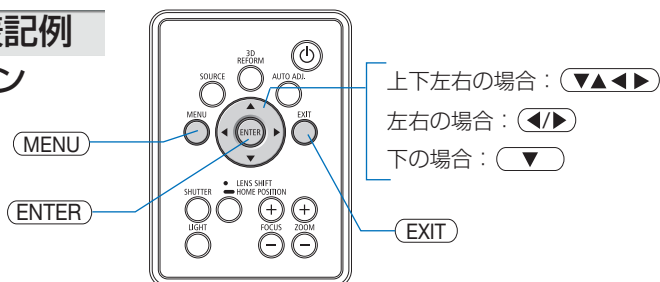
MENU

ENTER

上下左右の場合：▼▲◀▶

左右の場合：◀/▶

下の場合：▼

EXIT

●リモコンの操作ボタン

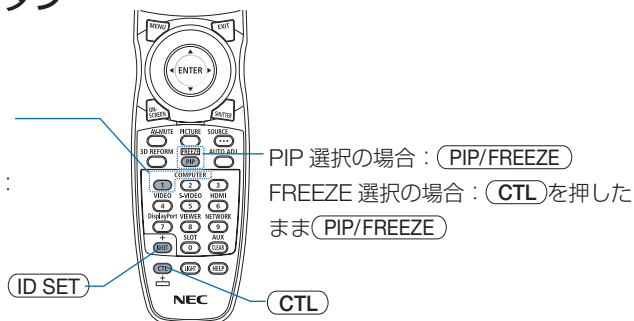
COMPUTER 1 選択の場合：
COMPUTER 1

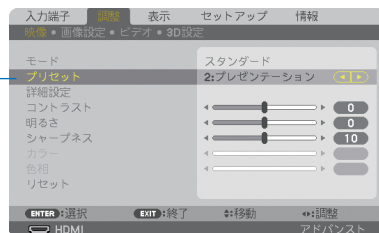
ID SET 数字 1 を選択の場合：
ID SET を押したまま 1

ID SET

PIP 選択の場合：PIP/FREEZE

FREEZE 選択の場合：CTL を押したまま PIP/FREEZE

CTL

メニュー項目の表記例

「プリセット」

● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

■全般

● 1 チップ DLP 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	DMD パネル	解像度	アスペクト比
NP-PX602UL-WHJD	0.67 型	1920 x 1200 ドット	16:10
NP-PX602WL-WHJD	0.65 型	1280 × 800 ドット	16:10

■光源・輝度

●長寿命レーザ光源を採用

レーザ光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

●幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 20%から 100%まで 1%刻みで調整することができます。

●輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。
ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

■設置

●設置場所に応じて選べるオプションレンズ

NP-PX602UL-WHJD は 3 種類、NP-PX602WL-WHJD は 4 種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。
また、レンズユニットの取り外し／取り付けが簡単に行えます。
なお、工場出荷時はレンズが装着されていませんので、別途オプションレンズをお買い求めください。

●チルトフリー、ポートレート投写

本機は、垂直方向 360° のどの角度でも設置が可能です。
また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写が行えます。
ただし、ポートレート投写以外で、本体を左右に傾けて設置することはできません。

● 2 台のスタック設置により、さらに高輝度投写が可能

本機を 2 台スタックして設置することにより、大画面でさらなる高輝度を実現できます。

●電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体側面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整（レンズシフト）ができます。

■映像

● HDMI、DisplayPort、BNC、HDBaseT などの豊富な入出力端子

HDMI、DisplayPort、BNC（5 芯）、コンピュータ（アナログ）、HDBaseT など、豊富な入出力端子を装備しています。
本機の HDMI 入出力端子、DisplayPort 入力端子は、HDCP に対応しています。
HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

●オプションスロットを装備

本機にはオプションスロットがあり、別売のオプションボードが装着できます。

● 2 つの映像を同時表示（PIP ／ PICTURE BY PICTURE）

本機 1 台で 2 つの映像を同時に投写することができます。
2 画面の配置には 2 種類あり、主画面の中に小さな子画面を表示する「ピクチャーインピクチャー」（PIP）と、主画面と副画面を左右に並べて表示する「ピクチャーバイピクチャー」（PICTURE BY PICTURE）があります。

●複数台のプロジェクターを用いたマルチスクリーン投写

本機は、HDMI 入出力端子を搭載しており複数台のプロジェクターをデイジーチェーンで接続することができます。そして、高解像度の映像を各プロジェクターに分割して投写することにより、高画質を実現できます。
さらに、エッジブレンディング機能により、画面の境界を滑らかにします。

● HDMI 3D 方式に対応

本機は、市販の Xpand 製 3D 対応のアクティブシャッター方式の 3D メガネと 3D エミッタという装置を使って、3D 映像を視聴することができます。

■ネットワーク

●便利なユーティリティソフト（User Supportware）を標準添付

添付の NEC Projector CD-ROM に収録している 3 つのユーティリティソフト（Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4（Windows 用）、PC Control Utility Pro 5（Mac OS 用））が使用できます。

● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

■省エネ

●スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットになります。

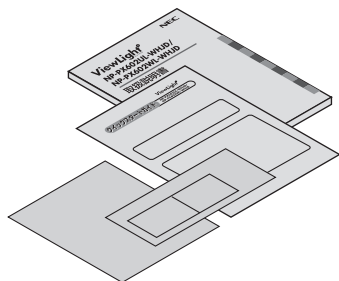
●消費電力を抑えるライトモードとカーボンメータ表示

使用中の消費電力を抑えるためライトモードを搭載しています。
さらに、ライトモード設定時の省エネ効果を CO_2 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメータ）。」

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	プロジェクター（本機） コンピュータやブルーレイプレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。 **防塵キャップ** 本体からレンズユニットを外したときの防塵用キャップです。大切に保管してください。 （注）レンズユニットは添付していません。ご利用目的に合ったレンズユニットをお買い求めください。 レンズユニットの種類と投写距離は 170 ページをご覧ください。
	リモコン（7N901041） 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 3 アルカリ乾電池 2 本をセットしてください。（27 ページ） **単 3 アルカリ乾電池（リモコン用）2 本** 添付のリモコンにセットします。
	電源コード（アース付き）（79TG0271） AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。
	スタッキングホルダー：3 個（79TG0291） 本機を積み重ねて投写する場合（スタック設置）、プロジェクターのチルトフットを乗せるためのホルダーです。（156 ページ）
	NEC Projector CD-ROM（7N952062） PDF（Portable Document Format）形式の取扱説明書（本書）とユーティリティソフトを収録しています。（160 ページ）

次ページに続く

	取扱説明書（本書）（7N8N5152） 本機の使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。 **クイックスタートガイド（7N8N5161）** 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。 **保証書** プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。 **ビューライトクラブ申込書** ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。 **セキュリティラベル** 本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体に貼ってください。

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

レンズは別売です。レンズユニット NP35ZL を装着している状態で説明しています。

インジケータ表示部
電源入／スタンバイなど本機の状態をランプの点灯／点滅で知らせます。(21, 192 ページ)

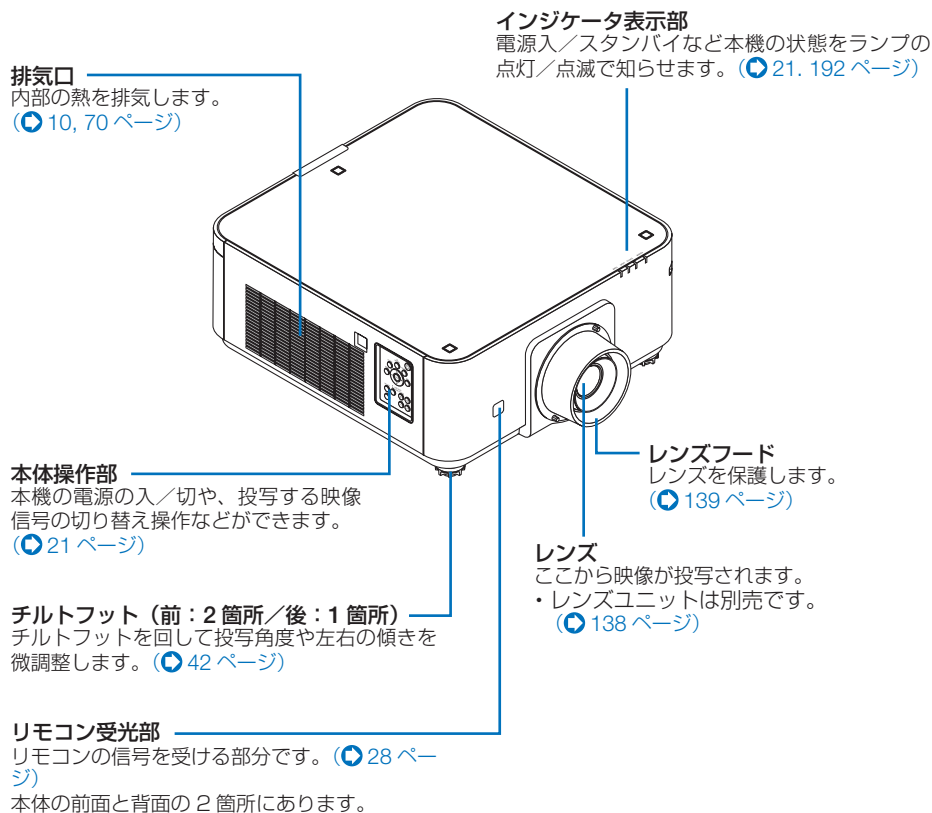
排気口
内部の熱を排気します。
(10, 70 ページ)

本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
(21 ページ)

レンズフード
レンズを保護します。
(139 ページ)

レンズ
ここから映像が投写されます。
・レンズユニットは別売です。
(138 ページ)

チルトフット（前：2 箇所／後：1 箇所）
チルトフットを回して投写角度や左右の傾きを微調整します。(42 ページ)

リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。(28 ページ)
本体の前面と背面の 2 箇所にあります。

本体背面

吸気口
外気を取り込み、内部を冷却します。
底面に吸気口と通風口があります。
(10, 70 ページ)

セーフティカバー取り付けネジ穴(7 箇所)
ポートレート設置のとき使用するセーフティカバー(別売)の取り付け用ネジ穴です。
(155 ページ)

スタッキングホルダー取付部(3 箇所)
スタック設置のとき添付のスタッキングホルダーをネジ止めします(3 箇所)。
(156 ページ)

リモコン受光部

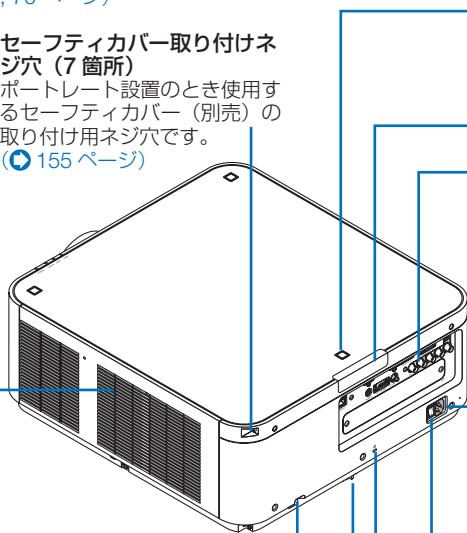
接続端子部
各種映像信号などのケーブルを接続します。(23 ページ)

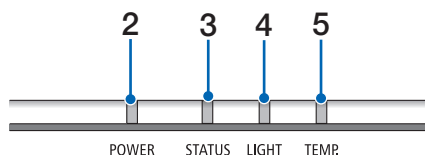
AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。
(31 ページ)

主電源スイッチ
主電源スイッチを「I(入)」にすると、スタンバイ状態になります。
(32 ページ)

セキュリティバー
盗難防止用チェーン(またはワイヤー)を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

盗難防止用ロック
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下記の参考をご覧ください。

チルトフット

- 盗難防止用ロックについて
  盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部／インジケータ表示部

1 ⏻ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入／スタンバイ（待機状態）します。

電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度⏻ボタンを押します。

2 POWER インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。（➡ 33, 192 ページ）

電源がスタンバイ状態のときは赤色に点灯します（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）。

3 STATUS インジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。（➡192 ページ）

4 LIGHT インジケータ

光源の状態をお知らせします。（➡193 ページ）

5 TEMP. インジケータ

プロジェクター内部の温度が高くなっている（オレンジ点灯）ことなどをお知らせします。（➡193 ページ）

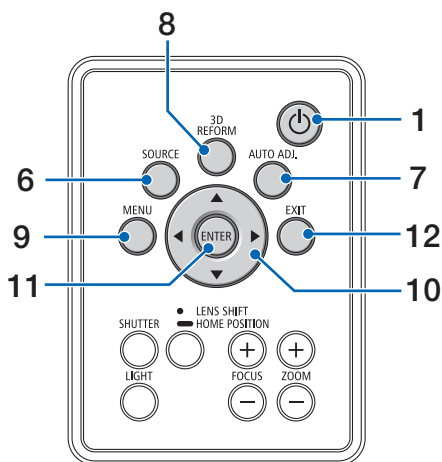
6 (SOURCE) ボタン

入力信号を選択します。

短く押すと、入力選択画面を表示します。

1 秒以上押すと、HDMI → DisplayPort → BNC → BNC(CV) → BNC(Y/C) →コンピュータ → HDBaseT → SLOT… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 (AUTO ADJ.) ボタン

コンピュータ（アナログ RGB）、HDMI、DisplayPort、HDBaseT 画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（➡ 43 ページ）

8 (3D REFORM) ボタン

オンスクリーンメニューの幾何学補正画面を表示します。「4 点補正」や「台形補正」で上下左右方向の台形歪みを調整します。（➡ 51, 104 ページ）

9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（➡ 79 ページ）

10 (▼▲◀▶) ボタン

- オンスクリーンメニューを表示しているときに(▼▲◀▶)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。（➡79 ページ）
- レンズシフト画面表示中はレンズシフトの調整ができます。（➡39 ページ）
- テストパターン表示中は、パターンを変更します。

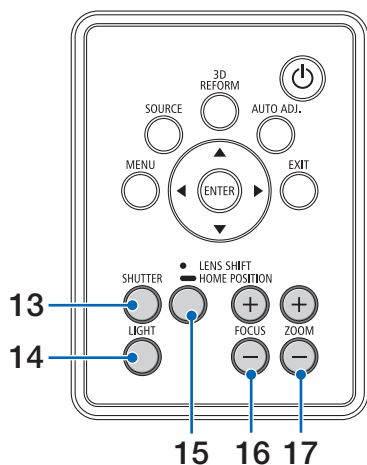
11 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

12 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

13 (SHUTTER) ボタン

押すごとに投写光を「入／切」します。
(➡ 46 ページ)

14 (LIGHT) ボタン

オンスクリーンメニューのライトモード画面を表示します。(➡ 49, 115 ページ)

15 (LENS SHIFT/HOME POSITION) ボタン

- 短く押すとレンズシフト画面を表示します。(▼▲◀▶) ボタンで調整します。
- 長く（2 秒以上）押すとレンズシフト調整がホームポジションに戻ります。
(➡ 39 ページ)

注意

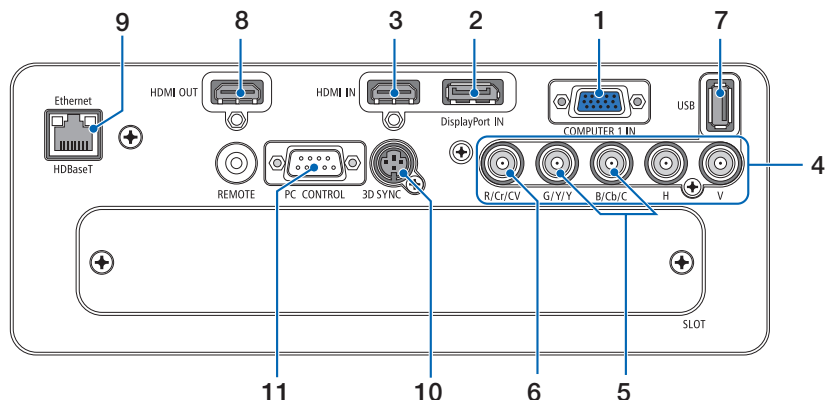
- レンズシフト位置の「ホームポジション」は、レンズ交換のための位置であり、レンズシフト調整可能範囲の中心位置ではありません。

16 (FOCUS +/–) ボタン

投写画面のピントを合わせます。(➡ 41 ページ)

17 (ZOOM +/–) ボタン

投写画面の大きさの微調整を行います。
(➡ 41 ページ)

接続端子部

1 COMPUTER 1 IN 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）
コンピュータのディスプレイ出力端子や、ブルーレイプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。
（➡ 31, 142, 148, 150 ページ）

2 DisplayPort IN 端子（DisplayPort 20ピン）
コンピュータなどの DisplayPort 出力端子と接続します。
（➡ 143 ページ）

3 HDMI IN 端子（タイプ A）
コンピュータやブルーレイプレーヤなどの HDMI 出力端子と接続します。
（➡ 143,144, 149 ページ）

4 BNC 入力端子

BNC（R/G/B/H/V）入力端子（BNC 5 芯）
市販の BNC ケーブル（5 芯タイプ）を使用して、コンピュータのディスプレイ出力端子などと接続します。
（➡ 142 ページ）

BNC（Cr/Y/Cb）入力端子（BNC 3 芯）
市販の BNC ケーブル（3 芯タイプ）を使用して、ブルーレイプレーヤの色差出力端子（DVD 映像出力）などと接続します。
（➡ 148 ページ）

5 BNC（Y/C）入力端子（BNC 2 芯）
市販の BNC ケーブル（2 芯タイプ）を使用して、ビデオデッキなどの S- ビデオ出力端子と接続します。
（➡ 147 ページ）

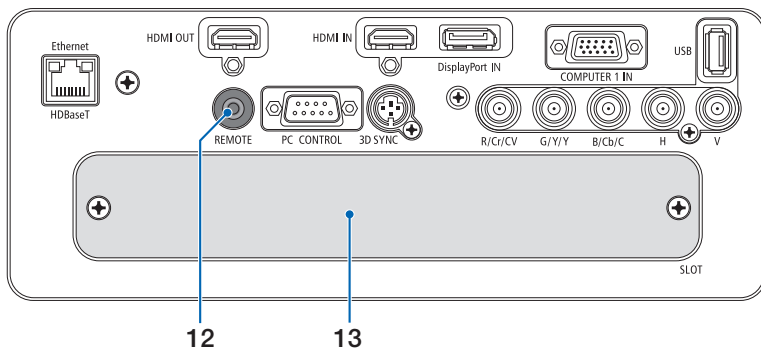
6 BNC（CV）入力端子（BNC）
市販の BNC ケーブル（1 芯タイプ）を使用して、ビデオデッキなどのコンポジットビデオ出力端子と接続します。（➡ 147, 150 ページ）

7 USB ポート（タイプ A）
将来の拡張機能用です。電源供給が可能です。

8 HDMI OUT 端子（タイプ A）
現在投写している画面が出力されます。（ただし、コンポジットビデオ画面と S- ビデオ画面は出力されません）。（➡ 145 ページ）
また、PIP/PICTURE BY PICTURE のサブ入力で、HDMI、DisplayPort、HDBaseT および SLOT が選択されている場合は、その端子の信号が出力されます。

9 Ethernet/HDBaseT ポート（RJ-45）
本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。（➡ 151 ページ）
また、本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。（➡ 152 ページ）

10 3D SYNC 端子（ミニ DIN-4 ピン）
3D 同期信号が必要な 3D 映像視聴システムに使います。（➡ 59 ページ）

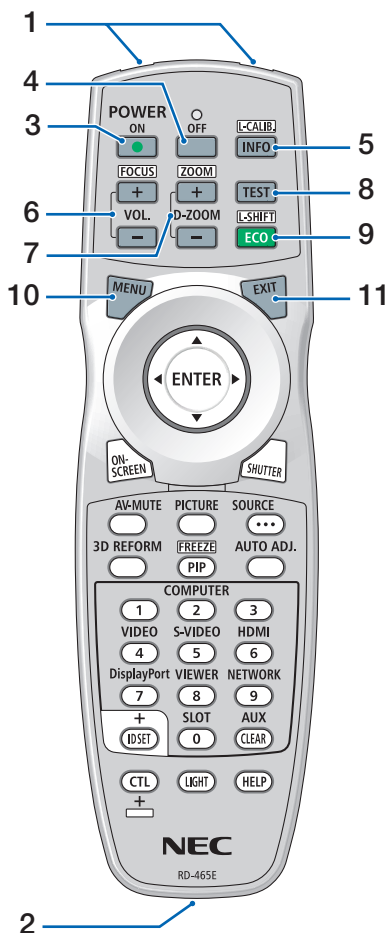
11 PC CONTROL 端子（D-Sub 9 ピン）
コンピュータで本機を操作するときに使用します。

12 REMOTE 端子（ステレオ・ミニ）

市販のφ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。（29 ページ）

- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作が行えません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作が行えます。

13 SLOT

別売のオプションボードを取り付けるための拡張用スロットです。
工場出荷時は開口部をふさぐためのプレートを取り付けています。
（174 ページ）

1-4. リモコン各部の名称

1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するときに、市販のφ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を接続します。（29 ページ）

3 POWER (ON) ボタン

スタンバイ時（POWERインジケータが赤色※に点灯）に本機の電源を入れます。
（※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

4 POWER (OFF) ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(OFF)（または(ENTER)）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

5 (INFO/L-CALIB.) ボタン

オンスクリーンメニューの情報の「信号（1）」を表示します。（136 ページ）

6 (VOL./FOCUS +/－) ボタン

(CTL)ボタンと同時に押して、レンズのフォーカスを調整します。（41 ページ）
（VOL. ボタンの機能は、本機では使用できません。）

7 (D-ZOOM/ZOOM +/－) ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をデジタルで行います。（48 ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズのズームを調整します。（41 ページ）

8 (TEST) ボタン

テストパターンを表示します。(◀/▶)ボタンでテストパターンを切り替えます。
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

9 (ECO/L-SHIFT) ボタン

ライトモード選択画面を表示します。（49 ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズシフト調整画面を表示します。
(▼▲◀▶)ボタンでレンズ位置を調整します。
（39 ページ）

10 (MENU)ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

11 (EXIT)ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

12 ENTER **ボタン**

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

13 ▼▲◀▶ **ボタン**

オンスクリーンメニュー操作や D-ZOOM/ZOOM +/− ボタン、ECO/L-SHIFT ボタンと組み合わせて使用します。(➡ 79, 48, 40 ページ)

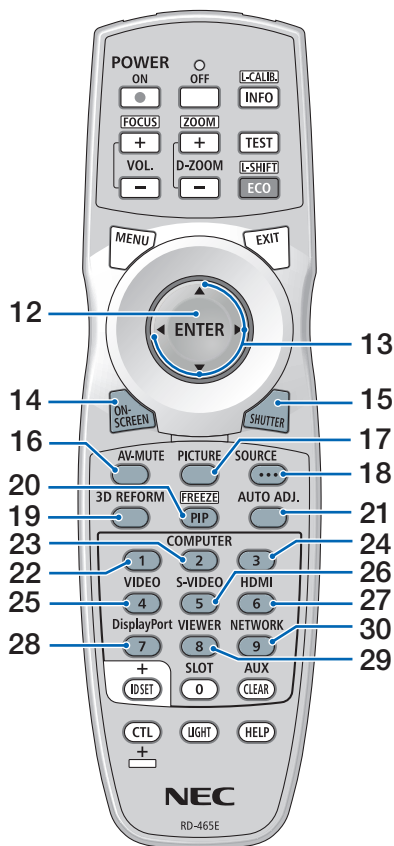
14 ON-SCREEN **ボタン**

オンスクリーン表示を消します。(➡ 47 ページ)
もう一度押すと戻ります。

15 SHUTTER **ボタン**

光源を消灯して、投写光を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(➡ 46 ページ)

16 AV-MUTE **ボタン**

映像を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(➡ 46 ページ)

17 PICTURE **ボタン**

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(➡ 92, 95 ページ)

18 SOURCE **ボタン**

入力信号を検出します。
HDMI → DisplayPort → BNC → BNC(CV) → BNC(Y/C) → コンピューター→ HDBaseT → SLOT… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

19 3D REFORM **ボタン**

上下左右方向の台形歪みを調整します。
(➡ 51, 104 ページ)

20 PIP/FREEZE **ボタン**

2 つの映像を同時に投写します。
表示方法には、画面の中に小さい画面を投写する「ピクチャーインピクチャー機能」と 2 つの画面を並べて投写する「ピクチャーバイピクチャー機能」があります。(➡ 71 ページ)
CTL ボタンと同時に押すと、表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(➡ 47 ページ)

21 AUTO ADJ. **ボタン**

HDMI、DisplayPort、コンピュータ(アナログ RGB、HDBaseT 画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
(➡ 43 ページ)

22 COMPUTER 1 **ボタン**

COMPUTER 1 IN 端子(またはコンポーネント)を選択します。

23 COMPUTER 2 **ボタン**

BNC 入力端子を選択します。

24 COMPUTER 3 **ボタン**

(本機では使用できません。)

25 VIDEO **ボタン**

BNC(CV)入力端子を選択します。

26 S-VIDEO **ボタン**

BNC(Y/C)入力端子を選択します。

27 HDMI **ボタン**

HDMI IN 端子を選択します。

28 DisplayPort **ボタン**

DisplayPort IN 端子を選択します。

29 VIEWER **ボタン**

(本機では使用できません。)

30 NETWORK **ボタン**

HDBaseT ポート(または Ethernet)を選択します。

31 SLOT ボタン
SLOT を選択します。

32 ID SET ボタン
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(➡ 122 ページ)

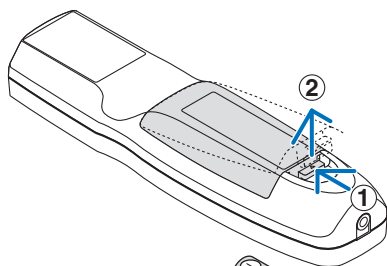
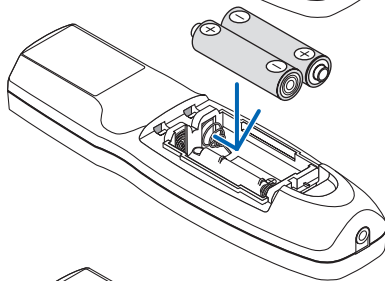
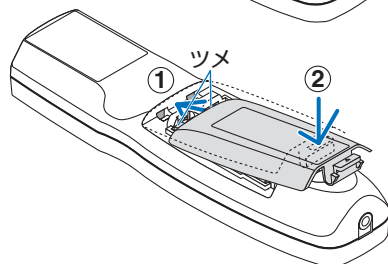
33 数字（0〜9）入力ボタン
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します（コントロール ID 設定）。
CLEAR ボタンは、コントロール ID 設定を解除する場合に使用します。(➡ 123 ページ)
（AUX ボタンの機能は、本機では使用できません。）

34 CTL ボタン
他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

35 LIGHT ボタン
ボタンのバックライトが点灯します。10 秒間ボタン操作をしないと消灯します。

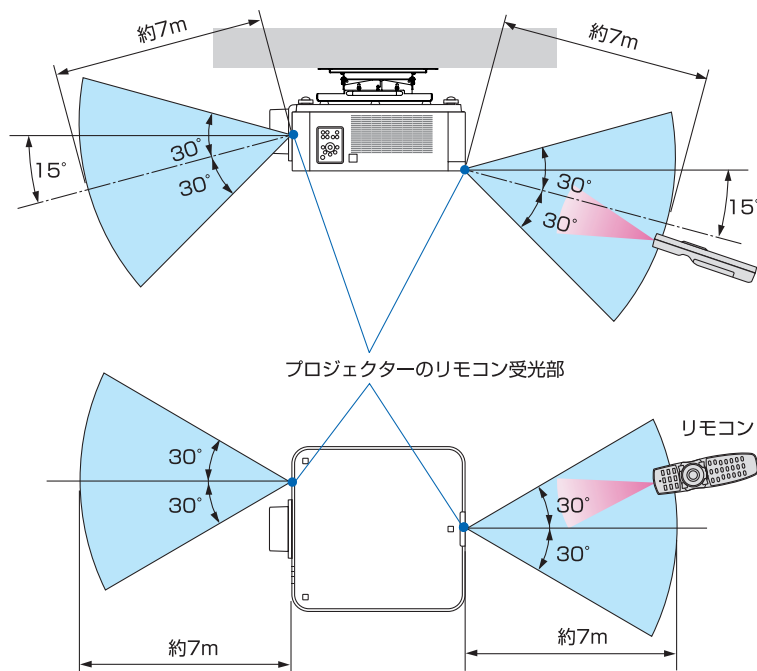
36 HELP ボタン
情報画面を表示します。(➡ 136 ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

2 ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単 3 アルカリ乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。
ふたのツメをケースのミゾに入れてからふたをしめます。

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 3 アルカリ乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

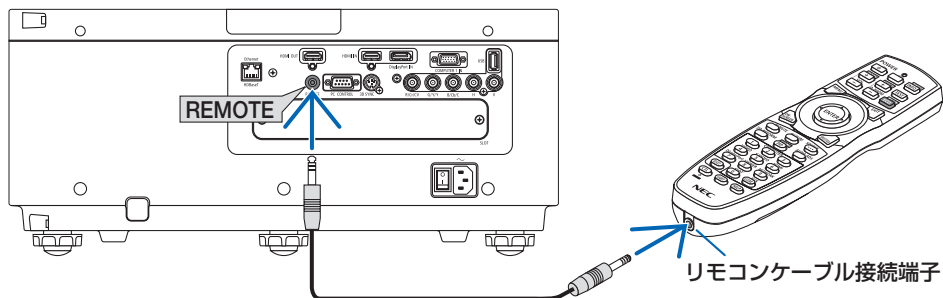
リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】

（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 上記の範囲内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。

- リモコンケーブルは、市販のφ 3.5 ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

1. コンピュータと接続する

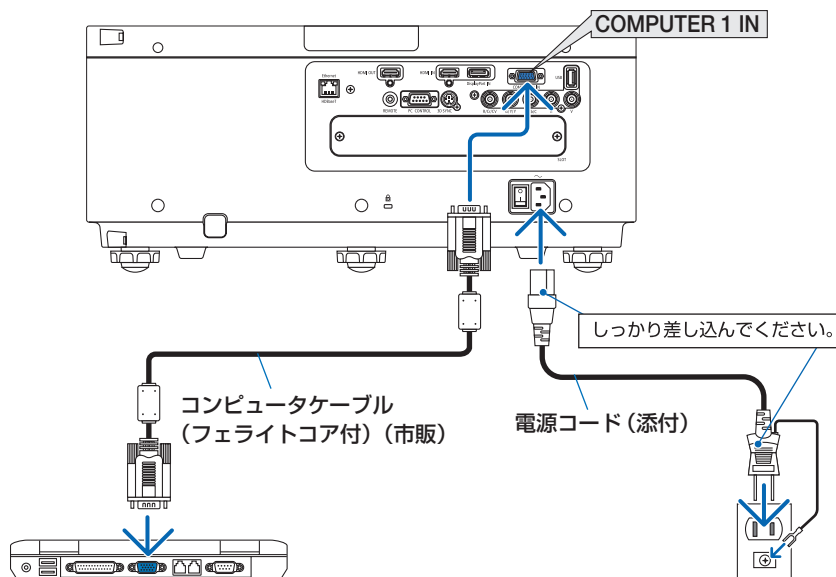
ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」142 ～ 152 ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機の COMPUTER 1 IN 端子を、市販のコンピュータケーブル（フェライトコア付）で接続しコネクタのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。

	機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

● 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○（切）」の状態で行ってください。主電源スイッチが「I（入）」の状態で電源コードの取り付けを行うと、故障の原因となります。

	電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

本機の電源の入／切は、主電源スイッチと ⏻ボタン（リモコンは POWER ON OFF ボタン）の 2 段階の操作で行います。

● 電源を入れる （➡このページ）

1 主電源スイッチを「I（入）」にする。
本機がスタンバイ状態になります。

2 ⏻ボタン（リモコンは POWER ON ボタン)」を押す。
本機の電源が入ります。

● 電源を切る （➡ 44 ページ）

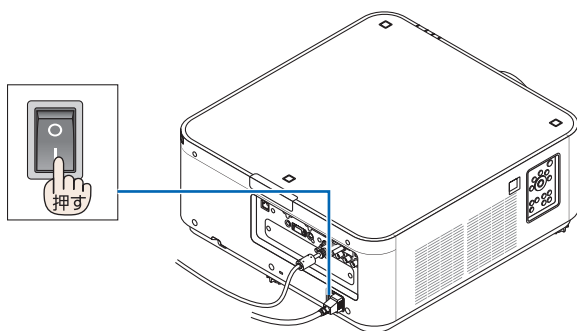
1 ⏻ボタン（リモコンは POWER OFF ボタン)」を押す。
画面に確認メッセージが表示されます。

2 もう一度「⏻ボタン（リモコンは POWER OFF ボタン)」を押す。
本機がスタンバイ状態になります。

3 ファンの回転が終わったら、主電源スイッチを「○（切)」にする。
本機の電源が切れます。

1 主電源スイッチを「I（入)」にする。

POWER インジケータが赤色※に点灯します。

※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。（➡ 132 ページ）

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

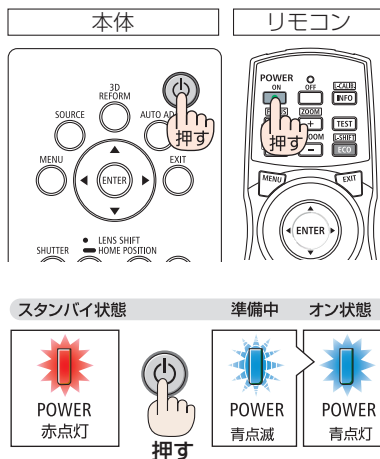
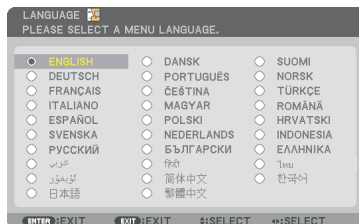
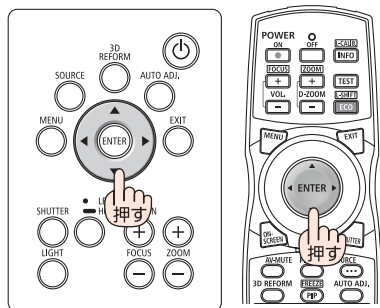
● スタンバイ状態のとき、ネットワークに接続したり HDBaseT 信号を受信したりすると、スリープ状態に移行します。スリープ状態では内部部品保護のためにファンが回転します。
スリープ状態については、（➡ 132 ページ）をご覧ください。

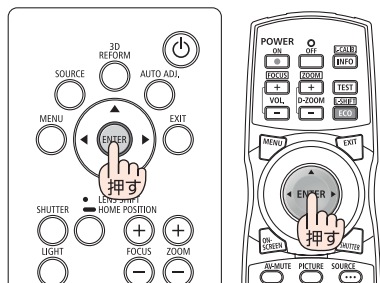
2 電源⏻ボタンを押す。

POWER インジケータが赤色の点灯から青色点滅に変わり、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。（41 ページ）

参考

● 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（54 ページ）

- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE 画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。
- 誤って「日本語」以外を選択した場合は、オンスクリーンメニューを表示して「言語」を変更することができます。（111 ページ）

❶ (▼▲◀▶) ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

❷ (ENTER) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。

- 次のような場合は、⏻ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ⏻ボタンを押している間に STATUS インジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（➡ 121 ページ）
- POWER インジケータが青色で短い点滅をしているときは⏻ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。

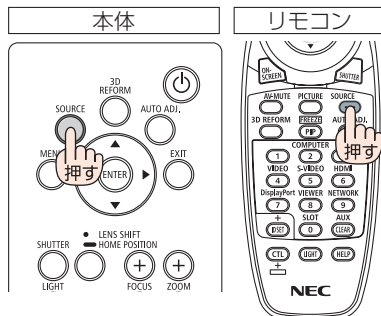
2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

1 本機に接続しているコンピュータやブルーレイプレーヤなどの電源を入れる。

ブルーレイプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (SOURCE) ボタンを 1 秒以上押す。

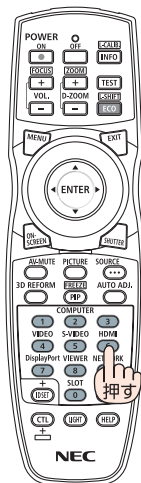
HDMI → DisplayPort → BNC → BNC(CV) → BNC(Y/C) →コンピューター→ HDBaseT → SLOT の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

・短く押すと、入力端子画面が表示されます。(▼/▲)ボタンを押して目的の入力端子に合わせて、(ENTER)ボタンを押すと入力が切り替わります。
入力端子画面のメニュー表示を消すには(MENU)ボタンまたは(EXIT)ボタンを押します。

リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 本機に接続しているコンピュータやブルーレイプレーヤなどの電源を入れる。

ブルーレイプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

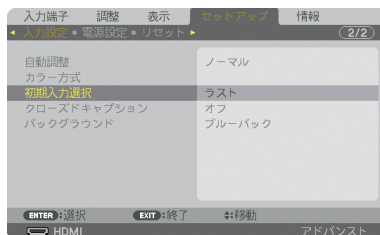
2 リモコンの(HDMI)、(DisplayPort)、(COMPUTER 2)、(VIDEO)、(S-VIDEO)、(COMPUTER 1)、(NETWORK)、(SLOT)ボタンを押す。

・(COMPUTER 2)ボタンは BNC入力端子を選択します。
・(VIDEO)ボタンは BNC (CV) 入力端子 (コンポジットビデオ信号) を選択します。
・(S-VIDEO)ボタンは BNC (Y/C) 入力端子 (S- ビデオ信号) を選択します。

自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「入力設定」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。（➡79 ページ）

2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(ENTER)ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。

3 (EXIT)ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順 **2** で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータの同期信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン選択）。（➡ 133 ページ）
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
  ブルーレイプレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
  ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - Windows の場合はファンクションキーを使います。
    Fn キーを押したまま（⎵/▭）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。
    通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
  - Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

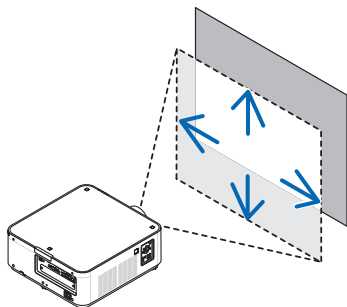
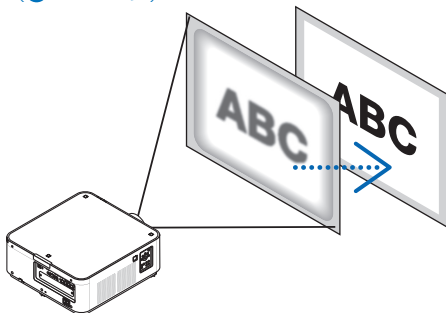
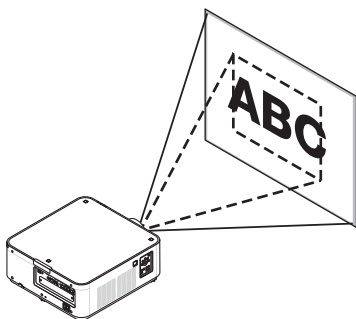
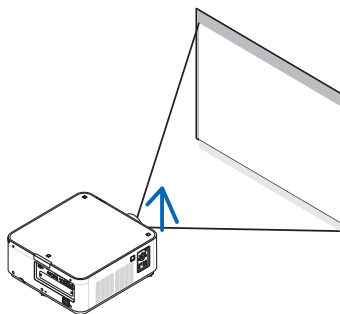
【コンピュータメーカーとキー操作の例】

キー操作	メーカー
Fn＋F2	MSI
Fn＋F3	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
Fn＋F4	HP、Gateway
Fn＋F5	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
Fn＋F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn＋F8	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
Fn＋F10	FUJITSU

※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
　表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。
  （➡ 35 ページ）

2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

(注 1) チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

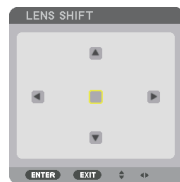
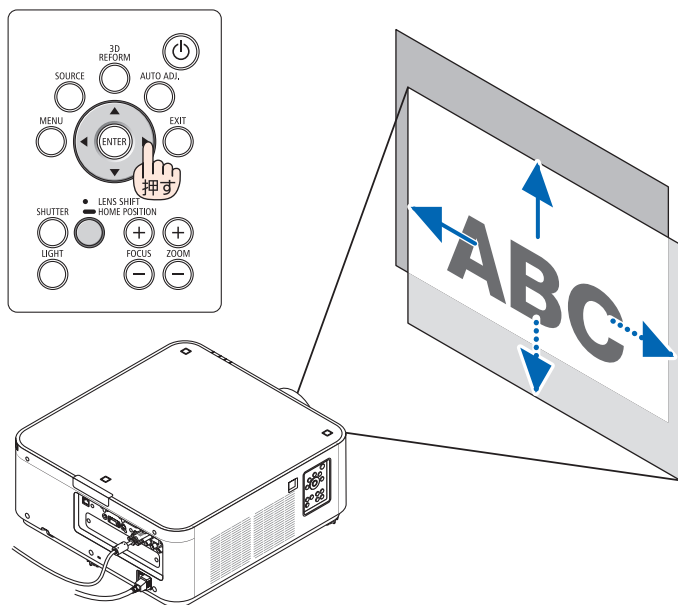
※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）

- 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズフード内部に手を入れないでください。レンズフードとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

●本体で調整する

1 (LENS SHIFT/HOME POSITION)ボタンを押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。

2 (▼▲◀▶)ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。

レンズシフトをホームポジションに戻す場合

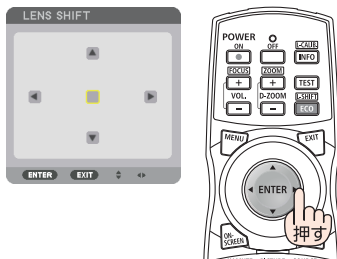
(LENS SHIFT/HOME POSITION)ボタンを長押し（約 2 秒以上）すると本機のレンズ位置がホームポジション（ほぼ中心位置）に戻ります。

●リモコンで調整する

1 **(CTL)ボタンを押したまま(ECO/L-SHIFT)を押す。**

レンズシフト調整画面が表示されます。

2 **(▼▲◀▶)ボタンを押す。**

矢印の方向に投写画面が移動します。

レンズキャリブレーションについて

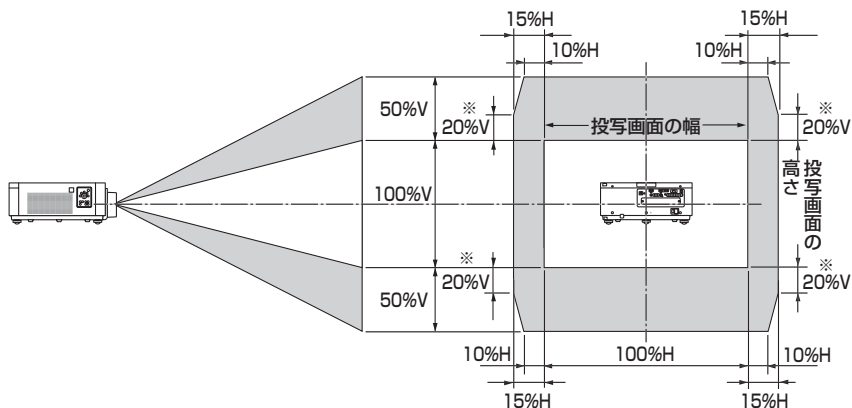
誤ってレンズシフト動作中に本機の電源を遮断すると、レンズのホームポジションがずれレンズシフトの動作が異常になる場合があります。
その場合は、レンズキャリブレーションを実行してください。

操作手順

1 本機の電源を入れる。

2 リモコンの(CTL)ボタンを押したまま(INFO/L-CALIB.)ボタンを押す。
レンズキャリブレーションが実行されます。

参考

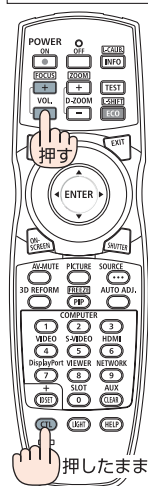
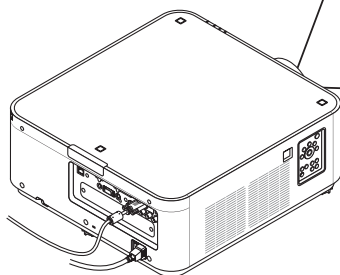
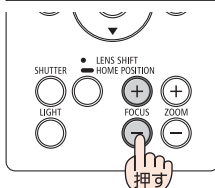
- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。これ以上投写位置を上げたいときはチルトフットを使います。（➲ 42 ページ）

※印：NP-PX602WL-WHJD は 30% V になります。

記号の意味：V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表わし、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス）

1 (FOCUS +/–)**ボタンを押す。**

・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/–)ボタンを押します。

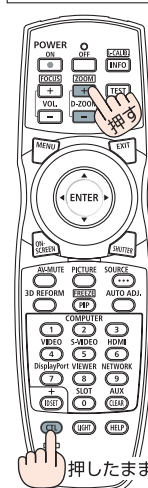
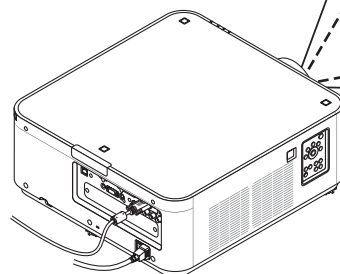
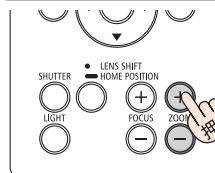
フォーカス（画面のピント）が調整されます。

投写画面の大きさの調整（ズーム）

1 (ZOOM +/–)**ボタンを押す。**

・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(D-ZOOM/ZOOM +/–)ボタンを押します。

ズームが調整されます。

2

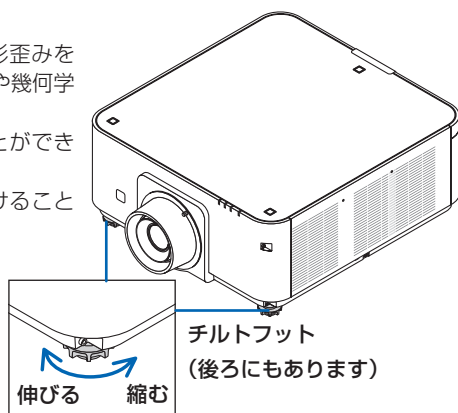
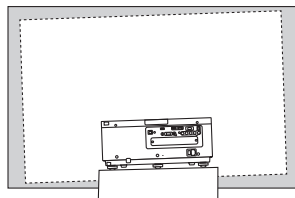
映像を投写する（基本操作）

投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）

1 **左右と後ろのチルトフットを回して調整する。**

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。
【投写画面の高低調整】
左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。

【投写画面の傾き調整】
左右に傾いているときは、左右どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

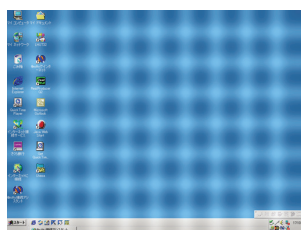
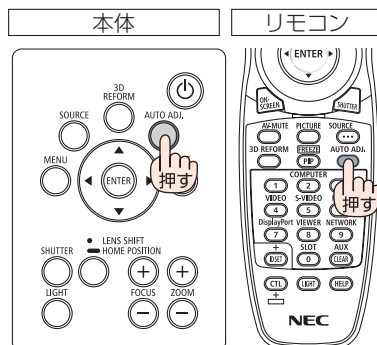
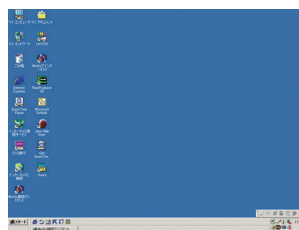
【スクリーン面との直角調整】
スクリーン面に対して本機を直角にする場合は後ろのチルトフットも回して調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「3-7. 台形歪みを調整する（4 点補正）」（➡ 51 ページ）や幾何学補正（➡ 104 ページ）をご覧ください。
- チルトフットは、最大 48mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 6° 傾けることができます。

- チルトフットは 50mm 以上伸ばさないでください。50mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. コンピュータの映像を自動調整する

HDMI IN 端子、DisplayPort IN 端子、BNC 入力端子(アナログ RGB)、COMPUTER 1 IN 端子、HDBaseT の入力信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

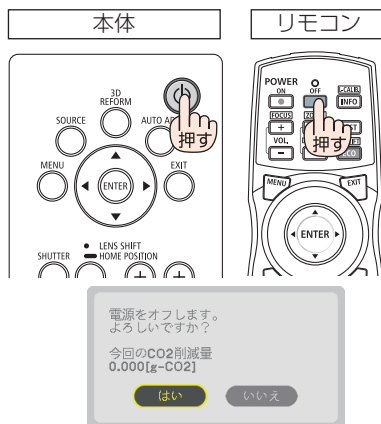
1 **(AUTO ADJ.) ボタンを押す。**

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

【映りが悪い画面の例】　【自動調整後の画面の例】

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(➔ 96, 97 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、190 ページを参照してください。

2-7. 本機の電源を切る

1 ⏻ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回の CO_2 削減量を表示します。(➡ 50 ページ)
- リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。

2 (ENTER) ボタンを押す。

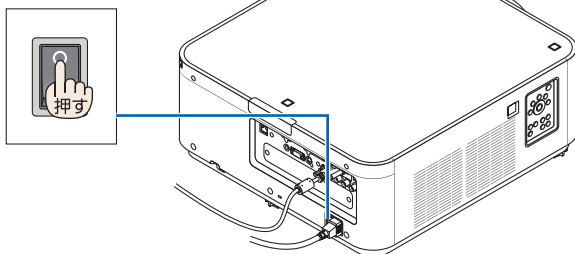
光源が消灯し、電源が切れます。

スタンバイ状態になると、POWER インジケータが赤色で点灯します。(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- (ENTER) ボタンの代わりに、⏻ボタンまたは POWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(◀/▶) ボタンで「いいえ」を選んで (ENTER) ボタンを押します。

3 スタンバイ状態になったのを確認し、主電源スイッチを「○（切）」にする。

本機の POWER インジケータが消え、主電源が切れます。

● POWER インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。

注意	投写中および冷却ファン回転中に主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-8. あとかたづけ

1 電源コードを取り外す。

2 各種信号ケーブルを取り外す。

3 レンズにレンズキャップを取り付ける。

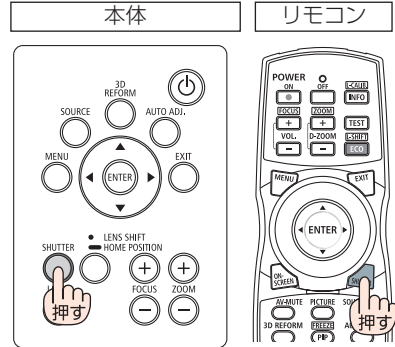
4 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

3. 便利な機能

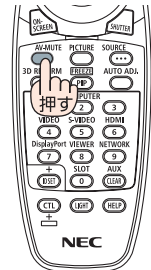
3-1. 投写光を消去する（レンズシャッター）

1 (SHUTTER)ボタンを押す。

光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。
もう一度(SHUTTER)ボタンを押すと投写されます。

本体

3-2. 映像を消去する（AV ミュート）

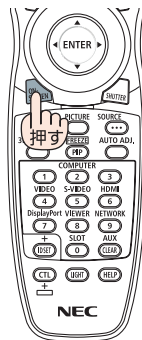
1 リモコンの(AV-MUTE)ボタンを押す。

投写されている映像が一時的に消えます。
・ もう一度(AV-MUTE)ボタンを押すと、映像が出ます。

● 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-3. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）

1 **リモコンの（ON-SCREEN）ボタンを押す。**

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出なくなります。

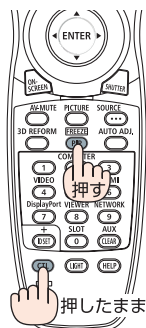
・ もう一度（ON-SCREEN）ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。

参考

● オンスクリーンミュートが有効になっているかは、（MENU）ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。
● 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。
● 本体でオンスクリーンミュートを無効にするには、（MENU）ボタンを 10 秒以上押し続けます。無効になると、入力端子のメニューが表示されます。

3-4. 動画を静止画にする（静止）

1 **リモコンの（CTL）ボタンを押したまま（PIP/FREEZE）ボタンを押す。**

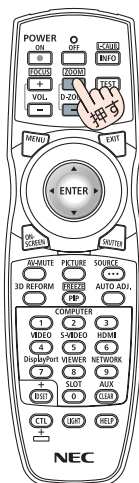
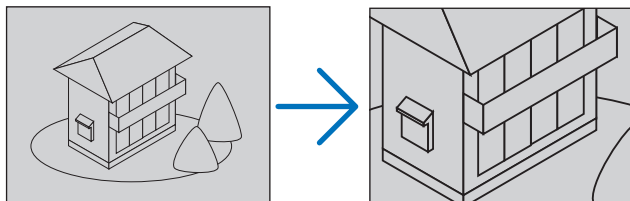
ブルーレイプレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・ もう一度（CTL）ボタンを押したまま（PIP/FREEZE）ボタンを押すと、動画に戻ります。

● （CTL）ボタンを押したまま（PIP/FREEZE）ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、ブルーレイプレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

3-5. 映像の一部を拡大する(部分拡大)

1 リモコンの D-ZOOM/ZOOM ＋ ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

・最大 4 倍まで拡大できます。

2 ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 D-ZOOM/ZOOM － ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

● 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合や動作を制限する場合があります。

● 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
● 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-6. ライトモードと省エネ効果

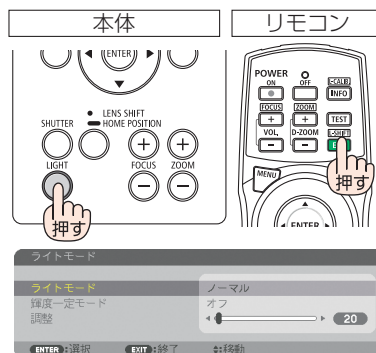
ライトモードをエコ 1 またはエコ 2 に設定すると、輝度が下がり動作音が小さくなります。また、消費電力を抑えて、本機の CO_2 排出量を削減します。

ライトモードの設定 （メニュー下部のアイコン表示）	輝度
ノーマル（表示なし）	輝度（明るさ）が 100%になります。 明るい画面になります。
エコ 1（ ）	輝度（明るさ）が約 80%になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力が下がります。
エコ 2（ ）	輝度（明るさ）約 50%になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力がさらに下がります。

ライトモードを切り替える

1 (LIGHT) ボタンを押す

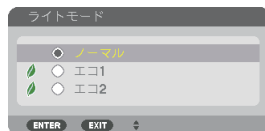
・リモコンで操作する場合は (ECO/L-SHIFT) ボタンを押します。

ライトモード画面が表示されます。

2 (ENTER) ボタンを押す。

ライトモード選択画面が表示されます。

3 (▼/▲) ボタンを押して選択し、(ENTER) ボタンを押す。

ライトモード画面に戻り選択したモードに切り替わります。

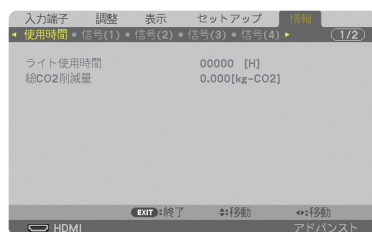
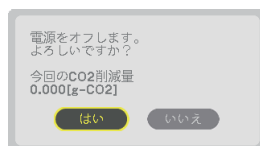
(MENU) ボタンを押すとライトモード画面が消えます。

- オンスクリーンメニューのセットアップ→設置→ライトモード→ライトモードでも切り替えることができます。
- ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。（136 ページ）

3 便利な機能

- 本機に入力信号がない状態（ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、自動的にエコに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的に輝度（明るさ）を下げることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
  強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、TEMP. インジケータがオレンジ色に点灯しメニュー画面の右下に「 」アイコンが表示されます。
  室温を下げたり、ファンモード （➡ 115 ページ）を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ライトモードはもとの設定状態に戻ります。
  強制エコモード中は、ライトモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

省エネ効果を見る（カーボンメータ）

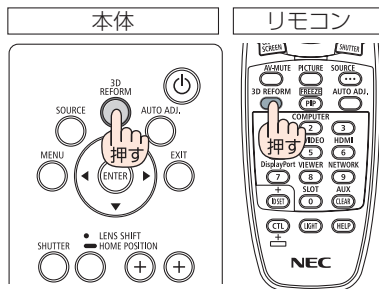
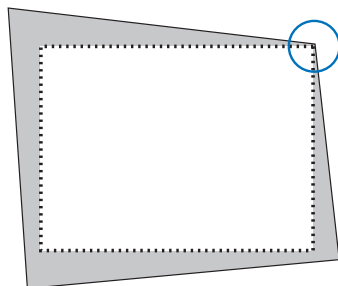
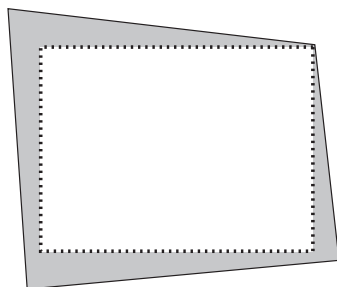
本機のライトモードを「エコ 1」または「エコ 2」に設定している期間の省エネ効果を CO_2 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

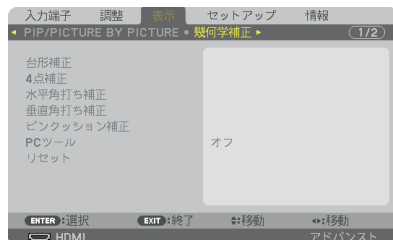
表示には「総 CO2 削減量」と「今回の CO2 削減量」があります。
「総 CO2 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO_2 削減量（kg）を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。（➡ 136 ページ）

「今回の CO2 削減量」は電源を入れてエコに切り替わってから電源を切るまでの CO_2 削減量（g）を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。

- CO_2 排出削減量は、ライトモードを「ノーマル」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO_2 排出係数を掛けて算出※します。
  ライトモードを「エコ 1」または「エコ 2」に設定して使用したりレンズシャッターを使用すると、CO_2 排出削減量の値は増加します。
  ※ CO_2 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている “CO2 Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)” に基づいて算出しています。
- 「総 CO2 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどライトモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

3-7. 台形歪みを調整する（4 点補正）

4 点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

1 **(3D REFORM) ボタンを 2 秒以上押す。**

幾何学補正の調整値がクリアされます。

2 **スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。**

3 **スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。**

4 **(3D REFORM) ボタンを押す。**

オンスクリーンメニューの幾何学補正画面を表示します。

3

便利な機能

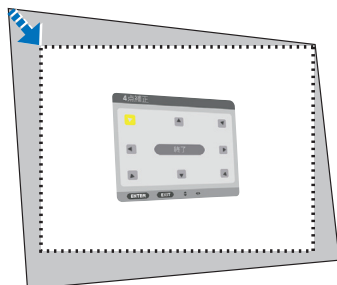
5 **(▼)ボタンを押して「4 点補正」に合わせ、(ENTER) ボタンを押す。**

4 点補正画面に切り替わります。

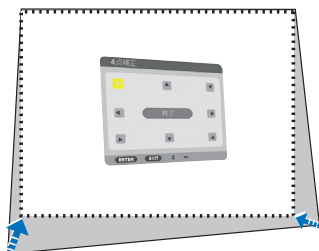
● すでに 4 点補正以外の幾何学補正機能を設定しているとき、4 点補正画面は表示されません。表示されない場合は、(3D REFORM) ボタンを 2 秒以上押すか、幾何学補正のリセットを実行して、幾何学補正の調整値をクリアしてください。

6 **(▼▲◀▶) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ（図は左上の ◤ ）。**

7 **(ENTER) ボタンを押す。**

8 **(▼▲◀▶) ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。**

9 **(ENTER) ボタンを押す。**

10 **(▼▲◀▶) ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。**

11 **手順 7 ～ 10 を繰り返し、台形歪みを調整する。**

12 **台形歪みの調整が終わったら、4 点補正画面で「終了」を選んで、(ENTER) ボタンを押す。**

調整終了画面が表示されます。

⑬ (◀/▶) ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

4 点補正の調整が確定されます。

・「取消」を選択して(ENTER)ボタンを押すと、4 点補正画面に戻ります。

● 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の 4 点補正の調整値を保持しています。

● 4 点補正の調整値をクリアする場合は、次のいずれかを行います。

・手順⑬で「リセット」を選び、(ENTER) ボタンを押します。

・(3D REFORM) ボタンを 2 秒以上押します。

・ オンスクリーンメニューの表示→幾何学補正→リセットを実行します。

● 4 点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

● セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

1 **(MENU)ボタンを押す。**

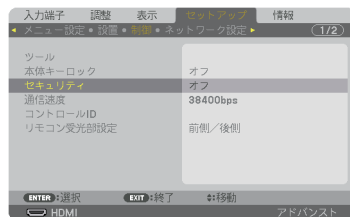
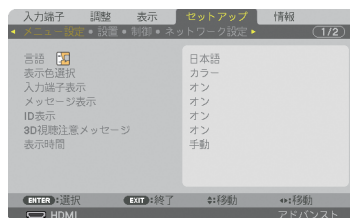
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

2 **(▶)ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

「メニュー設定」にカーソルが移動します。

3 **(▶)ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。**

4 **(▼)ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

セキュリティ設定画面に変わります。

5 **(▼)ボタンで「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押す。**

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

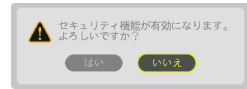
6 **(▼▲◀▶)ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、(ENTER)ボタンを押す。**

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。
セキュリティキーワードは 4 個以上 10 個以下の組み合わせで設定してください。

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。

7 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、ENTERボタンを押す。

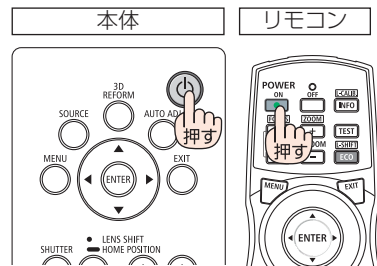
確認画面が表示されます。

8 ◀ボタンで「はい」を選択し、ENTERボタンを押す。

セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1 ⏻ボタンを押す。

- リモコンで操作する場合は、POWER ON ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。

2 MENUボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

3 セキュリティキーワードを入力し、ENTERボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

- セキュリティロックの解除状態は、AC 電源を切断するまで保持されます。

3 便利な機能

セキュリティを無効にする

1 **(MENU)ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

2 **(▶)ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

「メニュー設定」にカーソルが移動します。

3 **(▶)ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。**

4 **(▼)ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

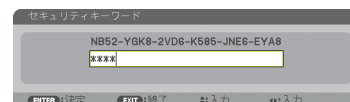
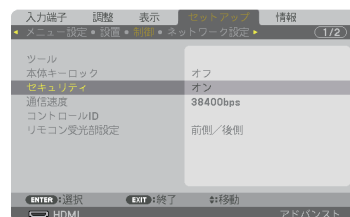
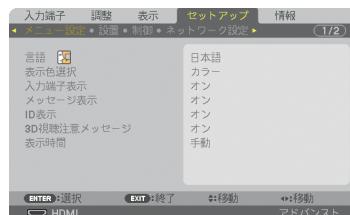
セキュリティ設定画面に変わります。

5 **(▲)ボタンで「オフ」を選択し、(ENTER)ボタンを押す。**

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

6 **セキュリティキーワードを入力し、(ENTER)ボタンを押す。**

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

セキュリティが無効になります。

● キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

3-9. 3D 映像を投写する

本機は 3D 映像を投写することができます。
DLP® Link 方式と、3D エミッタを使用する方式に対応しています。

●健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイプレーヤ、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

本機で 3D 映像を視聴する手順

● DLP® Link 方式の場合

・工場出荷時は、本機の 3D メガネ設定を「DLP® Link」にしています。

3D メガネの準備

DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッタメガネを使用します。

1 本機と映像機器を接続する。

2 本機の電源を入れる。

3 3D 映像のソフトを再生する。

3D 映像が投写されます。

・工場出荷時は、3D 設定のフォーマットを「自動」に設定しているため、自動で判別して 3D映像を投写します。3D 映像を投写しない場合は、3D 検出信号が含まれていない、本機で検出できない場合があります。手動でフォーマットの選択を行ってください。
（➡次ページ）

① (MENU)ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます

② (▶)ボタンを押して「調整」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

「映像」にカーソルが移動します。

③ (▶)ボタンを押して「3D 設定」にカーソルを合わせる。

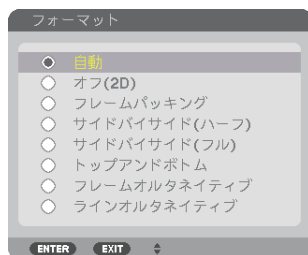
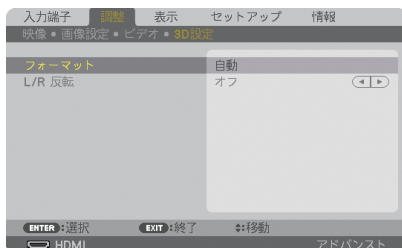
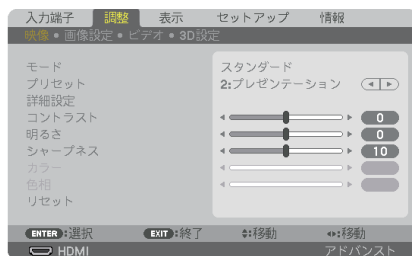
3D 設定画面が表示されます。

④ (▼)ボタンを押して「フォーマット」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

フォーマット設定画面が表示されます。

⑤ (▼/▲)ボタンを押して目的のフォーマットにカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

設定されて 3D 設定画面に戻ります。

(MENU)ボタンを押すとオンスクリーンメニューが消えます。

・3D 映像に切り替わると、3D 視聴注意メッセージ画面を表示します（工場出荷状態）。前ページの「健康に関するご注意」をお読みいただき正しく視聴してください。60 秒の経過、または(ENTER)ボタンを押すと画面は消えます。（112 ページ）

4 3D メガネの電源を入れ、メガネを装着して映像を視聴する。

2D 映像が入力されると通常の映像になります。

3D 映像を強制的に 2D 映像にするにはフォーマットで「オフ（2D)」を選択します。

- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- DLP® Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。
  そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D メガネで同期信号が正常に受光できず、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D 映像のときは、台形補正の調整範囲が狭くなります。
- 3D 映像のときは、次の設定は無効になります。
  壁色補正、映像メニューのプリセット、参照、色温度、ダイナミックコントラスト、Brilliant Color
- 3D 対応信号以外と判別した場合は OUT OF RANGE または 2D で表示されます。（176 ページ）

● 3D エミッタを使用する場合

本機は、市販の 3D 対応のアクティブシャッタ方式の 3D メガネを使って、3D 映像を視聴することができます。その際、3D 映像とメガネの同期を取るために、市販の 3D エミッタという装置を本機（プロジェクター側）に接続する必要があります。3D メガネは 3D エミッタからの情報を受けて、左右の開閉を行います。

3D メガネおよび 3D エミッタの準備

アクティブシャッタ方式の 3D メガネは、VESA 準拠を使用ください。
市販の Xpand 製 RF タイプを推奨します。
・3D メガネ ……… Xpand X105-RF-X2
・3D エミッタ …… Xpand AD025-RF-X1

1 3D エミッタを本機の 3D SYNC 端子に接続する。

2 本機の 3D メガネ設定を「その他」に変更する。

オンスクリーンメニューのセットアップ→設置→ 3D メガネを選択し、「その他」に変更してください。（116 ページ）

以降の視聴手順は「● DLP® Link 方式の場合」（57 ページ）と同じです。

- 3D 映像に切り替えると、次の機能が解除され使用できなくなります。
  ブランキング、PIP/PICTURE BY PICTURE、幾何学補正、エッジブレンディング
  （幾何学補正、エッジブレンディングの調整値は保持しています。）
- 3D 入力信号によっては自動で 3D 映像に切り替わらない場合があります。
- ブルーレイプレーヤの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D エミッタの DIN 端子を本機の 3D SYNC に接続してください。
- 3D メガネは、3D エミッタから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。
  そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- 信号によっては、フォーマット、L/R 反転が選択できない場合があります。その際は信号を変更してください。

3D 映像が視聴できないとき

3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。
また、3D メガネに添付している取扱説明書をご覧ください。

考えられる原因	解決策
選択している信号が 3D に対応していない。	3D 対応の映像信号を入力してください。
選択している信号に対してフォーマットが「オフ（2D)」になっている。	オンスクリーンメニューでフォーマットを「自動」または対応のフォーマットにしてください。
本機に対応したメガネを使用していない。	市販の 3D メガネおよび 3D エミッタ（推奨品）をお買い求めください。（57, 59 ページ）
本機に対応した 3D メガネを使用して 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
3D メガネの電源をオフにしている。	3D メガネの電源をオンにしてください。
3D メガネに内蔵している電池が消耗している。	充電するか、電池を交換してください。
視聴者とスクリーンの距離が離れ過ぎている。	3D 映像が視聴できるまでスクリーンに近づいてください。
	オンスクリーンメニューで L/R 反転を「オフ」にしてください。
周辺で複数台の 3D 対応プロジェクターを同時に動かしているため、干渉しあっている。または、スクリーンの近くに明るい光源がある。	プロジェクター同士を十分離してください。
	スクリーンを光源から離してください。
	オンスクリーンメニューで L/R 反転を「オフ」にしてください。
コンピュータで再生している 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
コンピュータの動作環境が 3D 映像の再生に適していない。	お使いのコンピュータが、再生する 3D 映像の説明書に記載されている動作環境を満たしているか確認してください。
コンピュータから出力されている信号の解像度が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータの解像度を、本機で 3D 映像と認識できる解像度に変更してください。
コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数を 60Hz または 120Hz に変更してください。
3D メガネの受光部と 3D エミッタの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
3D 映像コンテンツの 3D 方式に対応していない。	3D 映像コンテンツの販売会社へお問い合わせください。

3-10. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

HTTP サーバ機能では次の設定や操作が行えます。

(1) 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。
本機とコンピュータを市販の LAN ケーブルで接続してください。(151 ページ)

(2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN）に接続しているときに、各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。

(3) 本機の操作を行います。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。

(4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、次の 2 つの方法があります。

- 本機とネットワークで接続されたコンピュータでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ http://〈本機の IP アドレス〉/index.html と指定する。

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
  また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(151 ページ)
プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

（例 1）本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html　と指定します。

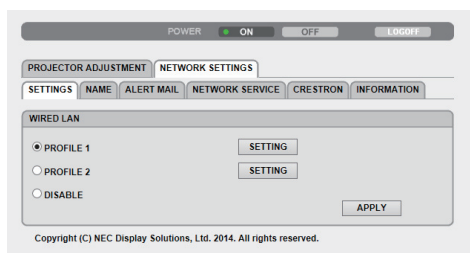
（例 2）本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html　と指定します。

プロジェクター調整

次ページに続く

POWER	**本機の電源をオン／オフします。**	
	ON	電源をオンにします。
	OFF	電源をオフにします。
VOLUME	**本機では使用できません。**	
AV-MUTE	**本機の MUTE をコントロールします。**	
	PICTURE	映像をミュート（一時的に消去）します。
	PICTURE ⊘	映像ミュートを解除します。
	SOUND	本機では使用できません。
	SOUND ⊘	本機では使用できません。
	ALL ON	映像をミュート（一時的に消去）します。
	ALL OFF	映像のミュートを解除します。
PICTURE	**本機の映像調整をコントロールします。**	
	BRIGHTNESS ▲	明るさの調整値をアップします。
	BRIGHTNESS ▼	明るさの調整値をダウンします。
	CONTRAST ▲	コントラストの調整値をアップします。
	CONTRAST ▼	コントラストの調整値をダウンします。
	COLOR ▲	カラーの調整値をアップします。
	COLOR ▼	カラーの調整値をダウンします。
	HUE ▲	色相の調整値をアップします。
	HUE ▼	色相の調整値をダウンします。
	SHARPNESS ▲	シャープネスの調整値をアップします。
	SHARPNESS ▼	シャープネスの調整値をダウンします。
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「明るさ／コントラスト／シャープネス／カラー／色相」（➡95 ページ）をご覧ください。		
SOURCE SELECT	**本機の入力端子を切り替えます。**	
	HDMI	HDMI IN 端子に切り替えます。
	DisplayPort	DisplayPort IN 端子に切り替えます。
	BNC	BNC 入力端子に切り替えます。
	BNC（CV）	BNC（CV）入力端子に切り替えます。
	BNC（Y/C）	BNC（Y/C）入力端子に切り替えます。
	COMPUTER	COMPUTER 1 IN 端子に切り替えます
	HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像入力に切り替えます。
	SLOT	別売のオプションボードを搭載しているときに、その映像入力に切り替えます。
PROJECTOR STATUS	**本機の状態を表示します。**	
	LIGHT HOURS USED	光源の使用時間を表示します。
	ERROR STATUS	本機内部のエラー発生状況を表示します。

ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

● SETTINGS

WIRED

SETTING	有線 LAN に必要な設定を行います。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN に接続します。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。
PROFILE 1/PROFILE 2	有線 LAN 使用する場合、各々 2 とおりの設定を本機のメモリに記憶することができます。
DHCP ON	DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。

● NAME

PROJECTOR NAME	本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピュータ側でプロジェクターを識別するのに使います。 英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。 参考 ● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 15 文字まで入力できます。
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 60 文字まで入力できます。

● ALERT MAIL

ALERT MAIL	本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。 ☑（チェックマークを付ける）…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ☐（チェックマークを外す）……メール通知機能は停止します。 【本機から送信される E メールの例】 Subject: [Projector] Projector Information 冷却ファンの回転が停止しています。 ［情報］ プロジェクター名：PX602UL Series ライト使用時間：0000 [H]
SENDER'S ADDRESS	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 E メールの「from」にあたるアドレスです。
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 E メールの「to」にあたるアドレスです。
TEST MAIL	E メールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。
SAVE	設定情報を本機のメモリへ記憶します。

● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	PJLink（ピージェイリンク）を使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。 パスワードを設定すると LOGON 時にユーザーネーム（任意）と設定のパスワードを要求されます。
AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効／無効を設定します。 参考 ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。 （チェックマークを付ける）…AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。 （チェックマークを外す）……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。

● CRESTRON

ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。

DISABLE	ROOMVIEW を無効にします。
ENABLE	ROOMVIEW を有効にします。

CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。

DISABLE	CRESTRON CONTROL を無効にします。
ENABLE	CRESTRON CONTROL を有効にします。
IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

● INFORMATION

WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（➡ 裏表紙）にご連絡ください。このときパスワード入力画面に表示されているサービス問合わせ用シリアルコード「XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX」（X は英数字）をお知らせください。
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。
  CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。
  （英語のみ）　　　　http://www.crestron.com

4. マルチスクリーン投写

4-1. マルチスクリーン投写でできること

本機では、単体または複数台を並べてマルチスクリーン投写が行えます。
ここでは 2 つの投写事例をご紹介します。

ケース 1

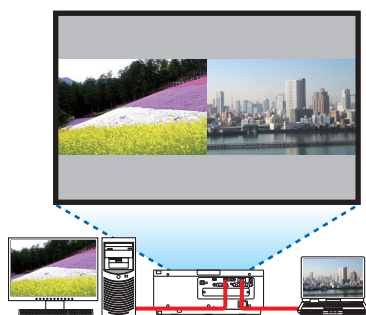
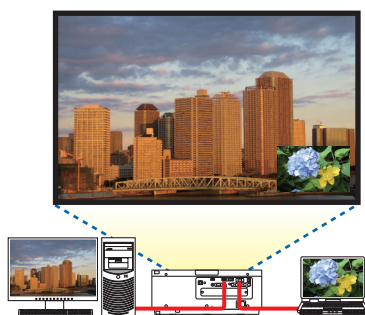
1 台のプロジェクターを使って 2 種類の映像を同時に投写する
【PIP ／ PICTURE BY PICTURE】

ケース 2

4 台のプロジェクター（解像度：WUXGA）を使って
解像度 2560 × 1600 の映像を投写する
【タイリング】

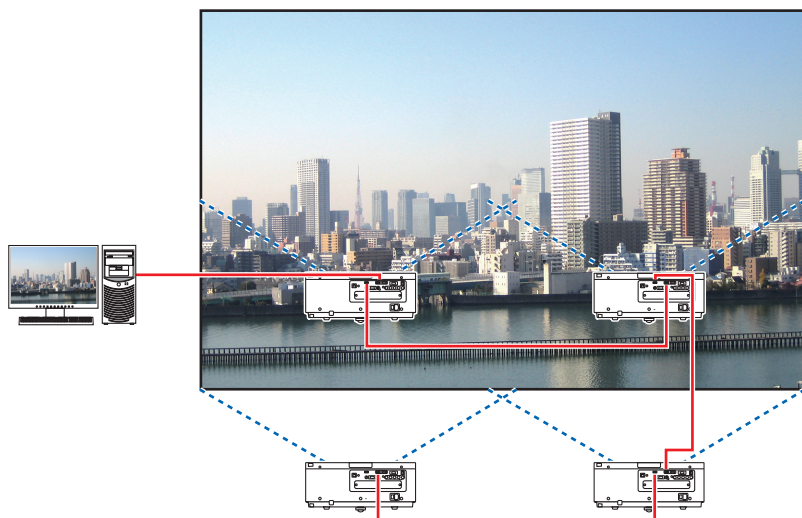
ケース 1. 1 台のプロジェクターを使って 2 種類の映像を投写する【PIP ／ PICTURE BY PICTURE】

●接続例と投写イメージ

PICTURE BY PICTURE の場合

PIP の場合

●オンスクリーンメニューの操作

オンスクリーンメニューの表示→ PIP/PICTURE BY PICTURE →モード画面を表示して、「子画面設定」または「PICTURE BY PICTURE」を選択します。
詳しい操作は「4-2. 2 つの映像を同時に投写する」をご覧ください。（➡ 71 ページ）

ケース 2. 4 台のプロジェクター（解像度：WUXGA）を使って解像度 2560 × 1600 の映像を投写する【タイリング】

●接続例と投写イメージ

●オンスクリーンメニューの操作

ステップ 1：4 台のプロジェクターを投写すると、4 つの同じ画像が表示されます。

各プロジェクターの投写位置の調整は販売店に依頼してください。

- 設置時には、各プロジェクターに対して異なるコントロール ID を設定してください。
- ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）のカラー設定、DeepColor 設定は、自動に設定してください。詳しくはブルーレイプレーヤの取扱説明書をご覧ください。

次ページに続く

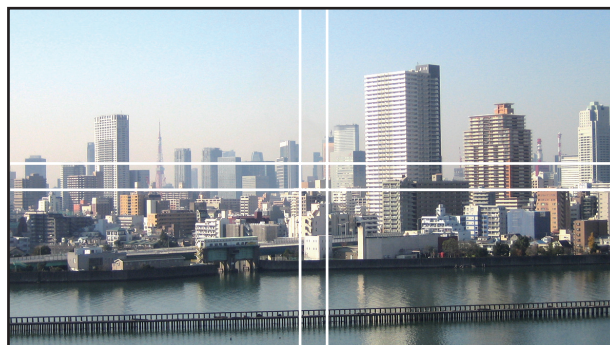
- ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）の HDMI 信号は、1 台目のプロジェクターに接続してください。そして、タイリングする 2 台目以降のプロジェクターの HDMI IN 端子に接続してください。
- 2 台目以降のプロジェクターの端子切り替えや HDMI ケーブルの抜き差しを行うと、HDMI リピーター機能が動作しなくなります。

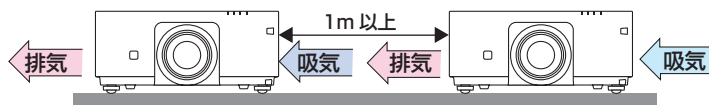
ステップ 2：4 台のプロジェクターの各々でオンスクリーンメニューを操作して、画像を 4 分割します。

オンスクリーンメニューの表示→マルチスクリーン→映像設定画面を表示して、モードを「タイリング」に設定します。その後、映像設定画面でタイリングを選択します。

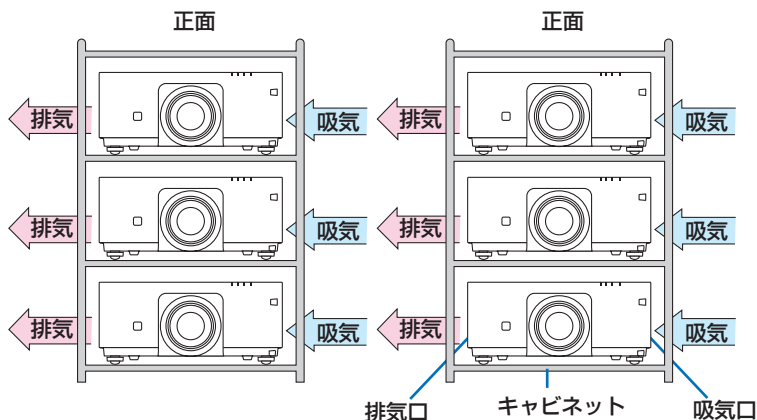
① 横台数設定画面で「2 台」を選択する。（横方向の台数）
② 縦台数設定画面で「2 台」を選択する。（縦方向の台数）
③ 横順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。
（スクリーンを見て、左側が「1 台目」、右側が「2 台目」）
④ 縦順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。
（スクリーンを見て、上側が「1 台目」、下側が「2 台目」）

ステップ 3：各プロジェクターのレンズシフトを調整して画面の境界を微調整します。

さらに微調整を行う場合は、各プロジェクターのオンスクリーンメニューの表示→ エッジブレンディングで調整してください。
詳しい操作は「4-3. エッジブレンディング機能を使って投写する」をご覧ください。
（➡ 74 ページ）

プロジェクターの設置に関するお願い

- プロジェクターを 2 台以上並べて設置する場合は、吸気と排気に障害が生じないように、 1 m 以上の空間をあけてください。また、吸気口、排気口と壁との間は、30cm 以上の空間をあけてください。吸気と排気に障害が生じると、プロジェクターの内部温度が上昇し、故障の原因となります。

- プロジェクターを 2 台積み重ねて使用することができます（スタック設置）。（156 ページ）
本機を 3 台以上直接積み重ねて設置しないでください。積み重ねて使用した場合、落下してプロジェクターの破損・故障の原因となることがあります。

- プロジェクターを 3 台以上使用する場合の設置例
マルチスクリーン投写をするにあたり、プロジェクターを 3 台以上組み合わせて設置する場合は、次のような設置をおすすめします。

【設置例】

	天吊りなどの特殊な設置は販売店にご依頼ください。お客様による設置は絶対に行わないでください。プロジェクターが落下して、けがの原因となります。設置には、プロジェクターの質量に耐える丈夫なキャビネットを使用してください。プロジェクターを直に積み重ねないでください。

- 投写距離の範囲については、9. 付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。（170 ページ）

4-2. 2 つの映像を同時に投写する

本機 1 台で 2 つの映像を同時に投写することができます。この機能には「ピクチャーインピクチャー機能」(PIP)と「ピクチャーバイピクチャー機能」(PICTURE BY PICTURE)があります。
1 画面表示の投写映像を主画面(MAIN)、あとから呼び出した投写映像を子画面または副画面(SUB)と呼びます。
どちらの機能で投写するかは、オンスクリーンメニューの表示→ PIP/PICTURE BY PICTURE → モードで選択します(工場出荷状態は子画面設定(PIP)です)。(➡ 103 ページ)

・ 電源を入れたときは 1 画面投写です。

●ピクチャーインピクチャー機能 (PIP)

主画面の中に小さな子画面を表示します。

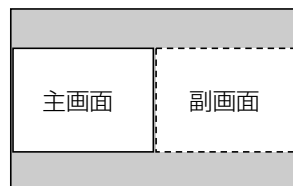
子画面は次の設定・調整ができます。(➡ 103 ページ)

・ スクリーンの左上、右上、右下および左下の 4 つの位置から 1 つ選んで表示(子画面の大きさ選択および位置の微調整可能)
・ 主画面と子画面を入れ替える表示切り替え

●ピクチャーバイピクチャー機能 (PICTURE BY PICTURE)

主画面と副画面を左右に並べて表示します。

主画面と副画面は次の設定・調整ができます。(➡ 103 ページ)

・ 主画面と副画面の表示境界(比率)の選択
・ 主画面と副画面の入れ替え

●主画面および子画面(または副画面)にできる入力端子

主画面および子画面(または副画面)は次の入力端子の投写ができます。

・ 主画面および子画面(または副画面)は、WUXGA @60HzRB までのコンピュータ信号に対応しています。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="7">子画面または副画面</td><td></td></tr>
<tr><td>HDMI</td><td>DisplayPort</td><td>BNC</td><td>BNC(CV)</td><td>BNC(Y/C)</td><td>コンピュータ</td><td>HDBaseT</td><td>SLOT</td></tr>
<tr><td rowspan="8">主画面</td><td>HDMI</td><td colspan="2" rowspan="2">×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="2">×</td></tr>
<tr><td>DisplayPort</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>BNC</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="3" rowspan="3">×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>BNC(CV)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>BNC(Y/C)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>コンピュータ</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>HDBaseT</td><td colspan="2">×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SLOT</td><td colspan="2">×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

● 解像度によって表示できない信号があります。

4 マルチスクリーン投写

2 画面を投写する

1 **(MENU)ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し､｢表示｣→｢PIP/PICTURE BY PICTUE｣を選択する。**

2 **(▼/▲)ボタンでサブ入力を選択し、(ENTER)ボタンを押す。**

サブ入力画面を表示します。

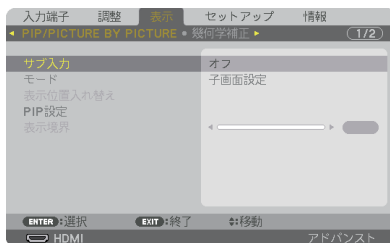
3 **(▼/▲)ボタンで入力信号を選択し、(ENTER)ボタンを押す。**

モードで設定している「子画面設定」（ピクチャーインピクチャー）または「PICTURE BY PICTURE」（ピクチャーバイピクチャー）画面が投写されます。（➡ 103 ページ）

- 信号名が薄く表示されているときは、選択できないことを表しています。
- リモコンの(PIP/FREEZE)ボタンを押しても信号の選択ができます。

4 **(MENU)ボタンを押す。**

オンスクリーンメニューが消えます。

5 **1 画面に戻したい場合は、もう一度 PIP/PICTURE BY PICTUE 画面を表示し、手順 3 のサブ入力画面のとき「オフ」を選択する。**

- 2 画面を投写中、子画面（副画面）に対応していない入力が選択された場合は子画面（副画面）を黒い画面で表示します。

主画面と子画面／主画面と副画面を入れ替える

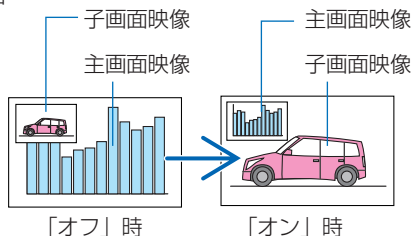
1 **(MENU)ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し､｢表示｣→｢PIP/PICTURE BY PICTUE｣を選択する。**

2 **(▼/▲)ボタンで「表示位置入れ替え」を選択し、(ENTER)ボタンを押す。**

表示位置入れ替え画面を表示します。

3 (▼)ボタンで「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押す。

主画面と子画面（または副画面）の映像が入れ替わります。

表示位置を入れ替えても HDMI OUT 端子から出力される信号は入れ替わりません。

4 (MENU)ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

制限事項

- 次の操作は、主画面のみ有効です。
  - ・映像の各種調整
  - ・(D-ZOOM/ZOOM +/−)ボタンによる映像の拡大／縮小
    ただし、PICTURE BY PICTUREの表示境界で設定した位置までの拡大/縮小です。
  - ・テストパターン
- 次の操作は、主画面および子画面（または副画面）の両画面で有効です。個別に適用することはできません。
  - ・画像の一時的な消去
  - ・動画の一時停止
- 3D 映像が表示されているときは、PIP/PICTURE BY PICTURE は使用できません。
- PIP/PICTURE BY PICTURE 機能使用中は、クローズドキャプション、ダイナミックコントラストは使用できません。
- 1920 × 1200 以上の解像度の信号が入力されているときは、PIP/PICTURE BY PICTURE は使用できないことがあります。
- HDMI OUT 端子は、リピーター機能を有してします。出力される解像度は、接続したモニタ、プロジェクターの最大解像度に制限されます。

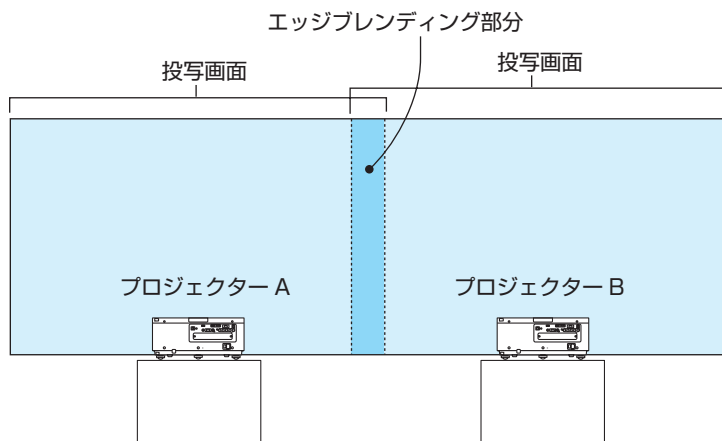
4-3. エッジブレンディング機能を使って投写する

本機を左右上下に複数台プロジェクターを組み合わせることにより、解像度の高い映像をさらに大画面で投写することができます。
本機には、投写画面の端（境界）を目立たなくさせる「エッジブレンディング機能」を搭載しています。

- 設置する際の推奨投写距離については、170 ページを参照してください。
- エッジブレンディングを調整する前に、台形歪みや画面サイズが適切になるような位置に本機を設置して、レンズシフト、フォーカス、ズームの調整を行ってください。
- 各プロジェクターの明るさをライトモードの「調整」で合わせてください。調整後に輝度一定モードを「オン」に設定すると、調整した明るさを保つことができます。また、「基準ホワイトバランス」でコントラスト、明るさを合わせてください。

操作説明の前に

ここでは「設置例：2 台を左右に並べる場合」について説明します。
下記イラストのように、左側に設置したプロジェクターを「プロジェクターA」、右側に設置したプロジェクターを「プロジェクターB」と呼びます。以降の説明でプロジェクター（A、B）を指定しない場合は、AとBの両方のプロジェクターを指すものとします。

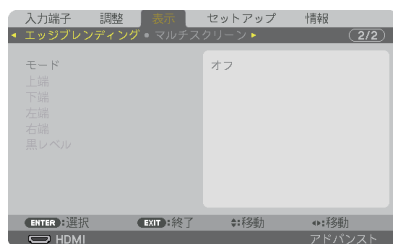
設置例：2 台を左右に並べる場合

準備：プロジェクターの電源を入れて、映像を投写します。
リモコンで設定・調整を行う場合は、他のプロジェクターが動作しないようにするため、コントロール ID を有効にします。（➡ 122 ページ）

投写画面の重なりを設定する

1 メニューで「エッジブレンディング」を有効にする。

❶ (MENU)ボタンを押します。
オンスクリーンメニューを表示します。

❷ 表示のエッジブレンディングを選択します。
「エッジブレンディング」画面が表示されます。
「モード」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
モード画面が表示されます。

❸「モード」を「オン」にしてエッジブレンディングの機能を有効にします。

・「上端」「下端」「左端」「右端」「黒レベル」の項目が調整可能になります。

❹ プロジェクターAでは「右端」を選択し、プロジェクターBでは「左端」を選択します。

❺「制御」をオンにします。
「上端」「下端」「左端」「右端」はそれぞれ、「制御」「マーカー」「範囲」「位置」の項目があります。
・プロジェクターＡでは、上端、左端、下端の「制御」をオフにします。
同様にプロジェクターＢでは、上端、右端、下端の「制御」をオフにします。

4
マルチスクリーン投写

2「範囲」と「位置」を調整して、重なりあっている領域を設定する。

マーカーをオンにするとマゼンタと緑色の線（マーカー）が表示されます。
マゼンタは範囲調整用、緑色は表示位置調整用です。

範囲設定
（重なり合っている領域を設定します）

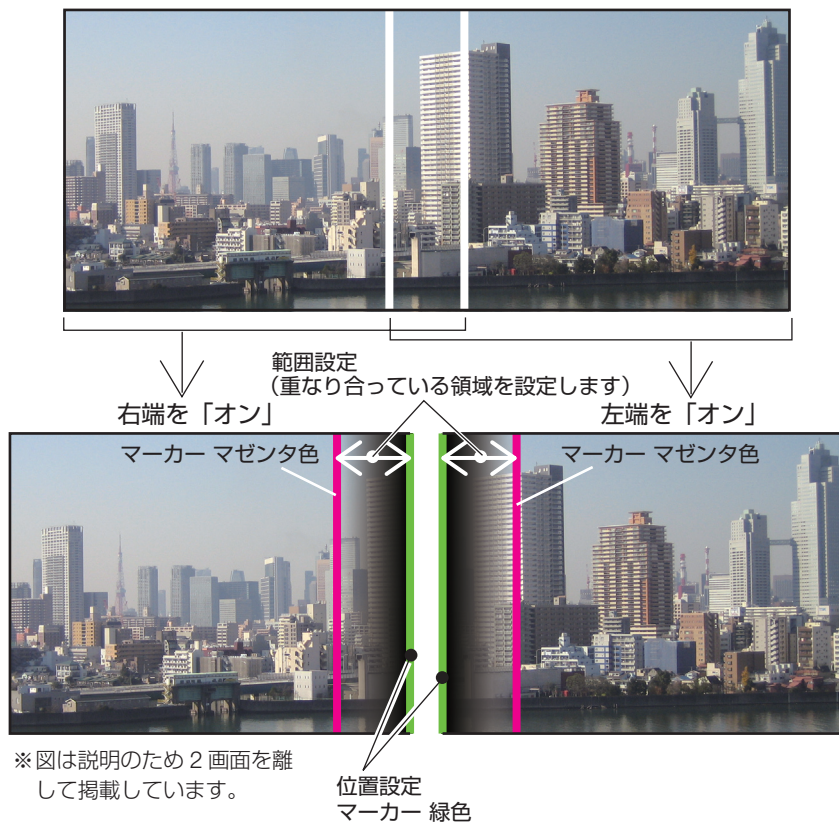
右端を「オン」

左端を「オン」

マーカー マゼンタ色

マーカー マゼンタ色

※図は説明のため 2 画面を離して掲載しています。

位置設定
マーカー 緑色

❶「範囲」を調整します。
重なる領域（幅）を調整します。マーカーを表示してもう一方のプロジェクターの表示位置のマーカーに重なるように調整すると簡単にできます。

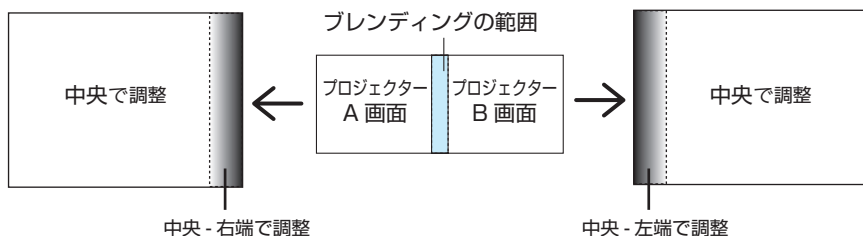
❷「位置」を調整します。
重なる領域の端（映像の端）に合わせます。
調整が終わったら、マーカーをオフにして、マーカーを消します。

● 解像度の違う信号を投写したときは、再度、エッジブレンディングの調整が必要になります。
● マーカーの設定は、保存されません。電源を切ると、マーカーの設定はオフに戻ります。
● マーカーを非表示にしたいときは、必ず、メニューでマーカーをオフにしてください。

黒レベルの調整

マルチ画面の重なっていない映像と重なっている部分（エッジブレンディング）の黒レベル調整です。
明るさの濃淡が気になる場合に調整します。

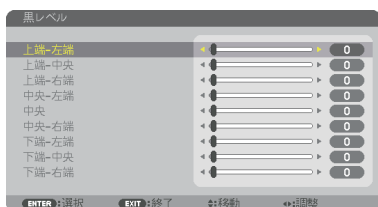
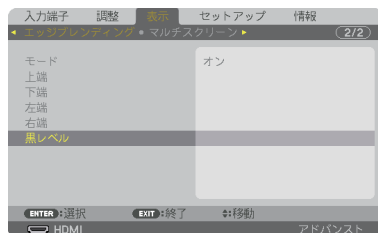
● 黒レベル調整はモードがオンになっていないと選択できません。
エッジブレンディングの「上端」「下端」「左端」「右端」の制御をオンにした組み合わせで調整する箇所が変わります。（次ページ）

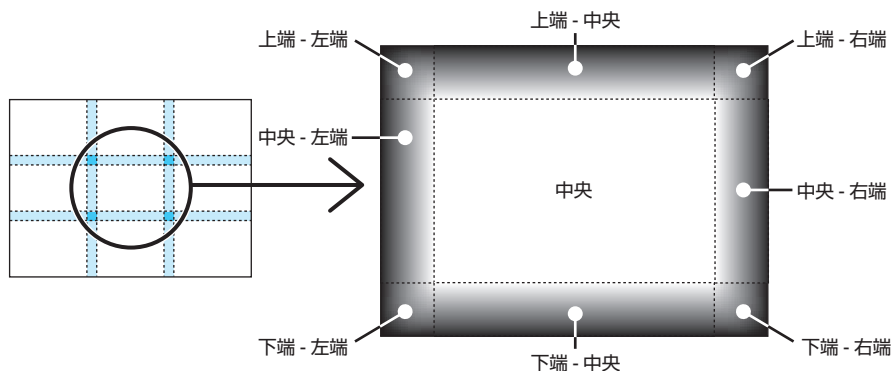
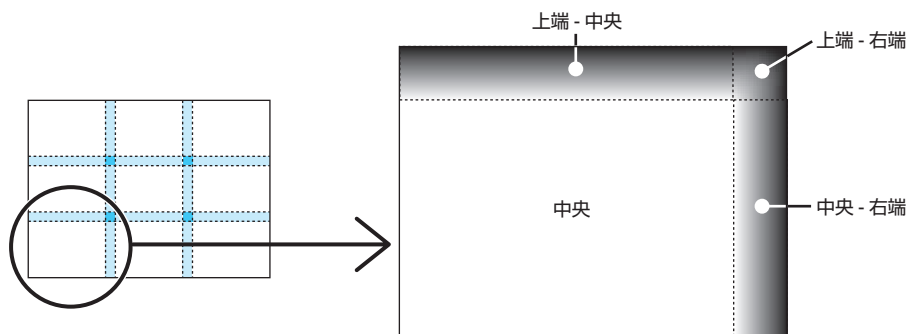
左右に 2 台のプロジェクターを並べて投写した場合の黒レベル調整

1 75 ページの手順 1 の ❶❷ で「モード」を「オン」にする。

2「黒レベル」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

黒レベル調整画面に切り替わります。

3 (▼/▲) ボタンで調整する箇所を選択し、(◀/▶) ボタンで黒レベルを調整する。

他のプロジェクターの調整が必要な場合は同じ要領で行ってください。

9 面マルチ時の黒レベル調整分割画面

センタープロジェクターの黒レベル調整は図のように 9 分割調整になります。

左下プロジェクターの黒レベル調整は図のように 4 分割調整になります。

- 黒レベル分割画面数（最大 9 分割）は、エッジブレンディング位置（上端、下端、左端、右端）の選択数によって変わります。また、上／下端と左／右端を選択するとコーナーの分割画面が出現します。
- エッジブレンディング幅は範囲で設定されている幅、コーナーは上／下端または左／右端の交差する面積になります。
- 黒レベルは、明るくする方向のみ調整できます。

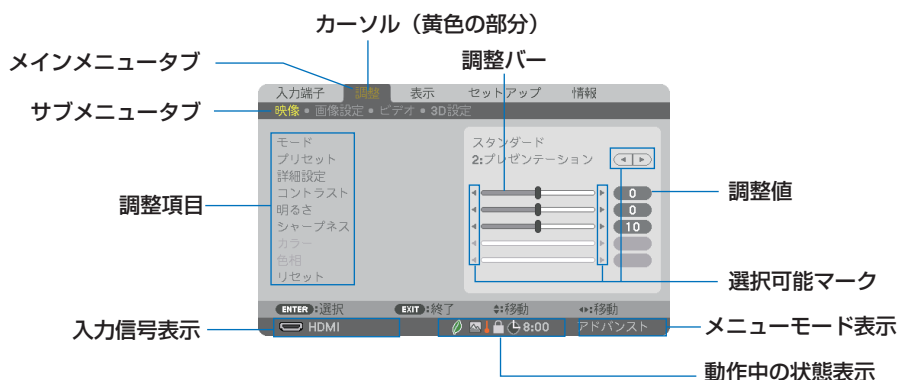
5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(MENU)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 (MENU)ボタンを押す。
ご購入後、はじめて操作したときは調整メニューが表示されます。

ライトモード設定、ファンモードの「高速」設定、強制エコモード、本体キーロック中、8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

2 (▼/▲)ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

3 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶)ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。

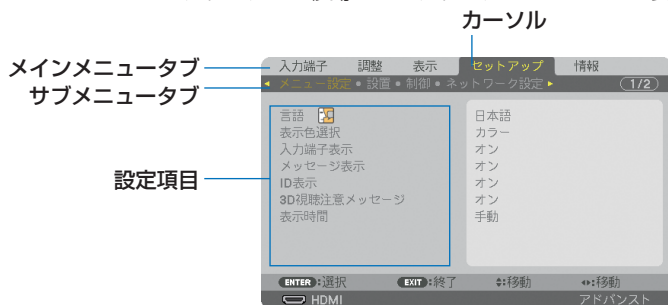
- 「◀ ▶（選択可能マーク）」が付いている項目は(◀/▶)ボタンで設定を切り替えることができます。
  「◀ ▶（選択可能マーク）」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。
- 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5
オンスクリーンメニュー

4 (EXIT) ボタンを 2 回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

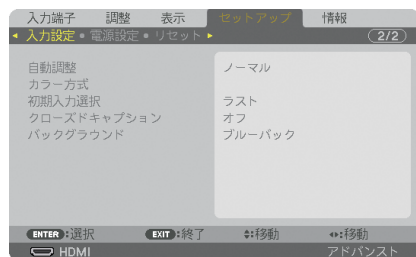
5 (▶) ボタンを 2 回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。

6 (ENTER) ボタンを押す。

メニュー設定にカーソルが移動します。

- セットアップにはメニュー設定、設置、制御、ネットワーク設定、入力設定、電源設定、リセットという 7 つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。

7 (▶) ボタンを 4 回押して「入力設定」にカーソルを合わせる。

入力設定のメニューに切り替わります。

8 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。

9 (▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

10 選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

- 選択を取り消す場合は、(EXIT) ボタンを押します。

(MENU)ボタンを 1 回押す。
メニューが消えます。

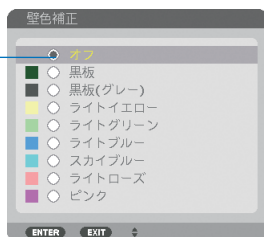
注意 ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

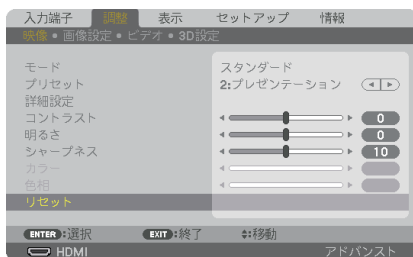
選択肢の中から 1 つ「◉」を選びます。

【例 1】「壁色補正」の選択

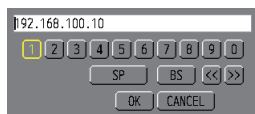
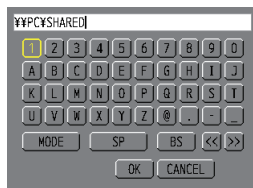
セットアップ→設置→壁色補正

1 (▼/▲)ボタンを押す。
選択されているマーク（◉）が移動します。
2 選択する項目に「◉」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。
実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で(EXIT)ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット

1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
2 (ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
3 実行する場合は、(◀/▶) ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
機能が実行されます。
・ 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

文字入力画面の使い方

入力する項目によって、入力画面が異なります。

【IP アドレスのとき】

【ユーザー名、プロジェクター名、パスワード、信号リストの信号名など入力のとき】

1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

文字入力画面を表示します。

文字以外の項目は、次のような働きをします。

- [MODE] ......英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- [SP] ....スペースを入力します。
- [BS] ....カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- [<<] [>>] ....英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- [OK] ....入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
- [CANCEL] ..入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。
- [HEX] ....16 進数が入力できる場合に表示され、16 進数入力ができます。

2 (▼▲◀▶)ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字が入力されます。

3 入力が終わったら(▼▲◀▶)ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

入力した文字を確定して、文字入力画面が閉じます。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンストメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「Ⓑ」マークを付けています。
アドバンストメニューとベーシックメニューの選択はツール→管理者モード→メニューモードで選択します。(➡ 117 ページ)
　　　　は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー					選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー					
入力端子	ー				HDMI Ⓑ	88
					DisplayPort Ⓑ	
					BNC Ⓑ	
					BNC（CV） Ⓑ	
					BNC（Y/C） Ⓑ	
					コンピュータⒷ	
					HDBaseT Ⓑ	
					SLOT	
					信号リスト	
					テストパターン	
調整	映像	モード			スタンダード、プロフェッショナル	92
		プリセット			1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：DICOM SIM.	
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.	93
				ガンマ補正※1	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
				スクリーンサイズ※2	大、中、小	
				色温度※3		94
				ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
				Brilliant Color	オフ、中、強	
				画面モード	静止画、動画	
			ホワイトバランス		コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	94
			色補正		赤（色相／彩度）、緑（色相／彩度）、青（色相／彩度）、イエロー（色相／彩度）、マゼンタ（色相／彩度）、シアン（色相／彩度）	95
		コントラストⒷ				95
		明るさⒷ				
		シャープネスⒷ				
		カラーⒷ				
		色相Ⓑ				

※1：ガンマ補正は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。
※2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。
※3：色温度は、プリセットで高輝度モードまたはプレゼンテーションを選択しているときには表示されません。

メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
調整	映像	リセットⒷ			96
	画像設定	クロック周波数			96
		位相			97
		水平			
		垂直			
		ブランキング		上端、下端、左端、右端	
		オーバースキャン		自動、0%、5%、10%	98
		アスペクトⒷ		（コンポーネント／ビデオ／S-ビデオ信号入力時）自動、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、ズーム（スクリーンタイプが4：3の時）	
				（コンポーネント／ビデオ／S-ビデオ信号入力時）自動、4：3、レターボックス、ワイドスクリーン、フル（スクリーンタイプが16：9／16：10の時）	
				（コンピュータ信号入力時）自動、4：3、5：4、16：9、15：9、16：10、リアル、フル	
		入力信号解像度※4			100
	ビデオ	ノイズリダクション	ランダムNR	オフ、弱、中、強	100
			モスキートNR	オフ、弱、中、強	
			ブロックNR	オフ、弱、中、強	
		デインターレース		ノーマル、動画、静止画	101
		スイートビジョン	モード	オフ、自動、ノーマル	
			ゲイン		
		信号形式		自動、RGB、コンポーネント	
		ビデオレベル		自動、ノーマル、拡張、スーパーホワイト	
	3D設定	フォーマット		自動、オフ（2D）フレームパッキング、サイドバイサイド（ハーフ）、サイドバイサイド（フル）、トップアンドボトム、フレームオルタネイティブ、ラインオルタネイティブ	102
		L/R反転		オフ、オン	
表示	PIP/PICTURE BY PICTURE	サブ入力Ⓑ		オフ、HDMI、DisplayPort、BNC、BNC(CV)、BNC(Y/C)、コンピュータ、HDBaseT、SLOT	103
		モードⒷ		子画面設定、PICTURE BY PICTURE	
		表示位置入替え		オフ、オン	
		PIP設定	開始位置	上端 - 左端、上端 - 右端、下端 - 左端、下端 - 右端	
			水平位置		
			垂直位置		
			サイズ	大、中、小	
		表示境界			104
	幾何学補正	台形補正Ⓑ	水平		
			垂直		
			打上げ度		
			投写比		105

※4：コンピュータとBNC（アナログRGB）入力時のみ選択できます。

メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
表示	幾何学補正	4 点補正B		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	105
		水平角打ち補正		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	
		垂直角打ち補正		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	
		ピンクッション補正		上端、下端、左端、右端	107
		PC ツール		オフ、1、2、3	
		リセット			
	エッジブレンディング	モード		オフ、オン	108
		上端、下端、左端、右端	制御	オフ、オン	
			マーカー	オフ、オン	
			範囲		
			位置		
		黒レベル		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	
	マルチスクリーン	ホワイトバランス	モード	オフ、オン	109
				コントラスト白、コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ白、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	
		映像設定	モード	オフ、ズーム、タイリング	
			ズーム	水平拡大、垂直拡大、水平位置、垂直位置	
			タイリング	横台数、縦台数、横順番、縦順番	
セットアップ	メニュー設定	言語B		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिंदी、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文	111
		表示色選択		カラー、モノクロ	
		入力端子表示		オフ、オン	
		メッセージ表示		オフ、オン	
		ID 表示		オフ、オン	
		3D 視聴注意メッセージ		オフ、オン	112
		表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒	
	設置	投写方法		自動、デスク／フロント、天吊り／リア、デスク／リア、天吊り／フロント	113
		スクリーンタイプ		フリー、4：3 スクリーン、16：9 スクリーン、16：10 スクリーン	114

5 オンスクリーンメニュー

メニュー					選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー					
セットアップ	設置		壁色補正Ⓑ		オフ、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	114
			ファンモード	モード	自動、高速	115
			ライトモードⒷ	ライトモード	ノーマル、エコ 1、エコ 2	
				輝度一定モード	オフ、オン	
				調整	20 ～ 100%	
			基準ホワイトバランス		コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	116
			3D メガネ		DLP ®Link、その他	
	制御					117
		ツールⒷ	管理者モード	メニューモード	アドバンスト、ベーシック	
				設定値を保存しない	オフ、オン	
				新規パスワード		
			プログラムタイマー	有効	オフ、オン	118
				設定	編集（動作、曜日、時刻、機能、詳細設定、繰り返し）	
			日付と時刻設定	タイムゾーン設定		121
				日付と時刻設定		
				夏時間設定		
			マウス設定		（注）本機では使用できません。	
		本体キーロック			オフ、オン	
		セキュリティ			オフ、オン	122
		通信速度			4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、115200bps	
		コントロール ID		コントロール ID 番号	1 - 254	
				コントロール ID	オフ、オン	
		リモコン受光部設定			前側 / 後側、前側、後側、HDBaseT	124
		ネットワーク設定	有線 LAN		（プロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS 設定、再接続）	125 126
			プロジェクター名		PX602UL Series	127
			ドメイン	ホスト名	necpj	
				ドメイン名		
			アラートメール		メール通知、ホスト名、ドメイン名、差出人アドレス、SMTP サーバー名、宛先アドレス 1、宛先アドレス 2、宛先アドレス 3、送信テスト	128
			ネットワークサービス	HTTP サーバー	新規パスワード	129
				PJLink	新規パスワード	
				AMX BEACON		
				CRESTRON	ROOMVIEW	130
					CRESTRON CONTROL（ENABLE、CONTROLLER IP ADDRESS、IP ID）	

メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	入力設定	自動調整		オフ、ノーマル、ファイン	130
		カラー方式	BNC（CV）	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	131
			BNC（Y/C）	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
		初期入力選択		ラスト、自動、HDMI 、DisplayPort、BNC、BNC（CV）、BNC（Y/C）、コンピュータ、HDBaseT、SLOT	
		クローズドキャプションⒷ		オフ、キャプション 1、キャプション 2、キャプション 3、キャプション 4、テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3、テキスト 4	
		バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ	
	電源設定	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ	132
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	133
		オートパワーオン選択		オフ、HDMI、DisplayPort、コンピュータ、HDBaseT、SLOT	
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、0:30、1:00	
		オフタイマーⒷ		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	134
		SLOT 電源	プロジェクターオン	オフ、オン	
			プロジェクタースタンバイ	無効、有効	
	リセット			表示中の信号	135
				全データ	
				全データ（信号リストを含む）	
情報	使用時間Ⓑ			ライト使用時間、総 CO2 削減量	136
	信号（1）Ⓑ			入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式、信号名、登録番号	
	信号（2）Ⓑ			信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、データレート、レーン数、3D フォーマット	
	信号（3）Ⓑ			入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式、信号名、登録番号	
	信号（4）Ⓑ			信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、データレート、レーン数、3D フォーマット	
	有線 LAN			IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス	
	VERSION（1）Ⓑ			FIRMWARE、DATA、SUB-CPU	
	その他Ⓑ			日付と時刻、プロジェクター名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、CONTROL ID ※5	
	HDBaseT			信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス	

※5：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力端子

入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。
現在選択されている入力端子には「●」(ドット) を表示します。

HDMI	HDMI IN 端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort	DisplayPort IN 端子に接続している機器の映像を投写します。
BNC	BNC 入力端子に接続している機器の映像を投写します。（アナログ RGB 信号またはコンポーネント信号を投写します。）
BNC（CV）	BNC（CV）入力端子に接続している機器の映像を投写します。（コンポジットビデオ信号を投写します。）
BNC（Y/C）	BNC（Y/C）入力端子に接続している機器の映像を投写します。（S- ビデオ信号を投写します。）
コンピュータ	COMPUTER 1 IN 端子に接続している機器の映像を投写します。（アナログ RGB 信号またはコンポーネント信号を投写します。）
HDBaseT	HDBaseT または有線 LAN の信号を投写します。（➡ 151, 152 ページ）
SLOT	SLOT（スロット）に装着している別売のオプションボードを介して映像を投写します。
信号リスト	信号リストから信号を呼び出してして投写します。（➡次ページ）
テストパターン	メニューを閉じてテストパターン画面に切り替わります。◀/▶ボタンでパターンを選択します。

- コンポーネント信号を COMPUTER 1 IN 端子または BNC 入力端子に接続している場合、コンピュータ信号とコンポーネント信号は自動的に判別します（工場出荷時の設定）。判別できない場合は、オンスクリーンメニューの調整→ビデオ→信号形式で「コンポーネント」を選択してください。（➡ 101 ページ）

信号リストを利用する

画像設定を少しでも行うと、信号の調整値が本機の信号リストに自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

信号リストには 100 パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が 100 パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

1 (MENU) ボタンを押す。

メニューが表示されます。

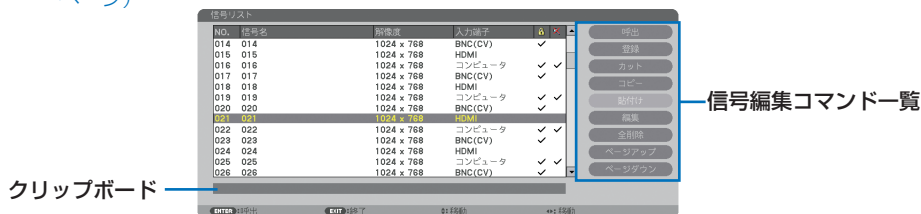
2 (◀/▶) ボタンを押して「入力端子」にカーソルを合わせる。

入力端子一覧が表示されます。

3 (▼) ボタンを押して、カーソルを信号欄に移動する。

4 (▼▲◀▶) ボタンを押して「信号リスト」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号リストが表示されます。

・ メニューに信号リストが表示されていない場合は、アドバンストメニューに変更してください。アドバンストメニューとベーシックメニューの選択はオンスクリーンメニュー→セットアップ→制御→ツール→管理者モード→メニューモードで行います。（➡ 117 ページ）

●投写している信号を登録する［登録］

1 信号リストで (▼/▲) ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせる。

2 (◀/▶) ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し (▼/▲) で「登録」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する［呼出］

1 信号リストで(▼/▲)ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する［編集］

1 信号リストで(▼/▲)ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせる。

2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼/▲)ボタンで「編集」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

信号編集画面が表示されます。

信号名	最大英数 18 文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。HDMI/DisplayPort/BNC/BNC(CV)/BNC(Y/C)/ コンピュータ /HDBaseT/SLOT の切り替えができます。
ロック（🔒）	☑（チェックマーク）を付けておくと、［全削除］を行ったときに残しておくことができます。また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ（✕）	☑（チェックマーク）を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

3 各項目を設定し、「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

● 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

●信号リストの項目を削除する［カット］

1 信号リストで(▼/▲)ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせる。

2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼/▲)ボタンで「カット」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

信号リストから削除され、信号リストのいちばん下のクリップボードに、削除した信号が表示されます。

● 現在投写中の信号を削除することはできません。
● 信号編集画面でロックした信号を選択した場合は、カットは文字が薄く表示され選択できません。

- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの貼付けで信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じても消えません。

●信号リストの項目をコピーする[コピー][貼付け]

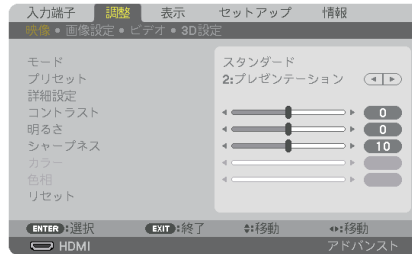
1. 信号リストで(▼/▲)ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせる。
2. (◀/▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼/▲)ボタンで「コピー」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
   信号リストのいちばん下のクリップボードに、コピーする信号が表示されます。
3. (◀/▶)ボタンを押して信号リストに移動する。
4. (▼/▲)ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせる。
5. (◀/▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼/▲)ボタンで「貼付け」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
   クリップボードの内容がコピーされます。

●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

1. (◀/▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼/▲)ボタンで「全削除」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
   確認メッセージが表示されます。
2. (◀/▶)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

- 信号編集画面でロックした信号は削除されません。

5-4. 調整

映像

●モード

プリセットの詳細設定の設定値を、入力信号ごとに保存するかどうかを設定します。

スタンダード	プリセットの詳細設定の設定値を、プリセットの項目ごと（1 〜 7）に保存します。
プロフェッショナル	映像ページ内のすべての設定値が入力信号ごとに保存されます。

● テストパターンを表示しているとき、モードは選択できません。

●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
本機の工場出荷時は、プリセット項目 1 〜 7 に、あらかじめ次の設定がされています。
また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1 〜 7 に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。

● 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。
調整値を登録するには、プリセット項目 1 ～ 7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。
ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、Brilliant Color、画面モード、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな設定ができます。

全般 ― 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 ― ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般― スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — 色温度

色（R, G, B）のバランスを調整して色再現性を最良にします。
高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。5000K ～ 10500K まで、100K 単位で設定できます。

- 詳細設定で「高輝度モード」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 — ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると映像に応じて最適なコントラスト比に調整します。

- プロジェクターの設定、状態によってはダイナミックコントラストが選択できない場合があります。

全般 —Brilliant Color

白色の明るさを選択します。
「中」→「強」を選ぶと白色が明るくなります。

- 参照で「高輝度モード」、「プレゼンテーション」を選択すると、BrilliantColor は変更できません。

全般 — 画面モード

投写する映像が 静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。

- 入力信号によっては画面モードが選択できない場合があります。

●ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ　赤 明るさ　緑 明るさ　青	映像の黒色を調整します。
コントラスト　赤 コントラスト　緑 コントラスト　青	映像の白色を調整します。

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●色補正

各信号共通の色補正を行います。
赤、緑、青、イエロー、マゼンタ（紫）、シアン（明るい青緑）の各色の色味を調整します。

赤	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「＋」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「－」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「＋」方向へ移動すると鮮やかになり、「－」方向へ移動すると弱くなります。
緑	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「＋」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「－」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「＋」方向へ移動すると鮮やかになり、「－」方向へ移動すると弱くなります。
青	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「＋」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「－」方向へ移動するとマゼンダよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「＋」方向へ移動すると鮮やかになり、「－」方向へ移動すると弱くなります。
イエロー	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「＋」方向へ移動すると赤よりに変化し、「－」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「＋」方向へ移動すると鮮やかになり、「－」方向へ移動すると弱くなります。
マゼンタ	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「＋」方向へ移動すると青よりに変化し、「－」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「＋」方向へ移動すると鮮やかになり、「－」方向へ移動すると弱くなります。
シアン	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「＋」方向へ移動すると緑よりに変化し、「－」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「＋」方向へ移動すると鮮やかになり、「－」方向へ移動すると弱くなります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

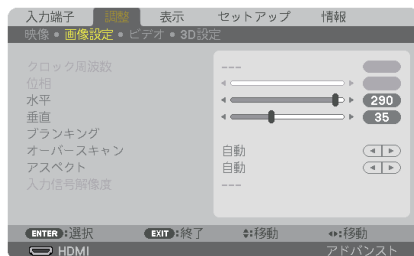
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/DisplayPort/HDMI/HDBaseT の RGB 系	○	○	○	×	×
コンピュータ/DisplayPort/HDMI/HDBaseT のコンポーネント系	○	○	○	○	○
コンポジットビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

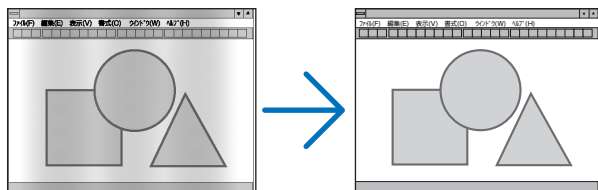
（○：調整可、×：調整不可）

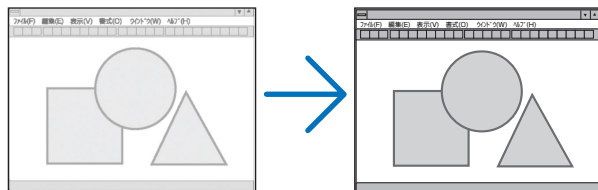
- テストパターンを表示しているときは、コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相は調整できません。

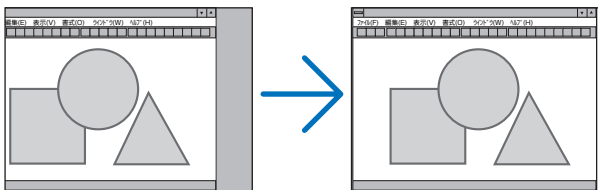
●リセット

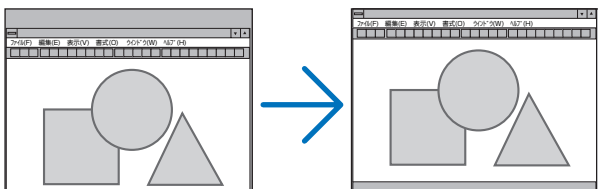
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定

●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。

●位相

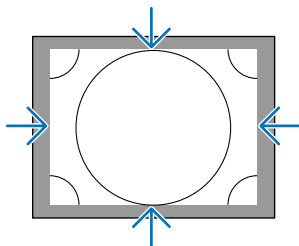
画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。

●水平

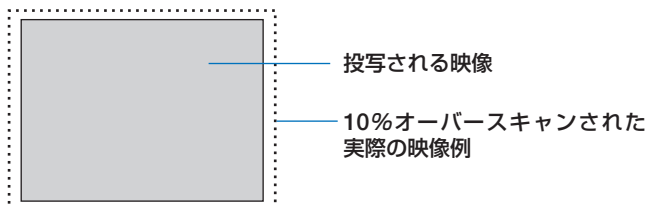
画面を水平方向に移動します。

●垂直

画面を垂直方向に移動します。

注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平･垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
  本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」を行ってください。

●ブランキング

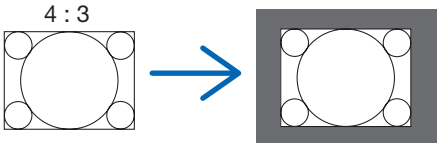
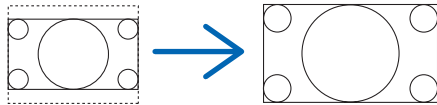
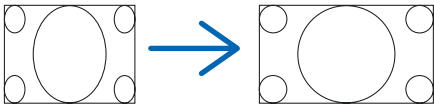
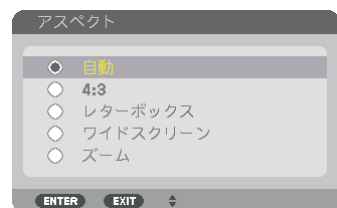
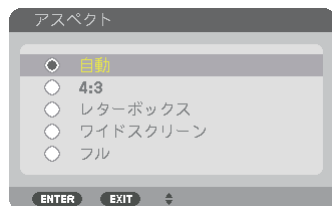
映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲（ブランキング）を調整します。

●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。

● アスペクトが「リアル」のときは選択できません。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。
アスペクトを設定する前に、設置のスクリーンタイプ（4：3／16：9／16：10）を選択してください。（114 ページ）

【コンピュータ信号時】

【コンポーネント／ビデオ／ S- ビデオ信号時】

スクリーンタイプが「4：3」スクリーンのとき

スクリーンタイプが「16：9」または「16：10」スクリーンのとき

自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4：3	4：3 のサイズで投写します。
5：4	5：4 のサイズで投写します。
16：9	16：9 のサイズで投写します。

15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度(15 ページ)よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コンピュータ入力信号の解像度のまま画面の中心を投写します。 4 : 3
レターボックス	16 : 9 のレターボックス信号を投写します。 レターボックス
ワイドスクリーン	16 : 9 のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して 16 : 9 のサイズで投写します。 スクイーズ
ズーム	16 : 9 のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして 4 : 3 のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。 スクイーズ
フル	画面サイズ全体に投写します。

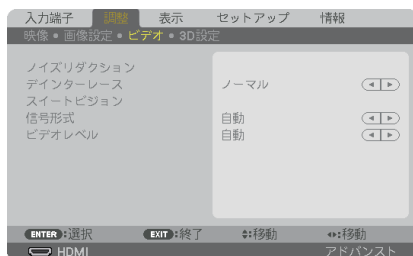
● コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
WXGA	1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA)	1366 × 768	約 16 : 9
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA+	1440 × 900	16 : 10
WXGA++	1600 × 900	16 : 9
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3

WSXGA+	1680 × 1050	16：10
FHD(1080P)	1920 × 1080	16：9
UXGA	1600 × 1200	4：3
WUXGA	1920 × 1200	16：10
WQXGA	2560 × 1600	16：10

●入力信号解像度

コンピュータ映像入力端子または BNC 映像入力端子（アナログ RGB）から自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に指定します。

ビデオ

●ノイズリダクション

ビデオ映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ（ざらつきや乱れ）を軽減することができます。本機には 3 種類のノイズ軽減機能がありますので、ノイズの種類に応じた機能を選択します。またノイズの度合いに応じて、「オフ」「弱」「中」「強」ノイズリダクション効果を選択できます。
ノイズリダクションは、SDTV, HDTV 信号、コンポーネント信号入力時に選択できます。

ランダム NR	画面全体に散らしたようなノイズを軽減します。
モスキート NR	映像の輪郭部に蚊の大群がまとわり付いているような、もやもやしたノイズを軽減します。
ブロック NR	映像がモザイクのように四角いかたまり状態に見えるノイズを軽減します。

●デインターレース

インターレース信号が入力された場合のプログレッシブ変換処理を選択します。

ノーマル	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「動画」を選択してください。
動画	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。
静止画	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。

● コンピュータ信号のときは選択できません。

●スイートビジョン

人間の目の特性を利用してコントラスト感、解像度感のある画質を実現します。

オフ	スイートビジョンは働きません。
自動	スイートビジョン機能によって、自動的にコントラストや画質を改善します。
ノーマル	手動でゲインを調整できます。

●信号形式

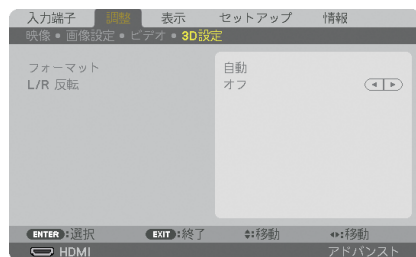
RGB とコンポーネント信号の選択です。通常は「自動」に設定します。それでも画像の色彩が不自然な場合には設定を切り替えてください。

自動	RGB とコンポーネント信号を自動判別します。
RGB	RGB 入力に切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント信号入力に切り替えます。

●ビデオレベル

本機の HDMI IN 端子、DisplayPort IN 端子および Ethernet/HDBaseT ポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
ノーマル	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
スーパーホワイト	映像のコントラストが向上し、暗部がよりダイナミックに表現されます。

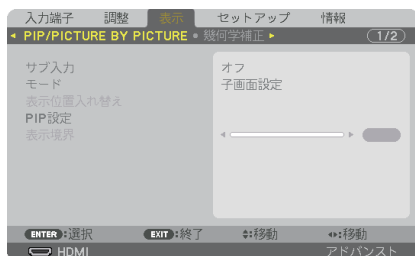
3D 設定

操作については、「3-9. 3D 映像を投写する」（57 ページ）をご覧ください。

●フォーマット

3D 映像のフォーマット（記録／伝送方式）を選択します。
3D 放送や 3D 媒体に合わせた選択をします。
通常は「自動」を選択します。フォーマットの 3D 検出信号が判別できないときは、3D 入力信号のフォーマットを選択してください。

● L/R 反転

左映像と右映像の表示順を反転します。
「オフ」で 3D 表示に違和感がある場合「オン」を選択します。

PIP/PICTURE BY PICTURE

●サブ入力

子画面または副画面に表示する入力信号を選択します。
操作について詳しくは、「4-2. 2 つの映像を同時に投写する」（71 ページ）をご覧ください。

●モード

2 画面表示に切り替えたとき子画面設定（ピクチャーインピクチャー画面）にするかPICTURE BY PICTURE（ピクチャーバイピクチャー画面）にするかを選択します。

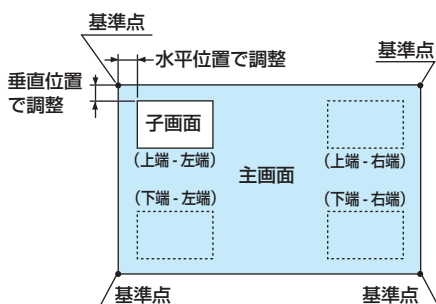
●表示位置入替え

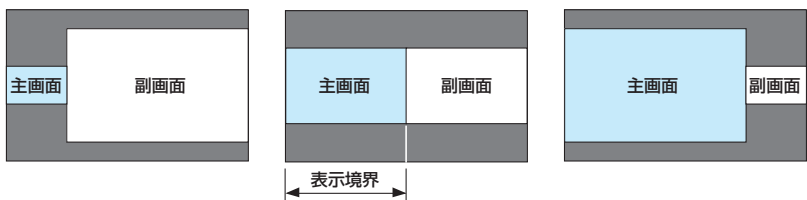
PIP 画面は主画面と子画面、PICTURE BY PICTURE 画面は主画面と副画面の映像を入れ替えます。
詳しくは、「4-2. 2 つの映像を同時に投写する」（71 ページ）をご覧ください。

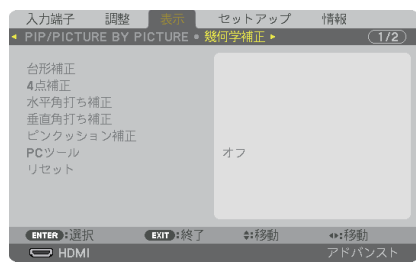
● PIP 設定

PIP 画面の子画面表示位置と位置調整、子画面のサイズを選択します。

開始位置	PIP 画面に切り替えたときの子画面表示位置の選択です。
水平位置	水平方向の子画面表示位置を調整します。各々コーナーが基準点となります。
垂直位置	垂直方向の子画面表示位置を調整します。各々コーナーが基準点となります。
サイズ	子画面の表示サイズを選択します。

水平位置、垂直位置は基準点からの移動量であり、たとえば上端 - 左端を調整すると他の開始位置で表示しても同じ移動量で表示されます。
最大移動量はプロジェクターの解像度の1/2 です。

●表示境界

PICTURE BY PICTURE 画面の主画面と副画面の表示境界を選択します。

- 本機は 6 段階の選択ができます。

幾何学補正

●台形補正

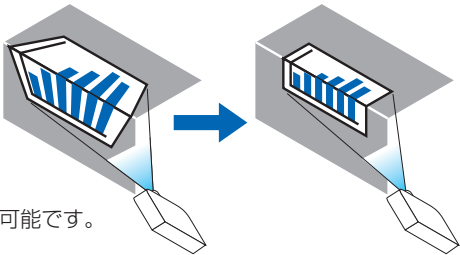
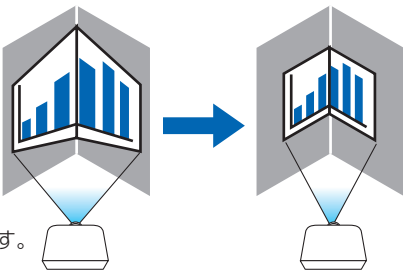
台形補正画面を表示するには、オンスクリーンメニュー→表示→幾何学補正→台形補正を選択します。幾何学補正画面はリモコンの 3D REFORM ボタンを押しても表示できます。

水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。	
垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。	
打上げ度	レンズシフトで垂直方向に画面を移動した状態で台形補正を行うときの歪を調整します。	

投写比	使用しているオプションレンズの投写比に応じて調整します。

レンズユニットの型名	調整範囲
NP34ZL	9 ～ 13
NP35ZL	12 ～ 17
NP36ZL	12 ～ 17
NP37ZL	15 ～ 31

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正の調整値をクリアする場合は、(3D REFORM)ボタンを 2 秒以上押してください。
- ほかの幾何学補正機能を設定しているとき、台形補正メニューは選択できません。台形補正を行う場合は、(3D REFORM)ボタンを 2 秒以上押して幾何学補正の調整値をクリアしてください。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

● 4 点補正

4 点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。
操作について詳しくは、「3-7. 台形歪みを調整する（4 点補正）」（➡ 51 ページ）をご覧ください。

●水平角打ち補正／垂直角打ち補正

壁面などのコーナー投写時の歪み補正です。

水平角打ち補正	水平方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。 ※逆角の補正も可能です。
垂直角打ち補正	垂直方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。 ※逆角の補正も可能です。

- 最大調整範囲を超えると歪み調整はできなくなります。また歪み調整量が多くなると画質劣化が増大しますのでプロジェクターは最適な角度で設置してください。
- 角打ち投写は上下または左右の辺と画面中心との距離の違いによりフォーカスがあまくなりますのでご承知ください。また短焦点レンズでの角打ち投写はフォーカスが合わなくなりますのでお勧めできません。

調整方法

1 幾何学補正メニューの「水平角打ち補正」または「垂直角打ち補正」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。

・調整画面が表示されます。

2 (▼▲◀▶)ボタンを押して、カーソル（黄色の枠）を目的の調整ポイントに合わせて、(ENTER)ボタンを押します。

・カーソルが調整ポイント（黄色）に変わります。

3 (▼▲◀▶)ボタンを押して画面の角または辺を調整し、(ENTER)ボタンを押します。

・カーソル（黄色の枠）に戻ります。

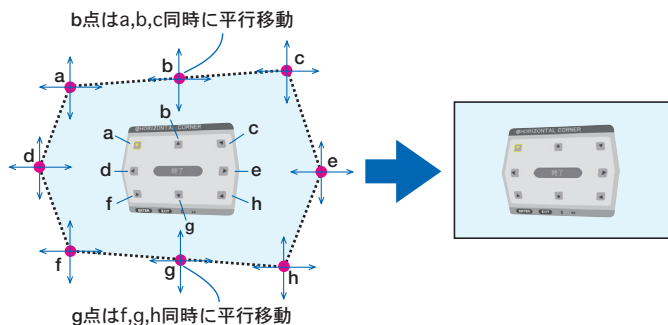
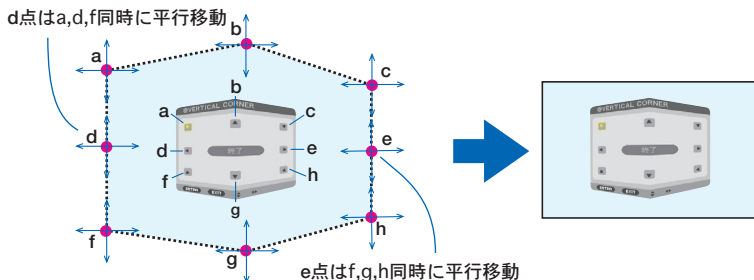
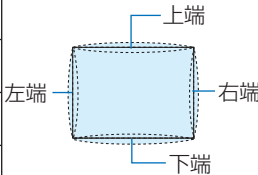
画面移動の説明

・4 隅の調整ポイント（図の a,c,f,h）は単独で移動します。

・次の調整ポイントは水平角打ち補正と垂直角打ち補正では異なります。

水平角打ち：図の b 点を移動すると上辺、g 点を移動すると下辺が平行移動します。

垂直角打ち：図の d 点を移動すると左辺、e 点を移動すると右辺が平行移動します。

【水平角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】

【垂直角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】

4 他のポイントを調整するときは**2**から行います。

5 調整が終わりましたら、(▼▲◀▶)ボタンを押して調整画面の「終了」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。

・幾何学補正メニュー画面に替わります。

●ピンクッション補正

投写画面のわん曲歪みを調整します。

上端	投写画面の上端のわん曲歪みを調整します。	
下端	投写画面の下端のわん曲歪みを調整します。	
左端	投写画面の左端のわん曲歪みを調整します。	
右端	投写画面の右端のわん曲歪みを調整します。	

● PC ツール（※本機では使用できません。将来対応予定です。）

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。
登録データは 3 つあります。

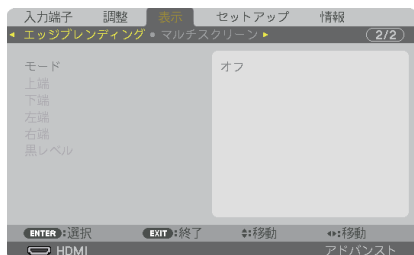
- PC ツールで幾何学補正を設定してるときは、台形補正、4 点補正、およびピンクッション補正は選択できません。
- 設定した幾何学補正のデータをクリアする場合は、(3D REFORM)ボタンを 2 秒以上押してください。
- 幾何学補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

●リセット

幾何学補正に設定されている、調整値をリセット（初期値に戻す）します。

エッジブレンディング

本機を左右上下に複数台組み合わせて、解像度の高い映像を投写する際に、投写画面の端（境界）を調整します。

●モード

エッジブレンディング機能の有効・無効を設定します 。
モードをオンに設定すると上端、下端、左端、右端、黒レベルを設定・調整できます。

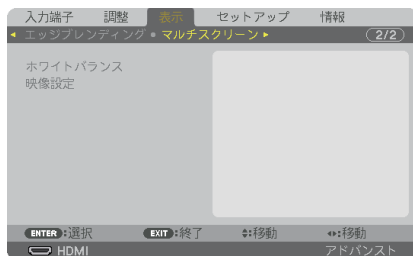
●上端、下端、左端、右端

画面の上下左右のエッジブレンディング箇所を選択します 。項目を選択すると以下の設定・調整ができます。（75 ページ）

制御	上端、下端、左端、右端の有効·無効を設定します。
マーカー	範囲と表示位置調整時にマーカーを表示するかしないかを設定します。オンにすると、範囲調整用はマゼンタ、表示位置調整用は緑のマーカーが表示されます。
範囲	エッジブレンディングの範囲（幅）を調整します。
位置	エッジブレンディングの設定位置を調整します。

●黒レベル

画面を 9 分割し、各プロジェクターの黒レベルを均一にします。
9 分割の画面は、上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端です。（77 ページ）

マルチスクリーン

●ホワイトバランス

複数台のプロジェクターを組み合わせて投写する場合、プロジェクターごとのホワイトバランスを調整します。

モード	「オン」のとき調整ができます。
明るさ　白 明るさ　赤 明るさ　緑 明るさ　青	映像の黒色を調整します。
コントラスト　白 コントラスト　赤 コントラスト　緑 コントラスト　青	映像の白色を調整します。

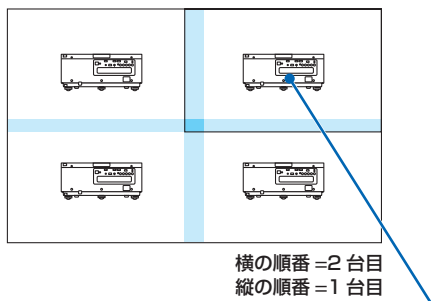
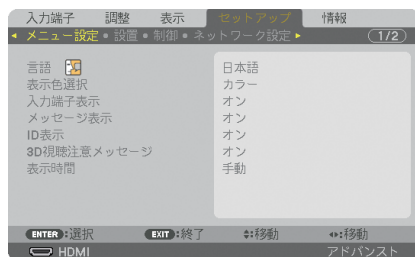
●映像設定

複数台のプロジェクターを組み合わせて投写する場合の分割条件を設定します。
詳しくは、「4. マルチスクリーン投写」（67 ページ）をご覧ください。

モード	オフ	プロジェクターを単体で使用します。
	ズーム	分割したい映像エリアの位置、映像幅を調整します。その幅でエッジブレンディングの幅も自動設定します。
	タイリング	分割画面をプロジェクターに割り当てます。エッジブレンディング機能も自動設定します。
ズーム	水平拡大	映像エリアを横方向に拡大します。
	垂直拡大	映像エリアを縦方向に拡大します。
	水平位置	映像エリアを横方向に移動します。
	垂直位置	映像エリアを縦方向に移動します。
タイリング	横台数	プロジェクターを横に並べた台数を選択します。
	縦台数	プロジェクターを縦に並べた台数を選択します。
	横順番	横に並べた台数中、左から何番目のプロジェクターかを選択します。
	縦順番	縦に並べた台数中、上から何番目のプロジェクターかを選択します。

タイリングの使用条件

- すべてのプロジェクターは下記の条件を満たしている必要があります。
  ・パネルサイズが同じ
  ・投写画面サイズが同じ
  ・投写画面の左右端または上下端が一致していること
  ・エッジブレンディングの左端と右端の設定が同じ
  ・エッジブレンディングの上端と下端の設定が同じ
  タイリング条件を満たしていれば、各設置位置のプロジェクターの映像画面を自動で抽出して投写します。
  タイリング条件を満たしていない場合は、ズームで各設置位置ごとのプロジェクターの映像画面を調整してください。
- 各プロジェクターに対して異なるコントロール ID を設定してください。
- ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）のカラー設定、DeepColor 設定は、自動に設定してください。詳しくはブルーレイプレーヤの取扱説明書をご覧ください。
  ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）の HDMI 信号は、1 台目のプロジェクターに接続してください。そして、タイリングする 2 台目以降のプロジェクターの HDMI IN 端子に接続してください。

タイリング設定例）横台数 =2 台、縦台数 =2 台

メニュー設定

●言語

メニューに表示される言語を選択します。

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。
「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。
・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。

●メッセージ表示

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。
「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

● ID 表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID (122 ページ)をご覧ください。

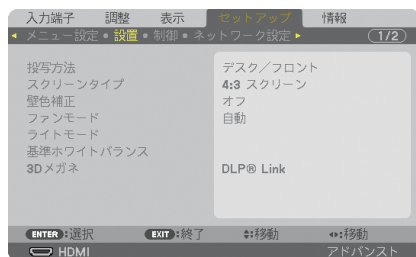
● 3D 視聴注意メッセージ

3D 映像に切り替えたとき視聴注意メッセージを表示するか、しないかを選択します。
（工場出荷状態はオンです。）

オフ	3D 視聴注意メッセージ画面は表示されません。
オン	3D 映像に切り替えたときは 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。 (ENTER) ボタンを押すとメッセージは消えます。 ・ 約60秒経過したときや他のボタン操作をした場合は、自動で消えます。自動で消えたときは、再度 3D 映像に切り替えると 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

設置

●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

● 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。

自動	デスク / フロントと天吊り / フロントを自動で検知して投写します。 注意 ● デスク / リアと天吊り / リアは検知しません。手動で選択してください。
デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写

天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写

- 自動のデスク / フロントは床置で約± 10 度以内、天吊り / フロントは天吊りで約± 10 度以内の設置状態で判定します。投写画面が逆さになっているときは、手動で選択してください。

●スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。

フリー	液晶パネルの比率になります。マルチスクリーンや 17：9 画面（2K）を投写するときに選択します。
4：3 スクリーン	縦横比が 4：3 のスクリーンの場合
16：9 スクリーン	縦横比が 16：9 のスクリーンの場合
16：10 スクリーン	縦横比が 16：10 のスクリーンの場合

- スクリーンタイプを変更したら、必ず［アスペクト］の設定を確認してください。
（98 ページ）

●壁色補正

映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

モード	自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
	高速	標高約 760m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

● 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。

注意

● 標高約 760m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高速」に設定してください。「高速」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
● ファンモードを「高速」に設定しないまま、標高約 760m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。
さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
● 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
● ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考

●「高速」を選択するとオンスクリーンメニュー下部にアイコンが表示されます。

●ライトモード

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整です。省エネ設定は49 ページの「3-6. ライトモードと省エネ効果」をご覧ください。

ライトモード	ノーマル	輝度（明るさ）が 100%になり、明るい画面になります。
	エコ 1	設定したモードに対応して輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。 輝度一定モードが「オフ」のとき設定ができます。
	エコ 2	
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 ・ 再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。 注意 ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。
調整		出力を 20 ～ 100%の範囲（1%刻み）で調整できます。 複数台のプロジェクターを使用してマルチスクリーン投写したとき、各プロジェクターの輝度合わせが行えます。 ライトモードが「ノーマル」かつ、輝度一定モードが「オフ」のとき調整が有効になります。

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。
  ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。
  このため、マルチスクリーン投写の輝度設定は輝度を少し抑えた輝度に調整し、その後輝度設定モードを「オン」にしておくことをお勧めします。

●基準ホワイトバランス

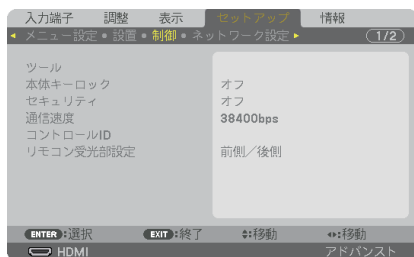
各信号共通のホワイトバランスを調整します。
信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

コントラスト　赤	画面の白色を調整します。
コントラスト　緑	
コントラスト　青	
明るさ　赤	画面の黒色を調整します。
明るさ　緑	
明るさ　青	

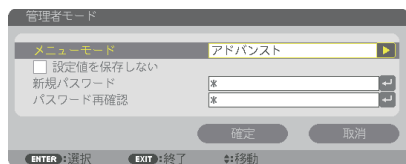
● 3D メガネ

使用する 3D メガネの方式を選択します。
使い方については、「3-9. 3D 映像を投写する」（➡ 57 ページ）をご覧ください。

DLP® Link	DLP® Link 方式の 3D メガネを使用するときに設定します。
その他	3D エミッタ（IR 方式やワイヤード方式）対応の 3D メガネを使用するときに設定します。 3D エミッタを本機の 3D SYNC 端子に接続する必要があります。 3D メガネと 3D エミッタの推奨品については（➡ 59 ページ）をご覧ください。

制御

●ツール

管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目は 83 ページをご覧ください。	—
設定値を保存をしない	☑（チェックマークを付ける）…オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 ☐（チェックマークを外す）……オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
新規パスワード パスワード再確認	管理者モードにパスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字

プログラムタイマー

曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の 9 時に電源がオンになり、9 時 1 分にコンピュータの画面に切り替わり、17 時に電源がスタンバイ状態になります。

- **「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください** （121 ページ）。
  また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約 2 週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

プログラムを新しく設定する

1 プログラムタイマー画面で（▼/▲）ボタンを押して［設定］にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。

プログラムリスト画面が表示されます。

2 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。

編集画面が表示されます。

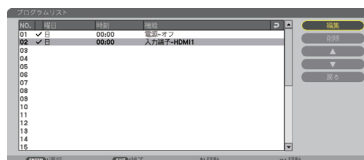
3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。

動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると［詳細設定］で電源のオン／オフ、「入力端子」を選択すると［詳細設定］で映像信号、「ライトモード」を選択すると［詳細設定］でライトモードを選べるようになります。
詳細設定	［機能］で選択した内容に応じて、電源のオン／オフ、映像信号の種類、またはエコモードのオン／オフを選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

5 「戻る」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。

6 (EXIT) ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。

注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- ［繰り返し］にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に［動作］のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの［有効］にチェックが付いていても［動作］にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

プログラムタイマーを有効にする

1 プログラムタイマー画面で［プログラムタイマー］の［有効］にカーソルを合わせて、ENTER ボタンを押す。

選択画面が表示されます。

2 ▼ ボタンを押して［オン］にカーソルを合わせて、ENTER ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。

- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていないときは、プログラムリストの［動作］の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

プログラムを編集する

1 プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

2 編集画面で設定を変更する。

3 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、▶ ボタンを押す。

2 ▼ ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。

3 希望の位置まで移動するまで ENTER ボタンを数回押す。

これでプログラムの順番が変更されます。

プログラムを削除する

1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、▶ ボタンを押す。

2 ▼ ボタンを押して「削除」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

3 「はい」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

削除されプログラムリスト画面に戻ります。

日付と時刻設定

本機に日付と時刻およびタイムゾーンを設定します。

（注）日本で使用する場合は「夏時間設定」は、設定しないでください。

タイムゾーン設定（注）	・時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。 ・日本の時刻の場合は「GMT +09:00」を選択します。
日付・時刻設定	現在の「月／日／年」、「時／分」を設定します。
インターネット時刻サーバ	・ネットワーク上の NTP サーバと同期して、正しい時刻を取得するときに設定します。 ・NTP サーバの IP アドレス、またはホスト名を入力します。

● 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時にスタンバイ状態にしておいてください。
本機の電源を遮断したあと、そのまま約 2 週間以上経過すると、日付と時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

マウス設定

この機能は、本機では使用できません。将来の拡張用です。

●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

● 本体キーロックの解除方法
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の (SOURCE) ボタンを約 10 秒間押すと、本体キーロックの設定が解除されます。

● 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「🔒」アイコンが表示されます。
● 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。
セキュリティ設定のしかたは「3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する」（54 ページ）をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

● セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

● 添付の CD-ROM に収録しているソフトウェアを使用する場合は、38400bps 以下に設定してください。

● 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	プロジェクターに割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

● コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

● コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
● 本体の(ENTER)ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

1 プロジェクターの電源を入れる。

2 リモコンの(ID SET)ボタンを押す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順**3**でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

3 リモコンの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。

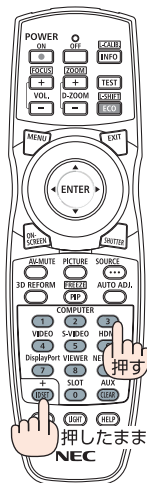
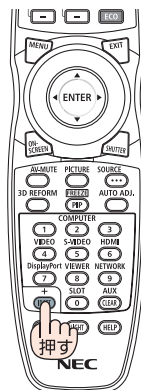
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または(CLEAR)ボタンを押します。

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

4 (ID SET)ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

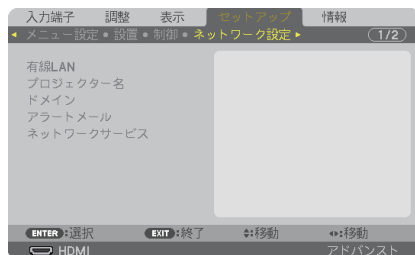
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って操作する場合に選択します。

● 「HDBaseT」に設定しているとき、本機に接続している HDBaseT 対応の伝送機器の電源が入っていると、本機のリモコンは受信できません。

● 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

ネットワーク設定

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の Ethernet/HDBaseT ポートに Ethernet ケーブル（LAN ケーブル）を接続してください。（151 ページ）

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

本機にLANの設定を行うヒント

- **LAN の設定を行うには？（設定を本機のメモリに記憶するには？）**

有線 LAN の「プロファイル」から、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。
本機では、2 とおりメモリに記憶することができます。
続いて、「DHCP」の有効／無効、「IP アドレス」、「サブネットマスク」などの設定後、「確定」にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押します。（126 ページ）

- **プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？**

有線 LAN の「プロファイル」から呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。
（126 ページ）

- **DHCP サーバに接続するには？**

有線 LAN の「DHCP」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。
チェックマークが付きます。「DHCP」にカーソルを合わせ、もう一度 ENTER ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、「DHCP」のチェックマークを外してください。（126 ページ）

- **プロジェクターの各種のエラーを E メールで受け取るには？**

［アラートメール］メニューで［メール通知］にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押します。
チェックマークが付きます。続いて、［差出人アドレス］や［SMTP サーバ名］、［宛先アドレス］などを設定し、［確定］にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押します。（128 ページ）

●有線 LAN

IP アドレスなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は82 ページ「文字入力画面の使い方」をご覧ください。

プロファイル	・本機に内蔵の Ethernet/HDBaseT ポートを使用する場合の設定を 2 とおり、本機のメモリに記憶することができます。 ・「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、「DHCP」以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の「確定」にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。設定内容が本機のメモリに記憶されます。 ・本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。 ・有線 LAN と接続しないときは「無効」を選択します。	—
DHCP	本機を接続するネットワークが、DHCP サーバによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク（☑）を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。 ・☑（チェックマークを付ける）………DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 ・☐（チェックマークを外す）………ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。	—
IP アドレス	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
サブネットマスク	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	数字 12 文字
ゲートウェイ	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12 文字

自動 DNS	• ☑（チェックマークを付ける）………DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。 • ☐（チェックマークを外す）………本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
DNS 設定	「自動 DNS」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

●プロジェクター名

プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	半角英数記号 1 〜 16 文字

●ドメイン

本機のホスト名とドメイン名を設定します。

ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

●アラートメール

<table>
<tr><td>メール通知</td><td>本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。
・☑（チェックマークを付ける）……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。
・☐（チェックマークを外す）……メール通知機能は停止します。
【本機から送信される E メールの例】
Subject: [Projector] Projector Information
冷却ファンの回転が停止しています。
［情報］
プロジェクター名：PX602UL Series
ライト使用時間：0000 [H]</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ホスト名</td><td>本機のホスト名を設定します。</td><td>英数字
最大 15 文字</td></tr>
<tr><td>ドメイン名</td><td>本機のドメイン名を設定します。</td><td>英数字
最大 60 文字</td></tr>
<tr><td>差出人アドレス</td><td>本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。
E メールの「from」にあたるアドレスです。</td><td>英数字、記号　最大 60 文字</td></tr>
<tr><td>SMTPサーバ名</td><td>本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。</td><td>最大 60 文字</td></tr>
<tr><td>宛先アドレス 1
宛先アドレス 2
宛先アドレス 3</td><td>本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。
E メールの「to」にあたるアドレスです。</td><td>英数字、記号　最大 60 文字</td></tr>
<tr><td>送信テスト</td><td>E メールの設定を確認するために、テストメールを送信します。
注意
● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。
● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。</td><td>—</td></tr>
</table>

●ネットワークサービス

パスワードなど文字入力が必要な設定は、ENTERボタンを押すと、文字入力画面を表示します。
入力方法は82 ページ「文字入力画面の使い方」をご覧ください。

HTTP サーバ	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字
PJLink	PJLink（ピージェイリンク）を使用する場合に、パスワードを設定します。 参考 ● PJLink（ピージェイリンク）とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（略称 JBMIA) が制定したネットワーク（通信）インターフェイス規格です。 http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html 本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。 ● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。 ● パスワードは、「リセット」を行っても解除されません。	英数字 最大 32 文字
AMX	本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効／無効を設定します。 参考 ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。 オン……AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。 オフ……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。	―

CRESTRON	ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。 ・☑（チェックマークを付ける）…ROOMVIEW を有効にします。 ・☐（チェックマークを外す）…ROOMVIEW を無効にします。 CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。 ・☑（チェックマークを付ける）…CRESTRON CONTROL を有効にします。 CONTROLLER IP ADDRESS：CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を入力します。 IP ID：CRESTRON SERVER の IP ID を入力します。 ・☐（チェックマークを外す）…CRESTRON CONTROL を無効にします。	数字 12 文字（この欄は IP アドレスが入ります。）

● CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。
CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。
（英語のみ）　　　　http://www.crestron.com

入力設定

●自動調整

調整されていないコンピュータ入力信号（アナログ RGB）に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 （AUTO ADJ.）を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあと映像が表示されるまで時間がかかります。

● 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
● （AUTO ADJ.）ボタンを押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。
工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI	HDMI IN 端子の入力信号を投写します。
DisplayPort	DisplayPort IN 端子の入力信号を投写します。
BNC	BNC 入力端子の入力信号を投写します。
BNC（CV）	BNC（CV）入力端子の入力信号を投写します。
BNC（Y/C）	BNC（Y/C）入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ	COMPUTER 1 IN 端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT または有線 LAN の信号を投写します。
SLOT	SLOT（スロット）に装着している別売のオプションボードを介して映像を投写します。

●クローズドキャプション

ビデオ信号、S- ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。
オンスクリーンが消えたあと、しばらくして字幕や文字が表示されます。

オフ	表示しません。
キャプション 1 ～ 4、テキスト 1 ～ 4	選択した字幕や文字を表示します。

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

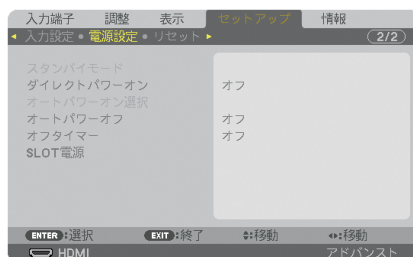
●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、PIP/PICTURE BY PICTURE で 2 画面を表示している場合は、無信号状態になるとロゴは表示されずブルーバック表示になります。

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

電源設定

●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が 0.5 ワットになります。スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータが消灯します。 ●「ノーマル」に設定していると、次の端子や機能が働きません。HDMI OUT 端子、Ethernet/HDBaseT ポート、USB ポート、LAN 機能、メール通知機能
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線 LAN を使って本機の電源を入れることができます スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯しステータスインジケータが消灯します。

- 「ネットワークスタンバイ」を選択すると「オートパワーオフ」は灰色表示になり選択できなくなり、強制的に「0:15」が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態※になります。スリープ状態では内部部品保護のためにファンが回転します。
  ※スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。
  ・ネットワークサービス→ AMX BEACON →「有効」のとき
  ・ネットワークサービス→ CRESTRON → CRESTRON CONTROL →「有効」のとき
  ・制御→リモコン受光部設定→「HDBaseT」のとき
  ・HDBaseT 伝送機器からの信号受信中
- 「ノーマル」を選択すると「オートパワーオン選択」は灰色表示になり選択できなくなり、自動的に「オフ」が選択された状態になります。

- 市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は、接続している機器の影響により、本機のスタンバイ時の消費電力が増加します。

- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO2 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択（131 ページ）で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン選択

本機がネットワークスタンバイ状態のとき、コンピュータ、HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SLOT から入力される同期信号を検出して自動的に投写する設定です。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
HDMI	選択した入力端子のコンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。
DisplayPort	
コンピュータ	
HDBaseT	
SLOT	

- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン選択を働かせたい場合は、入力端子の信号を遮断、またはケーブルを抜いて、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、設定した信号を入力してください。
  本機の電源を切りネットワークスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずネットワークスタンバイ状態を継続します。
  HDMI、DisplayPort、HDBaseT 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源を切りネットワークスタンバイ状態にしても、外部機器の仕様によっては再度、本機が起動する場合があります。
- COMPUTER 1 IN 端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン（Sync on Green）またはコンポジットシンク（Composite Sync）のコンピュータ信号の場合は働きません。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 ／ 0:10 ／ 0:15 ／ 0:20 ／ 0:30 ／ 1：00	設定した時間（5 分／ 10 分／ 15 分／ 20 分／ 30 分／ 1 時間）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

- Ethernet/HDBaseT ポートからの信号を投写中はオートパワーオフは働きません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のときは、オートパワーオフは灰色表示になり、強制的に「0:15」に設定されます。

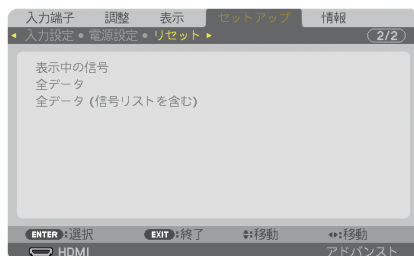
●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。
オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

● SLOT 電源

本機に取り付けたオプションボードへの電源を設定します。

プロジェクターオン	SLOT（スロット）に取り付けた別売のオプションボードの電源の入／切を行います。
プロジェクタースタンバイ	本機がスタンバイ状態のとき、SLOT（スロット）に取り付けた別売のオプションボードに電源の供給を行うかどうかを設定します。

リセット

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。
リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
信号リスト・言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・エッジブレンディング・マルチスクリーン・スクリーン設定・幾何学補正・基準ホワイトバランス・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・時刻設定・コントロール ID・スタンバイモード・ファンモード・ライト使用時間・総 CO2 削減量・有線 LAN

●全データ（信号リストを含む）

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・エッジブレンディング・マルチスクリーン・スクリーン設定・幾何学補正・基準ホワイトバランス・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・時刻設定・コントロール ID・スタンバイモード・ファンモード・ライト使用時間・総 CO2 削減量・有線 LAN

● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

5-7. 情報

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報
使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 信号(3) • 信号(4) 1/2
ライト使用時間 00000 [H]
総CO2削減量 0.000[kg-CO2]
EXIT:終了 ⇕:移動 ⇔:移動
HDMI アドバンスト
入力端子 HDMI
解像度 1024x768
水平同期周波数 48.58[kHz]
垂直同期周波数 62.13[Hz]
同期形態 セパレート
同期極性 H:(-) V:(-)
走査方式 ノンインターレース
信号名 1024x768
登録番号 1
信号形式 RGB
ビデオ標準 NTSC
色深度 6[bits]
ビデオレベル フル
データレート 2.7[Gbps]
レーン数 1[lane]
3Dフォーマット フレームパッキング
入力端子 ---
有線LAN • VERSION(1) • その他 • HDBaseT 2/2
IPアドレス
サブネットマスク
ゲートウェイ
MACアドレス
FIRMWARE 1.00
DATA 1.00
SUB-CPU 1.00
日付と時刻 01/01/2013 火 00:00
プロジェクター名 PX602UL Series
MODEL NO.
SERIAL NUMBER
信号品質 ノーマル
オペレーションモード HDBaseT
リンクステータス HDBaseT
HDMIステータス NO HDMI

ライト使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。（50 ページ）
- 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」（176 ページ）もあわせてご覧ください。

6. 機器と接続する

6-1. レンズユニット(別売)を取り付ける

本機は 3 種類の別売レンズユニットが使用できます。次の様にプロジェクターの型名によって使用できるレンズユニットが異なります。ここでは NP35ZL（標準ズーム）のレンズユニットで説明します。他のレンズユニットも同じ方法で取り付けてください。レンズの仕様は 182 ページをご覧ください。

	レンズユニット（型名）			
プロジェクター（型名）	NP34ZL 短焦点ズーム	NP35ZL 標準ズーム	NP36ZL 標準ズーム	NP37ZL 長焦点ズーム
NP-PX602UL-WHJD	○	○	×	○
NP-PX602WL-WHJD	○	○	○	○

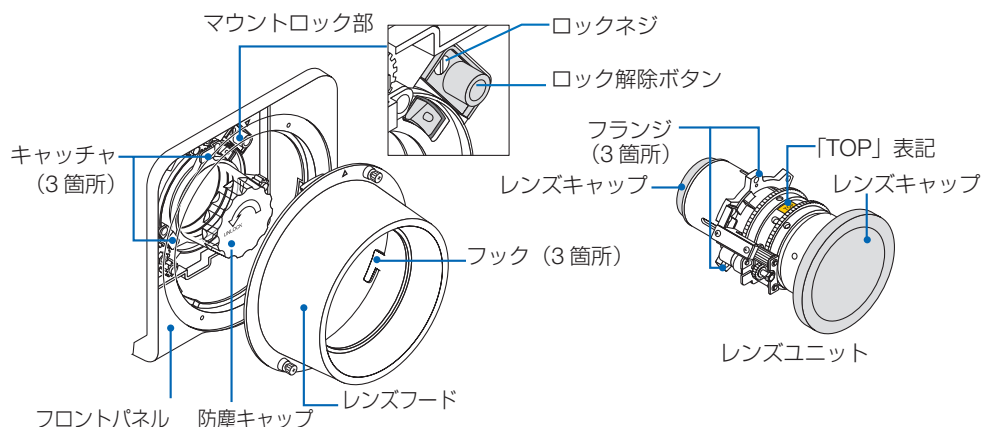
○：取り付け可　　×：取り付け不可

レンズユニットの着脱は（1）電源を切る操作をし、冷却ファンが停止するのを待つ、（2）主電源スイッチを切る、（3）電源コンセントを抜いて、本体が十分冷えてから行ってください。投写状態で行うと目の障害、感電やけどの原因になります。

- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- プロジェクターからレンズユニットを取り外す際は、プロジェクターの電源を切る前にレンズ位置をホームポジションに戻してください。ホームポジションに戻していないと、プロジェクターとレンズユニットの隙間が狭くなり、取り外しおよび取り付けの障害になります。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて行ってください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、防塵キャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。レンズユニットを取り外したままにしておくと光学ユニット内部にほこりなどが入り光学部品が損傷したり画質が低下するおそれがあります。
- 他の機種のレンズユニットを本機に取り付けることはできません。
  また、NP34ZL/NP35ZL/NP36ZL/NP37ZL を他のプロジェクターに取り付けることはできません。

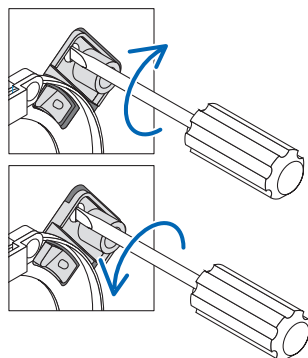
レンズマウント各部の名称

本機のレンズマウント（装着）機構について

レンズユニットのフランジ（3 箇所）を回転させて本体マウントのキャッチャ（3 箇所）にマウントします。またレンズユニットをマウントに固定するロック機構があります。

●ロック機構の使い方

準備：マイナスドライバーを用意してください。

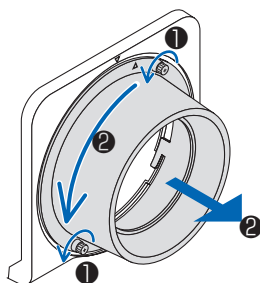
解除：ロックネジをしめた状態
レンズユニットの着脱ができます（工場出荷状態です）。

ロック：ロックネジをゆるめた状態
レンズユニットの着脱はできません。ただし、ロック解除ボタンを止まるまで押している間は解除状態になり着脱ができます。

レンズユニットを取り付ける

※説明図は本体のキャビネットを省略しています。

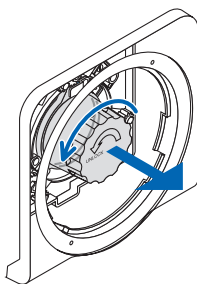
1 本体のレンズフードを外す。

❶ 2 箇所のネジを手で左へ回し、空転するまでゆるめます。
・ネジは外れません。

❷ レンズフードを左へ回して（レンズフードのフックがフロントパネルから外れます）取り外します。

2 本体の防塵キャップを外す。

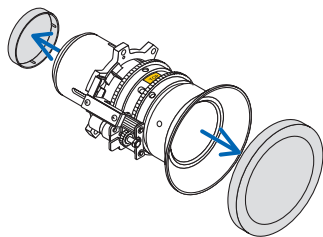
・工場出荷状態は防塵キャップを取り付けています。

防塵キャップを左へ回すとキャッチャから外れます。そのまま取り出してください。

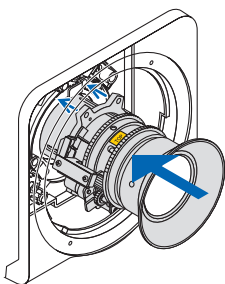
・防塵キャップは大切に保管してください。

3 レンズユニット前後のレンズキャップを外す。

・レンズユニット NP35ZL で説明しています。

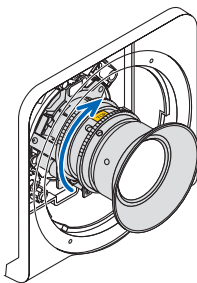
・レンズキャップは大切に保管してください。

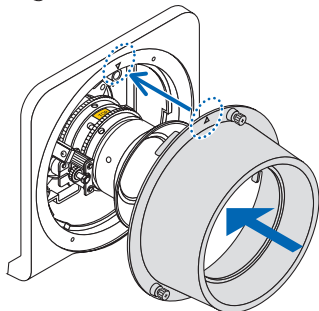
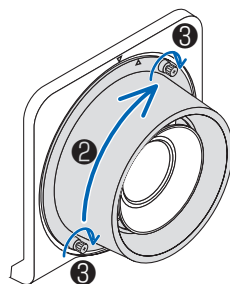
- レンズキャップは必ず外してください。レンズキャップを付けたまま光源を点灯すると、故障の原因となります。

4 レンズユニットの「TOP」表記を上向きにして、レンズマウントに挿入する。

このとき、レンズユニット上部のフランジを本体マウント上部のキャッチャの左側に合わせます。

- レンズユニットがぶつからないようにゆっくり入れてください。ぶつかるとレンズに傷がつくおそれがあります。

5 レンズユニットを「カチッ」とするところまで右へ回す。

フランジ（3 箇所）がキャッチャ（3 箇所）に入りレンズユニットがマウントされました。

・レンズユニットをロックする場合は前ページの「ロック機構の使い方」をご覧ください。

6 レンズフードをフロントパネルに取り付ける。

❶ レンズフードの▲印をフロントパネル上部の▼印に合わせます。

❷ レンズフードを右へ回します。
このとき、裏面にあるフックがフロントパネルのフランジに入ります。
❸ レンズフードの 2 箇所のネジを手で右へ回して締め付けます。

レンズユニットを取り外す

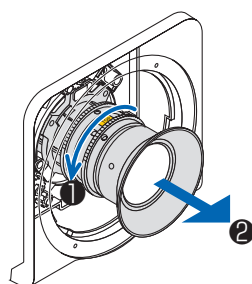
準備： レンズ位置をホームポジションに戻してください。(➡ 39 ページ)
移動後は、➡ 138 ページの警告をご覧いただき、電源を遮断してください。

1 レンズフードを取り外す。

「レンズユニットを取り付ける」の手順1をご覧ください。

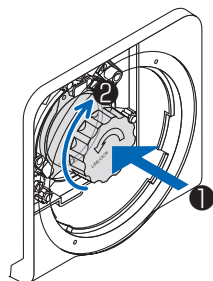
・レンズユニットがロックされている場合は➡ 139 ページの「ロック機構の使い方」をご覧いただき解除してください。

2 レンズユニットを左へ回してキャッチャから外し、手前にゆっくり引いて取り外す。

・外したレンズユニットはレンズユニットに添付していたレンズキャップ（前と後）を取り付けてから保管してください。
・レンズユニットを交換するときは、「レンズユニットを取り付ける」の手順3に移ってください。

3 防塵キャップを取り付ける。

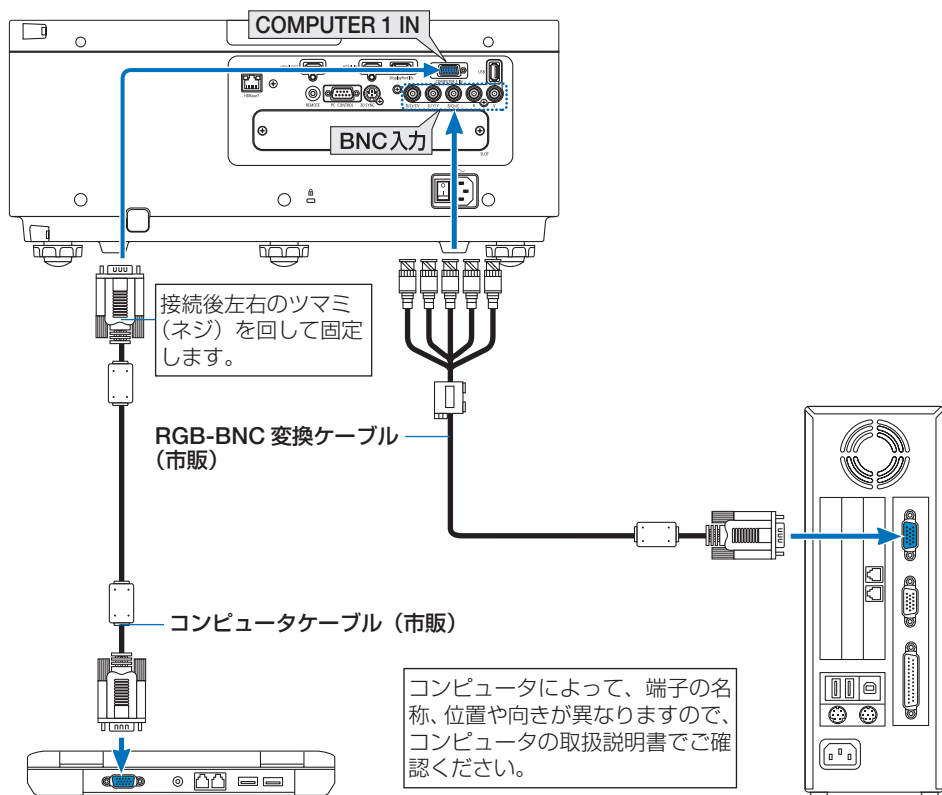
工場出荷時に取り付けていた防塵キャップのフランジをキャッチャの左側に合わせ、「カチッ」とするまで右へ回します。

4 レンズフードをパネルに取り付ける。

「レンズユニットを取り付ける」の手順6をご覧ください。

6-2. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル、BNC ケーブル（5 芯タイプ）、HDMI ケーブル、および DisplayPort ケーブルを使用する方法があります。
接続ケーブルは添付しておりません。接続に合ったケーブルをご用意ください。

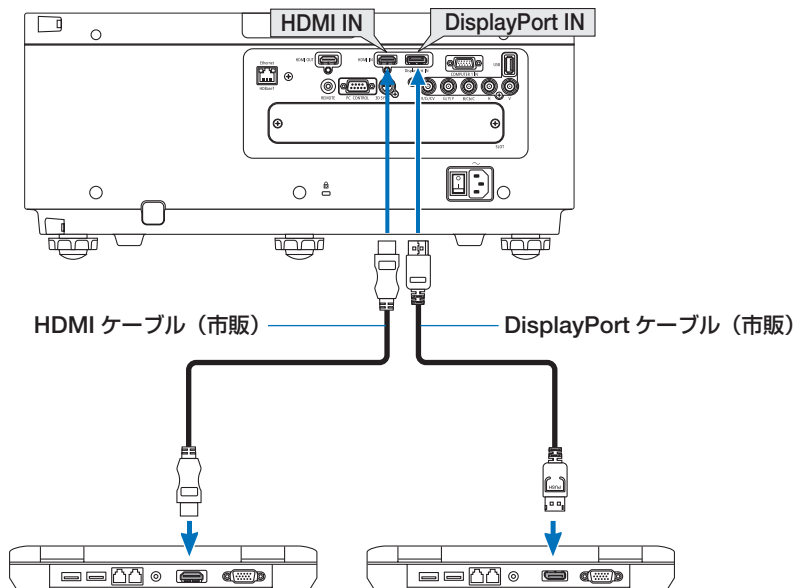
アナログ RGB 信号の接続

- コンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機の COMPUTER 1 IN 端子を接続します。フェライトコア付きコンピュータケーブルをご使用ください。
- コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と BNC 入力端子とを接続する場合は、BNC ケーブル（5 芯）→ミニ D-Sub15 ピン変換ケーブルをご使用ください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の SOURCE ボタン	リモコンのボタン
BNC 入力端子	×5 BNC	COMPUTER 2
COMPUTER 1 IN 端子	コンピュータ	COMPUTER 1

デジタル RGB 信号の接続

- HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI IN 端子を接続します。
- DisplayPort ケーブルはコンピュータの DisplayPort 出力端子と本機の DisplayPort IN 端子を接続します。

● コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の SOURCE ボタン	リモコンのボタン
HDMI IN 端子	HDMI	HDMI
DisplayPort IN 端子	DisplayPort	DisplayPort

● HDMI ケーブル接続時の注意

- HDMI ケーブルは、認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGH SPEED ケーブルを使用してください。

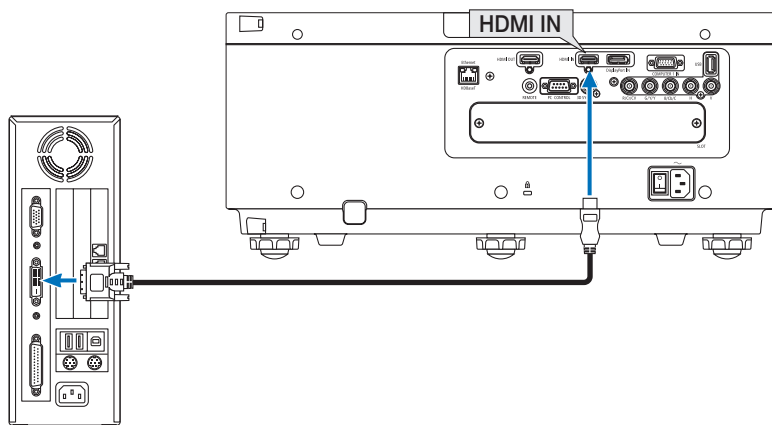
● DisplayPort ケーブル接続時の注意

- DisplayPort ケーブルは、認証済み CERTIFIED ケーブルを使用ください。

- コンピュータによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブル（市販）はロック付きのものがあります。
- ケーブルを取り外す際は、ケーブルのコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- DisplayPort IN 端子からは接続機器へ電源供給が可能です（最大 1.65W）。ただし、コンピュータへの電源供給は行いません。

- 信号変換アダプタを使用した機器からの信号を DisplayPort IN 端子に接続した場合、映像が表示されないことがあります。
- コンピュータの HDMI 出力端子と本機の DisplayPort IN 端子を接続する場合は、市販のコンバータを使用してください。

● DVI 入力時の注意

- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の変換ケーブルを使用して本機の HDMI 端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。

注意

- ● コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- ● スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- ● DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠したのものを使用してください。
- ● DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
- ● DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI を選択します。最後にコンピュータを起動してください。
  上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
- ● コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
- ● 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。
  一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

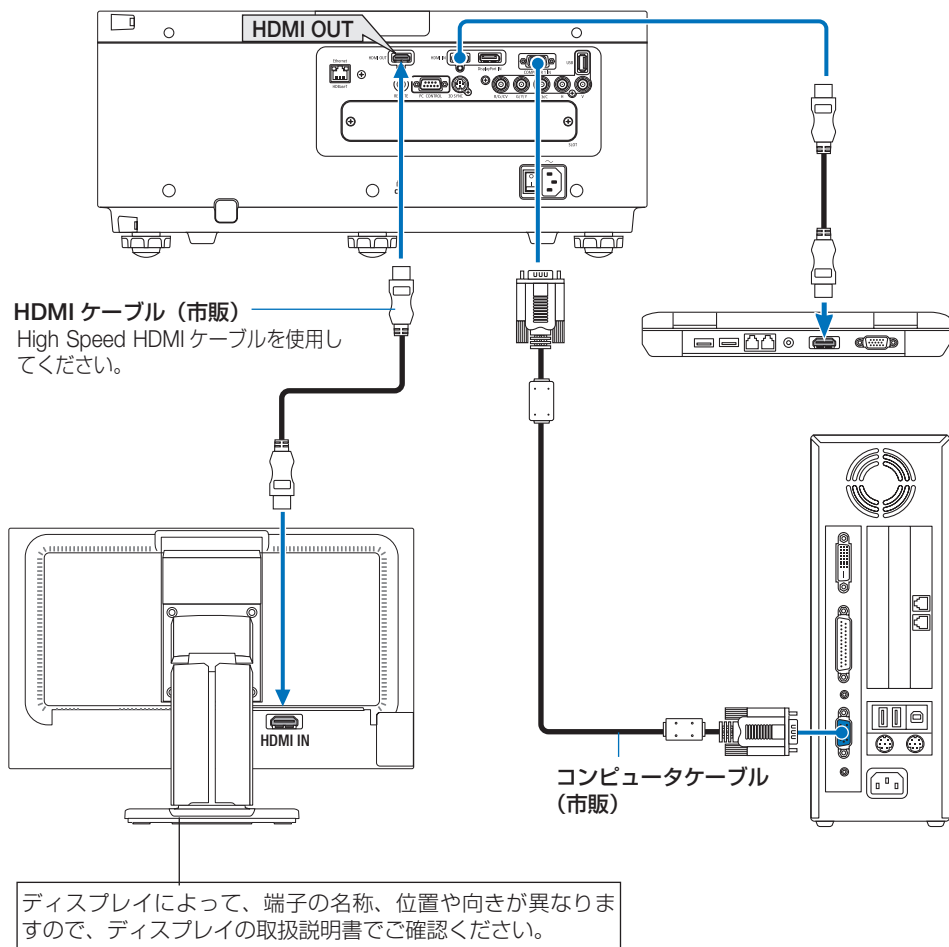
- ● COMPUTER 1 IN 端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
  BNC 入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応していません。
- ● Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
  Mini DisplayPort を装備している Mac と本機を接続する場合は、市販の Mini DisplayPort − DisplayPort 変換ケーブルを使用してください。

6-3. ディスプレイと接続する

図のように、コンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。

- BNC（CV）のコンポジットビデオ信号と BNC（Y/C）の S- ビデオ信号は出力されません。
- PIP/PICTURE BY PICTURE 画面を表示しているときは71 ページをご覧ください。

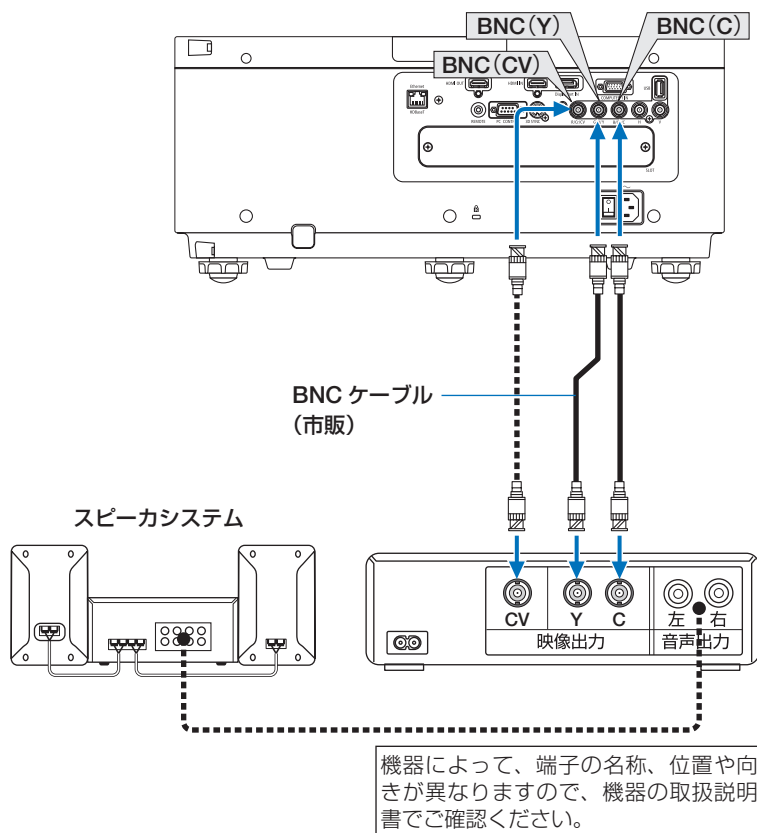
機器と接続する

6

- HDMI 信号を出力する場合は、本機に映像信号を入力する前に、出力する側の映像機器の電源を入れて接続した状態にしてください。
  本機の HDMI OUT 端子はリピーター機能を有しています。HDMI OUT 端子に機器が接続された場合、出力する信号は接続先の機器の対応解像度に制限されます。
- 2 台目以降のプロジェクターの端子切り替えや HDMI ケーブルの抜き差しを行うと、HDMI リピーター機能が動作しなくなります。
- 本機の HDMI OUT 端子の場合、論理値直列に接続できる台数は 7 台です。
  接続台数は、信号やケーブルなどの品質や外部環境により最大接続台数は少なくなります。
  接続できる台数は、HDCP のバージョン、ソース機器の HDCP リピート台数の制限、ケーブルの品位によって異なります。システムを構築する場合は、システム全体での事前確認が必要です。
- スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき、本機をスタンバイ状態にすると映像は出力されません。「ネットワークスタンバイ」に設定して、伝送機器の電源を入れて接続した状態にしてください。
- 本機のスタンバイモードの設定を「ノーマル」に設定していると HDMI 信号は出力しません。HDMI 信号を出力するには、スタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定し、伝送機器の電源を入れて接続した状態にしてください。

6-4. ブルーレイプレーヤなどの AV 機器と接続する

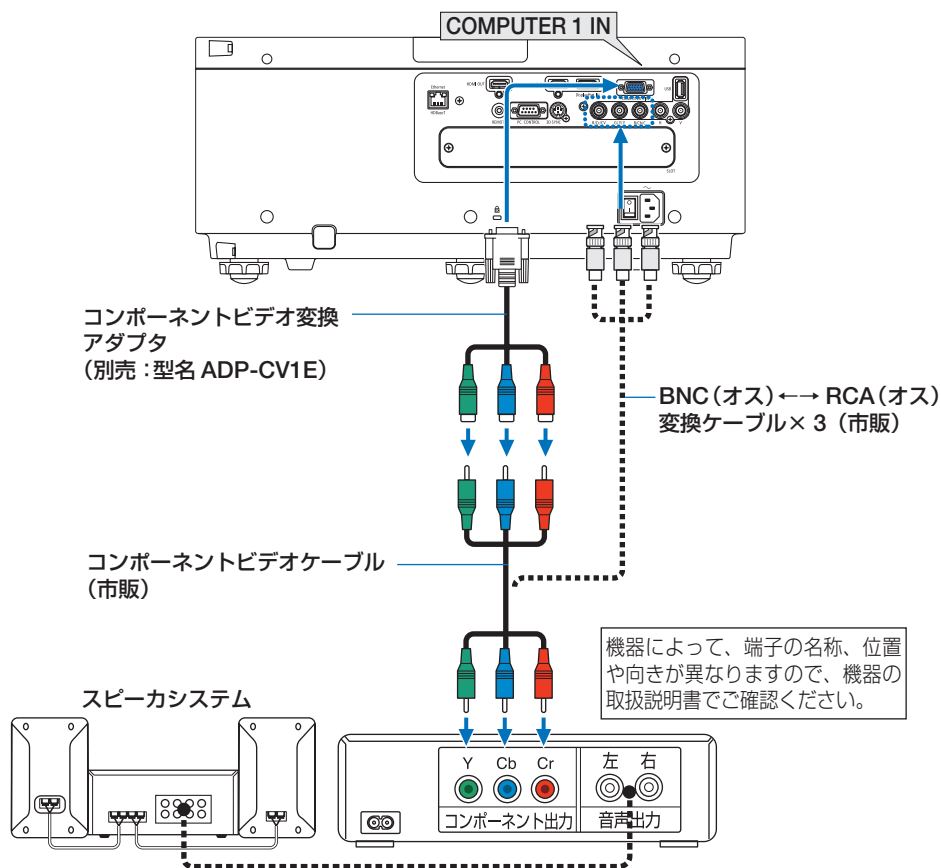
コンポジットビデオ信号／ S- ビデオ信号の接続

業務用ビデオ機器の映像を投写する場合は、市販の BNC ケーブルを使用してください。

機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の SOURCE ボタン	リモコンのボタン
BNC（CV）入力端子	●●● BNC（CV）	VIDEO
BNC（Y/C）入力端子	●●● BNC（Y/C）	S-VIDEO

コンポーネント信号の接続

ブルーレイプレーヤの色差出力端子（ブルーレイ映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。
ブルーレイプレーヤの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

COMPUTER 1 IN

コンポーネントビデオ変換アダプタ
（別売：型名 ADP-CV1E）

BNC（オス）←→ RCA（オス）
変換ケーブル× 3（市販）

コンポーネントビデオケーブル
（市販）

機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。

スピーカシステム

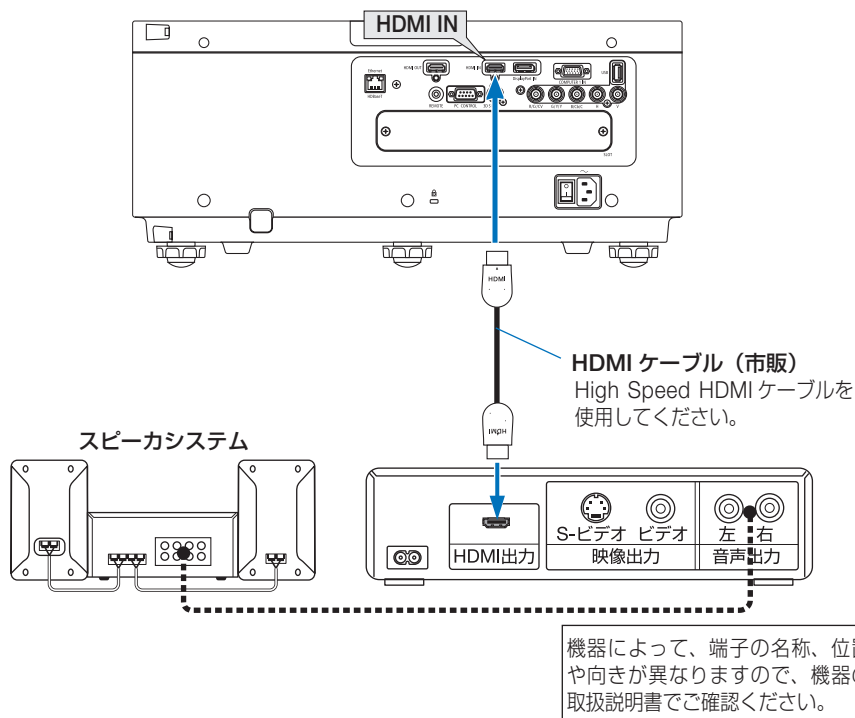
Y Cb Cr
コンポーネント出力
左 右
音声出力

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(SOURCE)ボタン	リモコンのボタン
COMPUTER 1 IN 端子	コンピュータ	(COMPUTER 1)
BNC 入力端子	×5 BNC	(COMPUTER 2)

- 信号形式を「自動」（工場出荷状態）に設定しているとコンピュータ信号とコンポーネント信号を自動で判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→信号形式で「コンポーネント」を選択してください。（101 ページ）
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ（型名 ADP-DT1E）をお使いください。

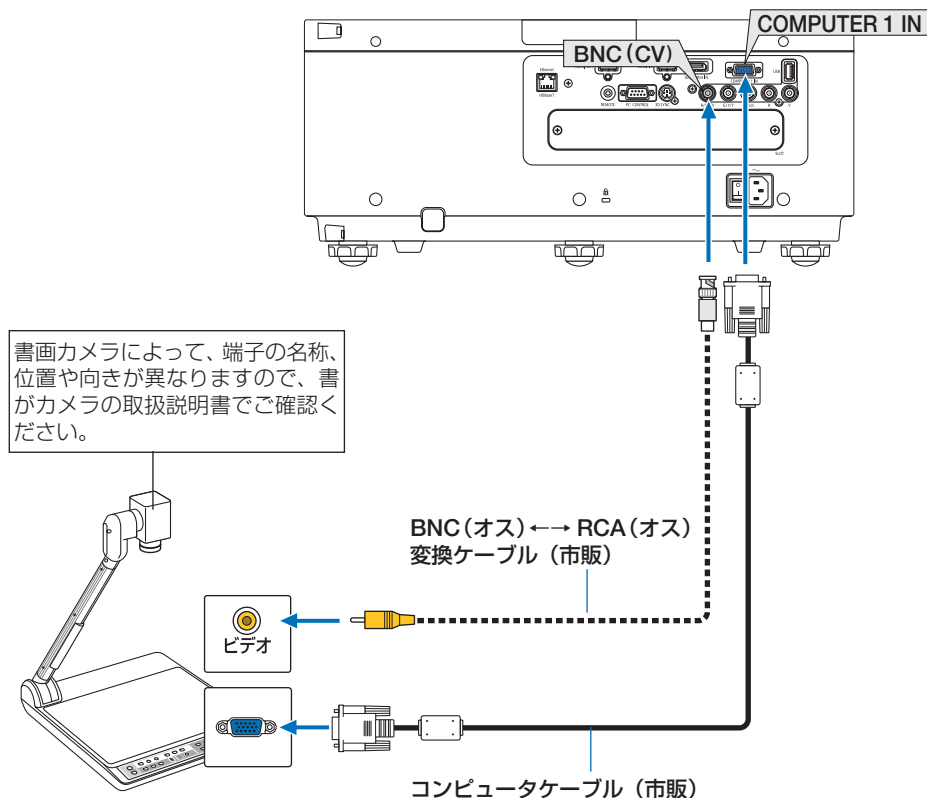
デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。

●本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の SOURCE ボタン	リモコンのボタン
HDMI IN 端子	HDMI	HDMI

- 本機の HDMI IN 端子にブルーレイプレーヤを接続している場合に、ブルーレイプレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→ビデオレベルで設定します。ブルーレイプレーヤのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI IN 端子の映像が表示されないことがあります。

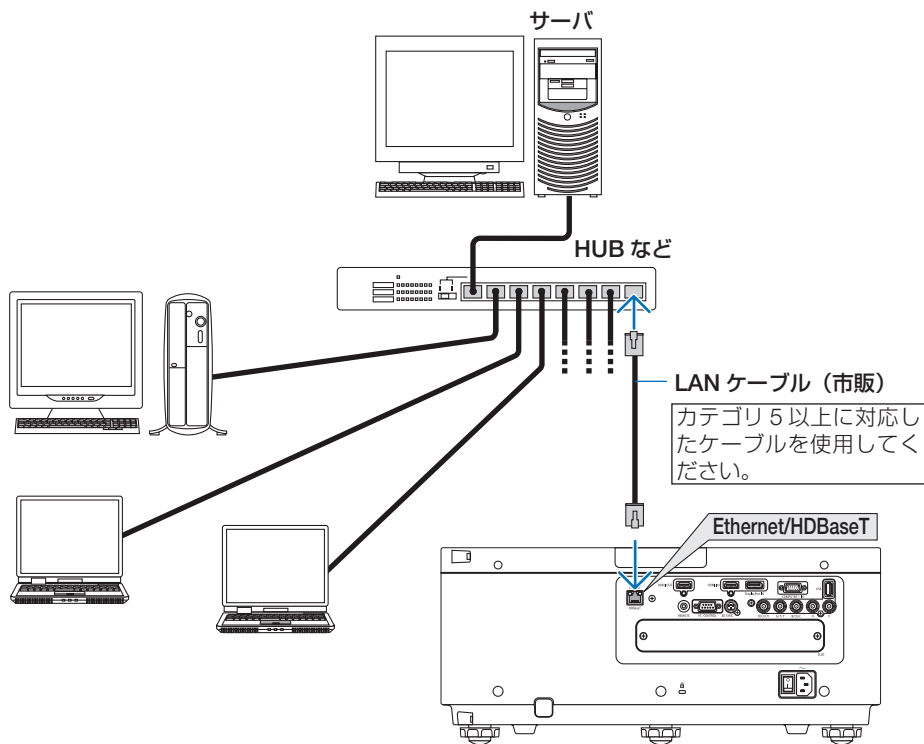
6-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(SOURCE)ボタン	リモコンのボタン
COMPUTER 1 IN 端子	コンピュータ	(COMPUTER 1)
BNC（CV）入力端子	BNC（CV）	(VIDEO)

6-6. 有線 LAN と接続する

本機には Ethernet/HDBaseT ポート（RJ-45）が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→セットアップ→ネットワーク設定→有線 LAN （126 ページ）をご覧ください。

接続例

6-7. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。市販の LAN ケーブルを使って、本機の Ethernet/HDBaseT ポート（RJ-45）を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。
本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号（HDCP 対応）、外部機器からの制御信号（シリアル、LAN）、リモコン信号（IR コマンド）に対応しています。

接続例

コンピュータ（制御用）

コンピュータ（出力用）

リモコン

ワイヤードリモート

LAN

RS-232C

音声入力

コンピュータ入力

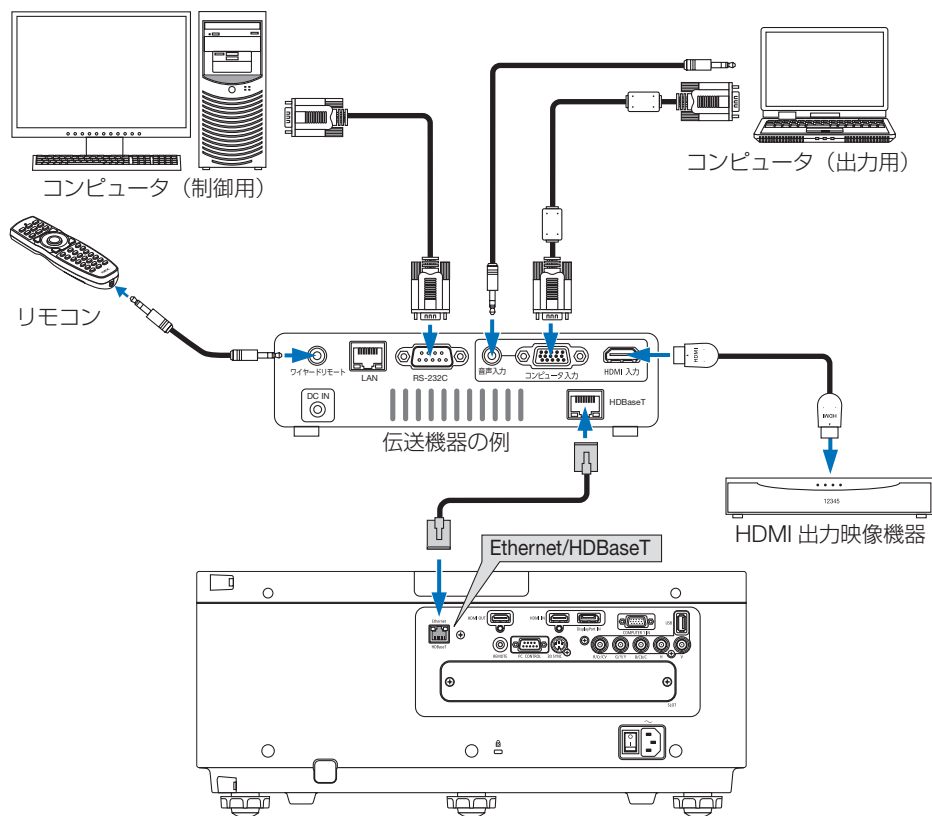
HDMI 入力

DC IN

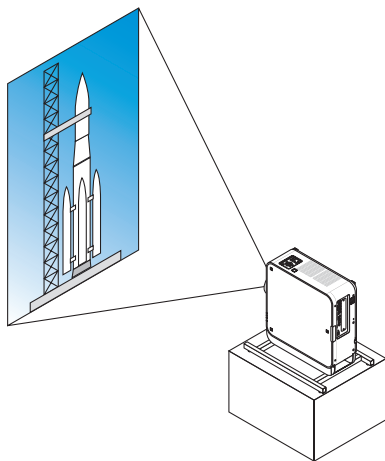
HDBaseT

伝送機器の例

HDMI 出力映像機器

Ethernet/HDBaseT

- LAN ケーブル（市販）は､カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です（4K 信号の場合は最長 70m）。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

6-8. ポートレート（縦向き）投写をする

本機に別売のセーフティカバーを取り付けて、縦向きに設置することでコンピュータなどのポートレート画面を投写することができます。
なお、別売のセーフティカバーを取り付けないと本機の電源は入りません。
オンスクリーンメニュー画面など、全て反時計方向に回転した表示になります。
本体は設置状態を自動で検知するセンサを搭載しています。

設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- 縦設置は吸気口（セーフティカバー）を下方に向けて設置します。このため本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- セーフティカバーの吸気口を塞がないでください。内部が高温になり火災や故障の原因となります。

- セーフティカバーを取り付けた状態はプロジェクターの吸気口が下向き設置時のみ電源が入ります。その他の向きは電源が入りません。
- セーフティカバーを取り付けないでポートレート設置しても電源は入りません。

スタンド設計製作の条件

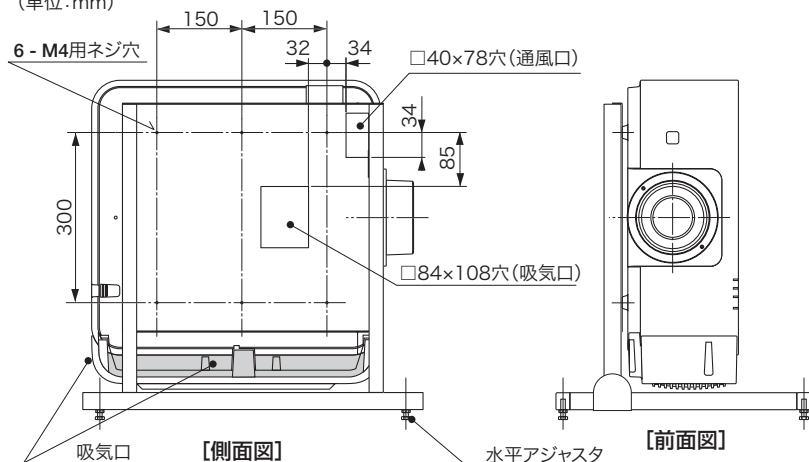
1. ポートレート投写をするには別売のセーフティカバーを本体に取り付けてください。（次ページ）

2. 専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをお守りください。

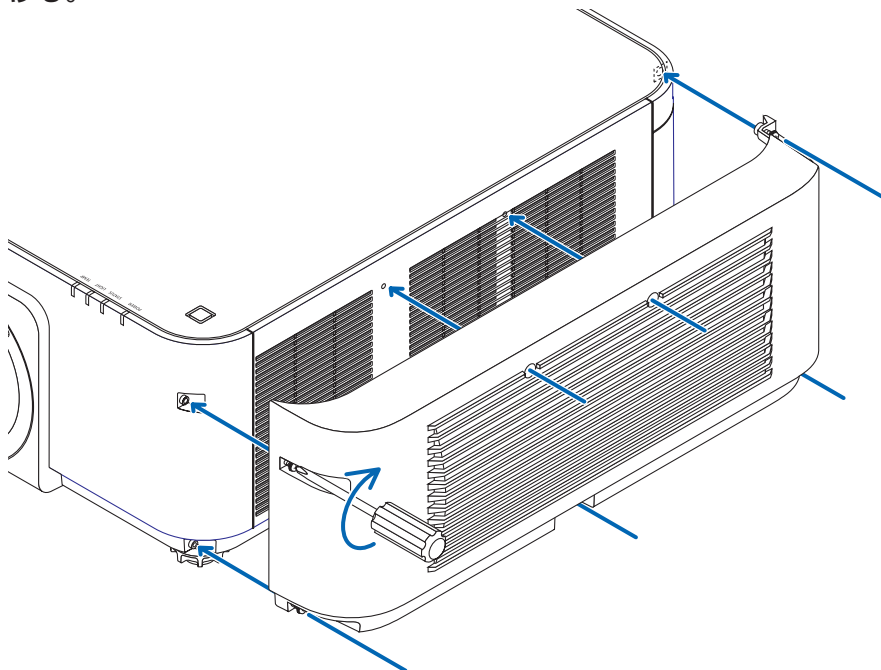
   - セーフティカバーには吸気用の開口部があります。塞がないでください。
   - 本体の底面に 2 箇所の通気口があります。塞がないように設計してください。
   - 本体背面にある 6 箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。
     ネジ穴センター寸法：300 × 300（ピッチ =150）mm
     本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 8mm
     3 箇所の脚は回して外すことができます。
   - 水平調整機構（たとえばボルトとナット： 4 箇所）
   - スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

※ 別売の天井取付けユニット型名 NP15CM を組み合わせることをお勧めします（角度調整機構付き）。

参考図

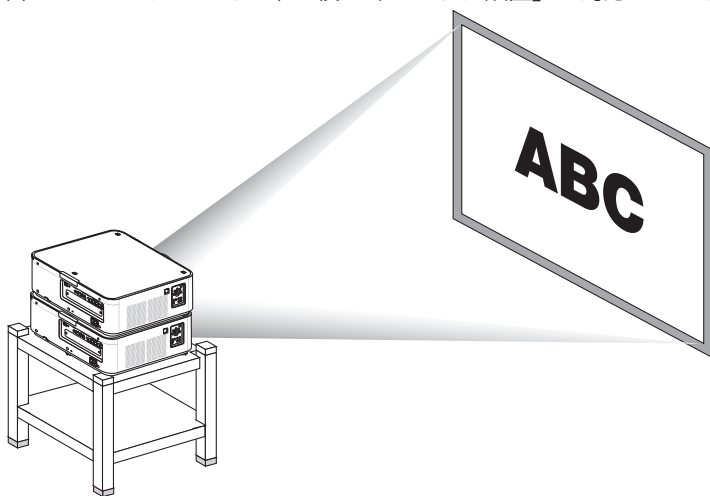
※寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。

セーフティカバー（別売）の取り付け方法

本機にはポートレート投写用の縦置き切り替えスイッチがあります。セーフティカバーを取り付け、縦向きにすることで縦置き設置用プロジェクターに切り替わります。

1 7 箇所のネジを右へ回して本体に取り付ける。

※ **通常設置に戻す場合は、必ずセーフティカバーを取り外してください。**

外すときは7箇所のネジを空転するまで左へ回します。

6-9. プロジェクターをスタック設置して投写する

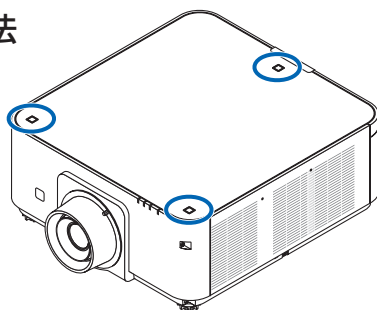
プロジェクターを上下に積んで同じ映像を重ねてスクリーンに投写することにより、さらに輝度を上げることができます。これを「スタック投写」と呼びます。
本機は、2 台のプロジェクターを上下に積む「スタック設置」に対応しています。

- 本機を持ち上げる際は、2 人以上で行ってください。
  1 人で持ち上げた場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

注意

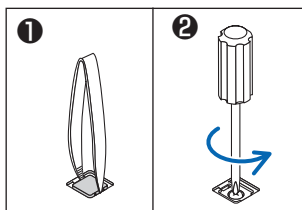
- 異なった型名のプロジェクターを混在してスタック設置することはできません。
  また、別売のレンズユニットは同じ型名のものを使用してください。
- スタック設置する際は、下側のプロジェクターの天面に添付のスタッキングホルダー（3 個）を取り付けてください。（次ページ）
- 本機のスタック投写は、細かい文字や CAD などの画像が完全に重なるような精度はありません。
- スタック投写する場合は、あらかじめ市販の信号分配器をお買い求めください。
- 設置上のご注意
  - ・設置や調整はサービスマンにご依頼ください。
  - ・スタック設置の場所や構造物は、本機 2 台分の質量に長期間耐えうる強度を確保してください。本機 1 台の質量は、最大約 20kg（レンズユニットを含む）です。
  - ・地震などによる転倒防止対策を十分に施してください。
  - ・本機を 2 台使用すると、より高温になります。室内の温度管理を十分行ってください。
  - ・天井にスタック設置することはできません。
  - ・最適な状態で使用するためには、1 時間程度のウォームアップが必要です。
  - ・スタック設置した場合、上側のプロジェクターは、下側のプロジェクターのチルトフット調整量がプラスされます。上側のプロジェクターの姿勢が仕様範囲を超えないように注意してください。
  - ・レンズユニットは､ズームの＋（ワイド）側と－（テレ）側で幾何学歪みが異なります。できるだけ歪みが小さくなるズーム位置を選んで設置してください。
  - ・横方向のレンズシフト位置はセンターに合わせてください。

●スタッキングホルダーの取り付け方法

下側のプロジェクターの天面に取り付けます。

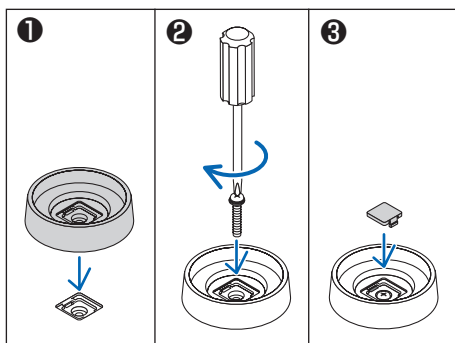
準備：プラスドライバーと添付のスタッキングホルダー 3 個を用意してください。
プロジェクターのチルトフット（3 箇所）を縮めてください。

1 ゴムキャップとネジを外す（3 箇所）

❶ 爪やピンセットでゴムキャップを押さえて持ち上げると外れます。

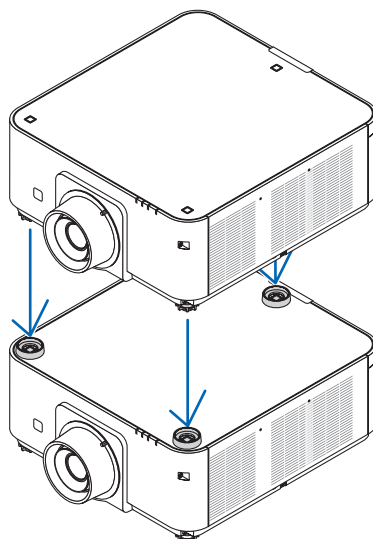
❷ ネジを左へ回して取り外します。

2 スタッキングホルダーを取り付ける（3 箇所）。

❶ スタッキングホルダーを差し込みます。
・どの向きでもかまいません。

❷ 外したネジを使い右へ回して締め付けます。

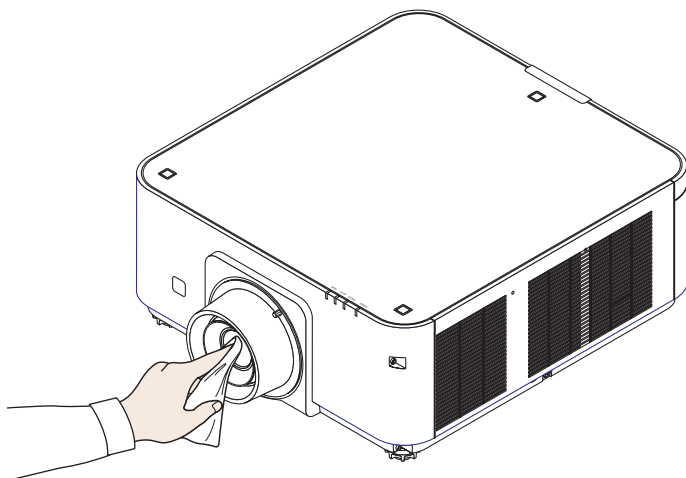
❸ 外したゴムキャップをスタッキングホルダーに差し込みます。
・ゴムキャップにある爪部を左右の角穴に挿入してください。

3 プロジェクターをのせる。

スタッキングホルダーにプロジェクターのチルトフット（3 箇所）をのせてください。

● スタッキングホルダーを取り外す場合は、上記の手順を逆に行ってください。

7. 本体のお手入れ

7-1. レンズの清掃

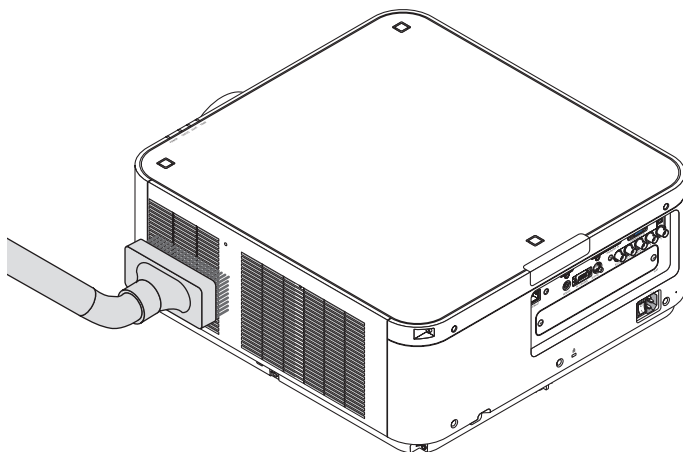
本機専用のレンズユニット（別売）のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗浄液（オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。
オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。

レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

7-2. キャビネットの清掃

警告	キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。

通風孔のほこりを吸い取ります。

- 通風孔（吸気口・排気口・本体底面にもあります）にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

8. ユーザーサポートウェア

8-1. 添付ソフトウェアの動作環境

添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Virtual Remote Tool	● コンピュータとプロジェクターを有線 LAN を使って接続すると、コンピュータ画面に Virtual Remote 画面を表示し、プロジェクターの電源の入／切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。（➡ 164 ページ）
PC Control Utility Pro 4 PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	● コンピュータとプロジェクターを有線 LAN を経由して接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。（➡ 168, 169 ページ） PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

● Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使って本機とネットワーク接続する場合は、オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「ネットワーク設定」（➡ 125 ページ）を使用してください。

ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html

動作環境

対応 OS	Windows	Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Enterprise、 Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8 Enterprise Windows 7 Home Basic、Windows 7 Home Premium、 Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、 Windows Vista Business、Windows Vista Ultimate、 Windows Vista Enterprise Windows XP HomeEdition（32 ビット版）Service Pack 3 以降 Windows XP Professional（32 ビット版）Service Pack 3 以降
	Mac	Mac OS X v10.6, v10.7, v10.8, v10.9

8-2. インストール方法

Windows 用ソフトウェアのインストール

ソフトウェアは、Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP に対応しています。

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Windows 8.1、Windows 8、Windows XP Home Edition および Windows XP Professional において Virtual Remote Tool または PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework（Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

● **説明とコンピュータの画面は Windows 7 で行っています。**

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

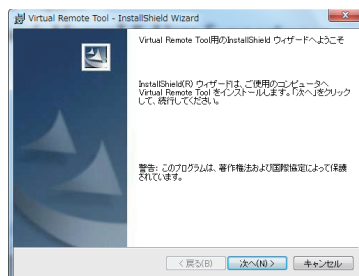
メニューウィンドウが表示されます。

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。
（※ Windows 7 のときの例）

1. Windows の［スタート］をクリックする。
2. ［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
3. ［名前 (O)］に CD-ROM ドライブ名 (*1)（例：「Q:¥」）と［LAUNCHER.EXE］を続けて入力する。（例：Q:¥LAUNCHER.EXE）
   (*1) CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
4. ［OK］をクリックする。
   メニューウィンドウが表示されます。

2 インストールするソフトウェアをクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます

3 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。

●ソフトウェアのアンインストール方法

準備：アンインストールの前に、アンインストールするソフトウェアを終了してください。
アンインストールの際は、Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista は「管理者」権限、Windows XP は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

◆ Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
   コントロールパネル画面が表示されます。
2. 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。
   プログラムと機能画面が表示されます。
3. 一覧からアンインストールするプログラムをクリックする。
4. 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。
   - ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

   以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

◆ Windows XP の場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
   コントロールパネル画面が表示されます。
2. 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。
   プログラムの追加と削除画面が表示されます。
3. 一覧からアンインストールするプログラムをクリックし、「削除」をクリックする。
   以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

Mac 用ソフトウェアのインストール

PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS X に対応しています。

● PC Control Utility Pro 5

1 「PC Control Utility Pro 5.pkg」をダブルクリックする。

インストーラがスタートします。

2 ［続ける］をクリックする。

使用許諾契約が表示されます。

3 記載内容を確認し、［続ける］をクリックする。

確認ウィンドウが表示されます。

4 ［同意する］をクリックする。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

●ソフトウェアのアンインストール方法

1 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをゴミ箱に入れる。

2 PC Control Utility Pro 5 の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる

・PC Control Utility Pro 5 の設定ファイルは、「/Users (ユーザ)/ あなたのユーザ名/Application Data/NEC Projector User Supportware/PC Control Utility Pro 5」にあります。

ユーザーサポートウェア

8

8-3. LAN を経由して本機を操作する （Virtual Remote Tool）

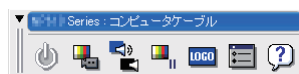
Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、LAN を経由してプロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの操作ができます。
また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

【Virtual Remote 画面】

リモコンウインドウ

●主な制御機能

- 電源の入／切
- 入力信号切替
- 映像・音声のミュート
- 投写中の動画を静止する
- プロジェクターへロゴ画像を送信する

その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作

ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。
（➡ 166 ページ）

- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
  ＊ファイルサイズ：256 キロバイト以内
  ＊画像サイズ：本機の解像度以内
  ＊ファイル形式：PNG（フルカラー）
- Virtual Remote Tool で送信したロゴデータ（画像）は中央に表示され、周囲の色は黒色になります。
- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面（NEC ロゴ）に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしなおしてくださいい。
  このとき、本機の場合は下記のロゴを選択してください。
  NP-PX602UL-WHJD：¥Logo¥NEC_logo2011_WUXGA.png
  NP-PX602WL-WHJD：¥Logo¥NEC_logo2011_1280x800.png

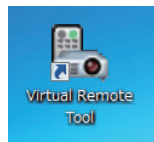
- Virtual Remote Tool は、シリアル接続での制御も可能です。

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(151 ページ)、および「5-6. セットアップ」→ネットワーク設定（125 ページ）の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

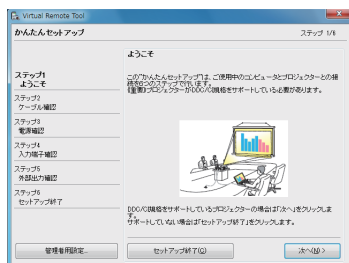
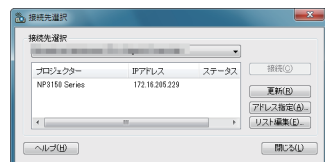
Virtual Remote Tool を起動する

◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン をダブルクリックする。

◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。
本機は DDC/CI 規格に対応していませんので、かんたんセットアップを終了してください。

かんたんセットアップを終了すると、接続先選択画面が表示されます。

接続先を選択して、プロジェクターと接続すると、Virtual Remote 画面が表示されます。

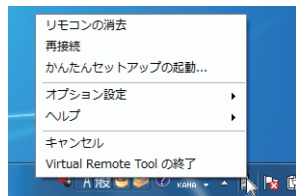
● オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN）を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

次ページに続く

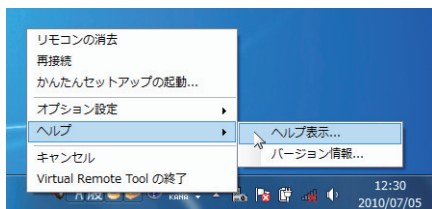
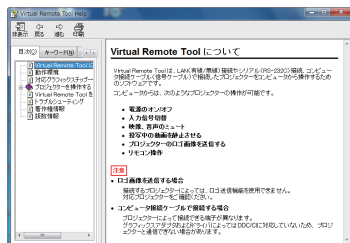
- かんたんセットアップ終了画面の「□次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けると、かんたんセットアップ画面を表示せずにVirtual Remote 画面（またはツールバー）を表示することができます。

● Virtual Remote Tool の終了方法

1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。

2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。
Virtual Remote Tool が終了します。

● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

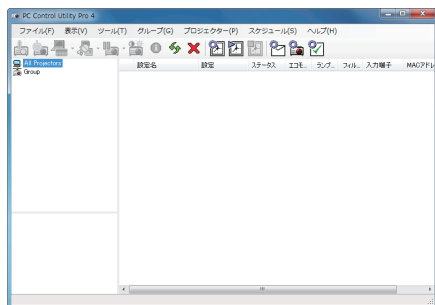
◆タスクトレイから表示する

1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。

2 「ヘルプ」→「ヘルプ表示」をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆スタートメニューから表示する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

8-4. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5）

PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。

PC Control Utility Pro 4 は、Windows 用のソフトウェアです。（次ページ）
PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS 用のソフトウェアです。（169 ページ）

PC Control Utility Pro 4 画面

● **主な制御機能**
電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする
ステップ②：本機を LAN に接続する
ステップ③：ソフトウェアを起動する

- PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

ユーザーサポートウェア

8

Windows を使用する場合

●本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(151 ページ)、「5-6. セットアップ」→ネットワーク設定（125 ページ）の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

● PC Control Utility Pro 4 を起動する

1 Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

注意

- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
  あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。
  【例】Windows 7 の場合：
  ［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［電源オプション］→［コンピュータがスリープ状態になる時間を変更］の［コンピュータをスリープ状態にする］を「なし」に設定します。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN）を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

- **PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法**

◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する

1 PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」→「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆スタートメニューから表示する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4 Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

Mac OS で使用する場合

●本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(151 ページ)、「5-6. セットアップ」→ネットワーク設定（125 ページ）の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

● PC Control Utility Pro 5 を起動する

1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。

2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。

3 「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。

PC Control Utility Pro 5 が起動します。

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
  あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN）を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

● PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法

◆PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する

1 メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆Dock から表示する

1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
3 「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

9. 付　録

投写距離とスクリーンサイズ

本機は 3 種類の別売レンズユニットが使用できます。次の様にプロジェクターの型名によって使用できるレンズユニットが異なります。このページの情報を参考にして、設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお使いください。
また、レンズユニットの取り付け方法は、138 ページをご覧ください。

	レンズユニット（型名）			
プロジェクター（型名）	NP34ZL	NP35ZL	NP36ZL	NP37ZL
NP-PX602UL-WHJD	○	○	×	○
NP-PX602WL-WHJD	○	○	○	○

○：使用可　　×：使用不可

レンズユニットの種類と投写距離

適応機種 **NP-PX602UL-WHJD**

スクリーンサイズ	レンズユニットの型名		
	NP34ZL	NP35ZL	NP37ZL
50 型	1.0 ～ 1.3	1.3 ～ 1.7	1.6 ～ 3.2
60 型	1.2 ～ 1.6	1.6 ～ 2.0	2.0 ～ 3.8
80 型	1.7 ～ 2.1	2.1 ～ 2.7	2.6 ～ 5.1
100 型	2.1 ～ 2.6	2.7 ～ 3.3	3.3 ～ 6.3
120 型	2.5 ～ 3.2	3.2 ～ 4.0	4.0 ～ 7.6
150 型	3.1 ～ 4.0	4.0 ～ 5.0	4.9 ～ 9.5
200 型	4.1 ～ 5.3	5.3 ～ 6.6	6.6 ～ 12.7
240 型	5.0 ～ 6.4	6.4 ～ 8.0	7.9 ～ 15.2
300 型	6.2 ～ 7.9	7.9 ～ 10.0	9.9 ～ 19.0

参考

● 画面サイズからの投写距離計算法

NP34ZL レンズユニットの投写距離（m）＝ H × 0.96 ～ H × 1.23 ： 1.0m（最小）～ 7.9m（最大）
NP35ZL レンズユニットの投写距離（m）＝ H × 1.23 ～ H × 1.54 ： 1.3m（最小）～ 10.0m（最大）
NP37ZL レンズユニットの投写距離（m）＝ H × 1.53 ～ H × 2.94 ： 1.6m（最小）～ 19.0m（最大）
H（Horizontal）はスクリーン幅の寸法です。
※簡易計算式のため数%の誤差があります。

（例）レンズユニット NP35ZL を使用して 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離
「スクリーンサイズと寸法表」（172 ページ）の表より、H（スクリーン幅）＝ 323.1cm となります。
投写距離は、323.1cm × 1.23 ～ 323.1cm × 1.54 ＝ 397.4cm ～ 497.6cm となります（ズームレンズのため）。

適応機種 NP-PX602WL-WHJD

スクリーンサイズ	レンズユニットの型名		
	NP34ZL	NP-35ZL/NP36ZL	NP37ZL
50 型	1.1 ～ 1.4	1.4 ～ 1.7	1.7 ～ 3.3
60 型	1.3 ～ 1.7	1.7 ～ 2.1	2.1 ～ 4.0
80 型	1.7 ～ 2.2	2.2 ～ 2.8	2.8 ～ 5.3
100 型	2.2 ～ 2.8	2.8 ～ 3.5	3.5 ～ 6.6
120 型	2.6 ～ 3.3	3.3 ～ 4.2	4.2 ～ 8.0
150 型	3.3 ～ 4.2	4.2 ～ 5.2	5.2 ～ 10.0
200 型	4.4 ～ 5.6	5.6 ～ 6.9	6.9 ～ 13.3
240 型	5.2 ～ 6.7	6.7 ～ 8.3	8.3 ～ 15.9
300 型	6.5 ～ 8.3	8.3 ～ 10.4	10.4 ～ 19.9

● 画面サイズからの投写距離計算法

NP34ZL レンズユニットの投写距離（m）＝ H × 1.01 ～ H × 1.29 ： 1.1m（最小）～ 8.3m（最大）

NP35ZL/NP36ZL レンズユニットの投写距離（m）
＝ H × 1.29 ～ H × 1.61 ： 1.4m（最小）～ 10.4m（最大）

NP37ZL レンズユニットの投写距離（m）＝ H × 1.61 ～ H × 3.08 ： 1.7m（最小）～ 19.9m（最大）

H（Horizontal）はスクリーン幅の寸法です。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

（例）レンズユニット NP35ZL を使用して 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離

「スクリーンサイズと寸法表」（172 ページ）の表より、H（スクリーン幅）＝ 323.1cm となります。

投写距離は、323.1cm × 1.29 ～ 323.1cm × 1.61 ＝ 416.8cm ～ 520.2cm となります（ズームレンズのため）。

付録

9

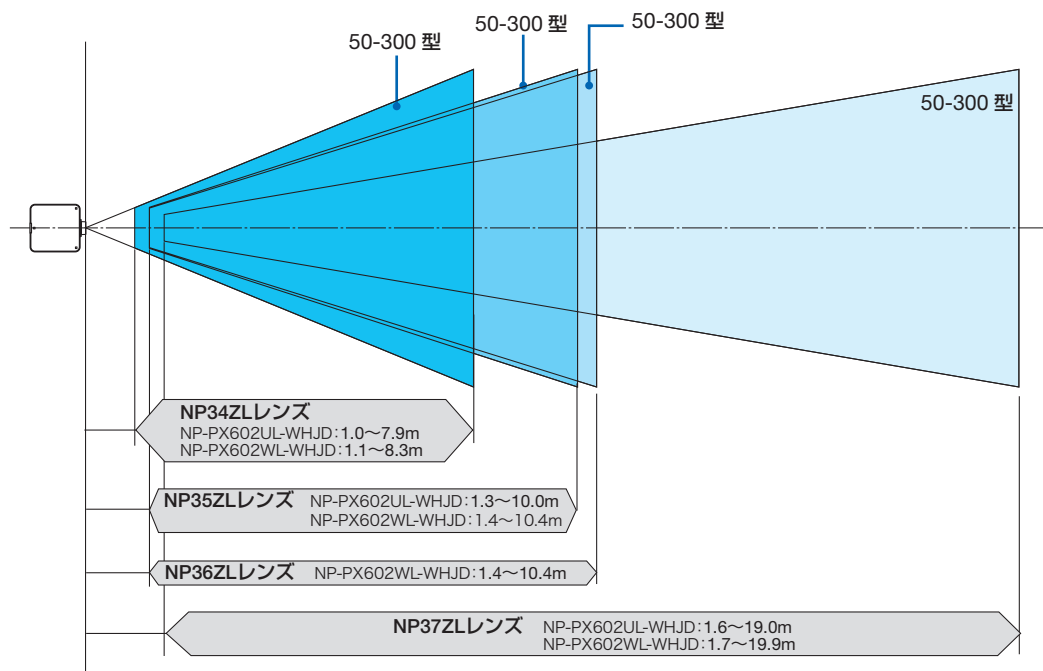
●各レンズユニットの投写範囲

50-300 型
50-300 型
50-300 型
50-300 型

NP34ZLレンズ
NP-PX602UL-WHJD：1.0〜7.9m
NP-PX602WL-WHJD：1.1〜8.3m

NP35ZLレンズ NP-PX602UL-WHJD：1.3〜10.0m
NP-PX602WL-WHJD：1.4〜10.4m

NP36ZLレンズ NP-PX602WL-WHJD：1.4〜10.4m

NP37ZLレンズ NP-PX602UL-WHJD：1.6〜19.0m
NP-PX602WL-WHJD：1.7〜19.9m

スクリーンサイズと寸法表

サイズ（型）	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
50	107.7	63.7
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
300	646.2	403.9

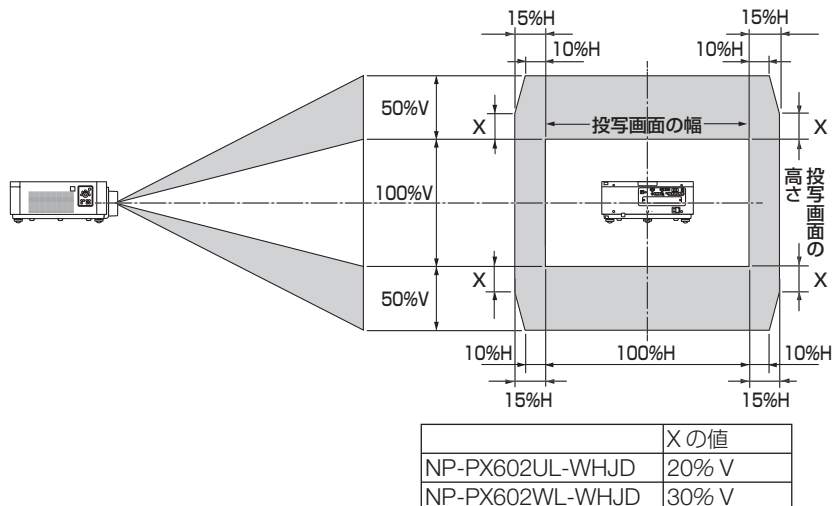
レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能（39 ページ）があります。次の範囲内のレンズシフトができます。

- ポートレート投写を行う場合は、レンズシフト機能は使用しないでください。レンズセンターで使用してください。

（計算例） 150 インチで投写している場合

記号の意味：V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表わし、
レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。

	X の値
NP-PX602UL-WHJD	20% V
NP-PX602WL-WHJD	30% V

※天吊り設置の場合もレンズシフト範囲は同じです。

「スクリーンサイズと寸法表」（172 ページ）のスクリーン表により H=323.1cm、V=201.9cm になります。
垂直方向の調整範囲：上方向 0.5 × 201.9cm ≒ 101cm、下方向も同様に約 101cm 投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。
水平方向の調整範囲：左方向 0.15 × 323.1cm ≒ 48cm、右方向も同様に約 48cm 投写画面を移動することができます。
※簡易計算式のため数%の誤差があります。

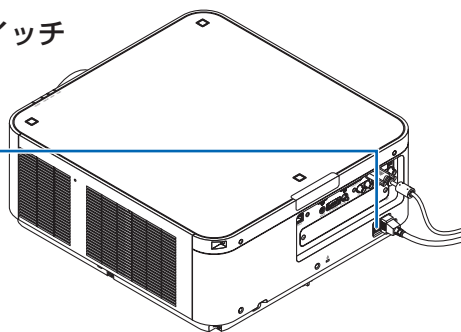
付録

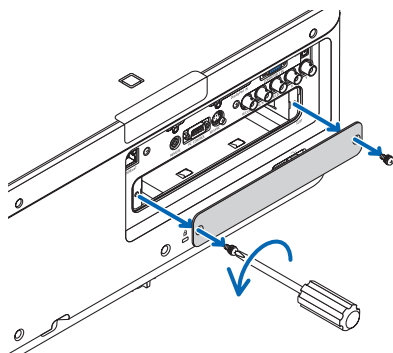
9

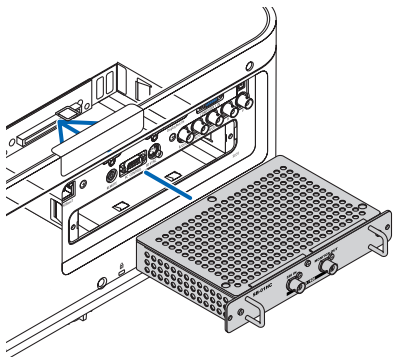
オプションボードの取り付け方法（別売）

	● オプションボードの取り付け／取り外しは、必ずプロジェクター電源を切り冷却ファン停止後、主電源スイッチを切ってから行ってください。プロジェクターの主電源スイッチを切らずに行うと、感電の原因となることがあります。

準備：プラスドライバーを用意してください。

1 プロジェクター本体の主電源スイッチを切る。

2 プロジェクターの接続端子部にあるSLOT（スロット）のネジ（2 箇所）をゆるめ、ネジとパネルを外す。

 ● 外したネジとパネルは大切に保管しておいてください。

3 オプションボードをスロットに挿入する。

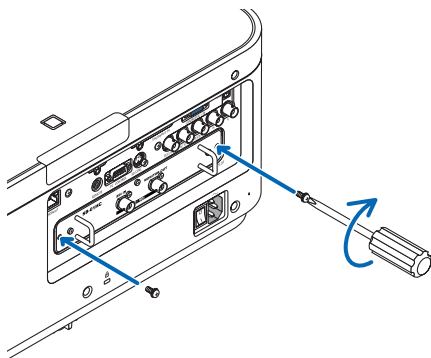
オプションボードの表示向きを本体に合わせてください。上下の向きを間違えるとコネクタが本体と接続されません。

4 **手順2で外した左右 2 箇所のネジを締めてオプションボードを固定する。**

これで、取り付けが終わりました。

オプションボードの入力信号は本機側の入力選択で SLOT を選択してください。

- オプションボードによっては、プロジェクターがスタンバイ状態になっても、ボードを冷却するためファンが回転する場合があります。また、動作時のファンの回転数も上昇する場合があります。故障ではありません。

付録

9

対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度（ドット）		アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
VGA	640 × 480		4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600		4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768		4 : 3	60/70/75/85/iMac
XGA+	1152 × 864		4 : 3	60/70/75/85
WXGA	1280 × 768	*1	15 : 9	60
	1280 × 800	*1	16 : 10	60
	1360 × 768	*2	16 : 9	60
	1366 × 768	*2	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960		4 : 3	60/75/85
SXGA	1280 × 1024		5 : 4	60/75/85
SXGA+	1400 × 1050		4 : 3	60/75
WXGA+	1440 × 900		16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900		16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200	*3	4 : 3	60/65/70/75
WSXGA+	1680 × 1050		16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200	*3	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080		17 : 9	60
Full HD	1920 × 1080	*3	16 : 9	60
MAC 13”	640 × 480		4 : 3	67
MAC 16”	832 × 624		4 : 3	75
MAC 19”	1024 × 768		4 : 3	75
MAC 21”	1152 × 870	*4	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024		5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度（ドット）		アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
VGA	640 × 480		4 : 3	60
SVGA	800 × 600		4 : 3	60
XGA	1024 × 768		4 : 3	60
HD	1280 × 720	*1	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	*1	15 : 9	60
	1280 × 800	*1	16 : 10	60
	1366 × 768	*2	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960		4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024		5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050		4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900		16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900		16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050		16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	*3	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	*3	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200	*3	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080		17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440		16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600		16 : 10	60 Reduced Blanking

4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30
	4096 × 2160	17 : 9	24
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	48/50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480i/p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i/p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

DisplayPort

信号名	解像度（ドット）	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720 *1	16 9	60
WXGA	1280 × 768 *1	15 : 9	60
	1280 × 800 *1	16 : 10	60
	1366 × 768 *2	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200 *3	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080 *3	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 *3	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30
	4096 × 2160	17 : 9	24
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポーネント

信号名	解像度（ドット）	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 ： 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 ： 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 ： 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポジット ビデオ／ S- ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
NTSC	4 ： 3	60
PAL	4 ： 3	50
PAL60	4 ： 3	60
SECAM	4 ： 3	50

HDMI 3D

信号　解像度（ドット）	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920 × 1080p	16 ： 9	23.98/24	Frame Paking
			Top and Bottom
		50	Side By Side
		59.94/60	Side By Side
1920 × 1080i	16 ： 9	50	Side By Side
		59.94/60	Side By Side
1280 × 720p	16 ： 9	50	Frame Paking
			Side By Side
			Top and Bottom
		59.94/60	Frame Paking
			Side By Side
			Top and Bottom

DisplayPort 3D

信号　解像度（ドット）	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920 × 1080p	16 ： 9	23.98/24	Side By Side
			Top and Bottom
		25	Side By Side
			Top and Bottom
		50	Side By Side
			Top and Bottom
		59.94/60	Side By Side
			Top and Bottom
1920 × 1080i	16 ： 9	50	Top and Bottom
			Side By Side
		59.94/60	Top and Bottom
			Side By Side
1280 × 720p	16 ： 9	50	Side By Side
			Top and Bottom
		59.94/60	Frame Paking
			Side By Side
			Top and Bottom

*1: NP-PX602WL-WHJD はリアル表示
*2: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。
*3: NP-PX602UL-WHJD はリアル表示
*4: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「4 : 3」に設定してください。

- 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。

仕様

型名			NP-PX602UL-WHJD/NP-PX602WL-WHJD
方式			1 チップ DLP 方式
主要部品仕様	DMD パネル	サイズ	NP-PX602UL-WHJD:0.67 型、アスペクト比 16:10) NP-PX602WL-WHJD:0.65 型、アスペクト比 16:10)
		画素数 (*1)	NP-PX602UL-WHJD: 2,304,000 画素（1920 ドット× 1200 ライン） NP-PX602WL-WHJD: 1,024,000 画素（1280 ドット× 800 ライン）
	投写レンズ		投写レンズ仕様（別売）をご覧ください。(182 ページ)
	光源		3.5W レーザダイオード
	光学装置		カラーフィルタ回転による色分離
明るさ (*2) (*3)			6000lm
コントラスト比 (*2) (全白 / 全黒)			10,000:1（ダイナミックコントラスト「オン」のとき）
画面サイズ（投写距離）			50 ～ 300 型（投写距離はレンズユニットにより異なります）
色再現性			10 ビット カラープロセッシング（約 10 億 7000 万色）
走査周波数	水平		アナログ :15KHz、24 ～ 100kHz（RGB 入力は 24kHz 以上） VESA 準拠 デジタル :15KHz、24 ～ 153KHz VESA 準拠
	垂直		アナログ :48Hz、50 ～ 85Hz、100, 120Hz VESA 準拠 デジタル :24, 25, 30, 48Hz、50 ～ 85Hz、100, 120Hz VESA 準拠
主な調整機能			電動ズーム、電動フォーカス、電動レンズシフト、入力信号切替 (HDMI/DisplayPort/BNC/BNC(CV)/BNC(Y/C)/ コンピュータ /HDBaseT/SLOT)、画像自動調整、画面拡大、ミュート（映像）、電源オン / スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など
最大表示解像度（横×縦）			アナログ :1920 × 1200（アドバンスド・アキュブレンドによる対応） デジタル：4096 × 2160（アドバンスド・アキュブレンドによる対応）
入力信号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω
			Y:1.0Vp-p/ 75 Ω（with Nagative Polarity Sync）
			Cb,Cr（Pb, Pr）：0.7Vp-p ／ 75 Ω
			H/V Sync:4.0Vp-p/TTL
			Composite Sync ：4.0Vp-p ／ TTL
			Sync on G：1.0Vp-p / 75 Ω（With Sync）
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω
	S- ビデオ		Y:1.0Vp-p / 75 Ω
			C:0.286Vp-p / 75 Ω
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω（With Sync）
			Cb,Cr（Pb,Pr）:0.7Vp-p / 75 Ω
			DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p（60Hz） 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p（50Hz）
			DVD: プログレッシブ信号（50/60Hz）

型名			NP-PX602UL-WHJD/NP-PX602WL-WHJD
入出力端子	コンピュータ/コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1、BNC 端子× 5
	HDMI	映像入力	HDMI® コネクタ タイプ A × 1 Deep Color（ディープカラー：色深度）：8/10/12 ビット対応 Colorimetry：RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 (*4)、4K 対応、3D 対応
		映像出力	リピーター
		音声入力	HDMI： サンプリング周波数 32/44.1/48KHz サンプリングビット　16/20/24bit
	HDBaseT	映像入力	Deep Color（ディープカラー：色深度）：8/10/12 ビット対応 Colorimetry：RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 (*4)、4K 対応、3D 対応
		音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48KHz サンプリングビット　16/20/24bit
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort × 1 データレート：2.7Gbps/1.62Gbps レーン数：1 レーン /2 レーン /4 レーン 色深度：6 ビット、8 ビット、10 ビット Colorimetry：RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 HDCP 対応 (*4)
	BNC(CV)	映像入力	BNC 端子× 1
	BNC(Y/C)	映像入力	BNC 端子× 2
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン× 1
	USB ポート		USB タイプ A × 1
	Ethernet/HDBaseT ポート		RJ-45 × 1、BASE-TX 対応
	リモート端子		ステレオミニジャック× 1
	3DSync 出力端子		5V/10mA、3D 用同期信号出力
使用環境			動作温度 :5 ～ 40℃ (*5) 動作湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）
			保存温度 : − 10 ～ 60℃ 保存湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）
			動作高度 : 0 ～ 3000m （760 ～ 3000m はファンモード「高速」）
電源			AC 100V 50/60Hz (*6)
消費電力	ライトモード	ノーマル時	590W
		エコ 1 時	460W
		エコ 2 時	280W
	スタンバイモード	ノーマル時	0.5W
		ネットワークスタンバイ時	6W
定格入力電流			6.8A
外形寸法			484（幅）× 195（高）× 509（奥行）mm（レンズフードおよび突起部含まず） 484（幅）× 217（高）× 575（奥行）mm（レンズフードおよび突起部含む）
質量			18.5kg（レンズユニット含まず）

（＊ 1）： 有効画素数は 99.99%です。
（＊ 2）： 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
（＊ 3）： 別売のレンズユニット（NP35ZL）を装着しライトモードが「ノーマル」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。ライトモードを「エコ 1」または「エコ 2」にすると明るさが低下します（エコ 1：約 80%、エコ 2：約 50%）。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。
（＊ 4）： HDCP/HDCP 技術とは？
HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本機には、DisplayPort IN 端子、HDMI IN 端子、HDBaseT 端子を装備しています。
本機の DisplayPort IN 端子、HDMI IN 端子、HDBaseT 端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。
ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、DisplayPort IN 端子、HDMI IN 端子、HDBaseT 端子の映像が表示されないことがあります。
映像：DeepColor (ディープカラー：色深度): 8/10/12 ビット、LipSync
音声：LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数：32/44.1/48KHz、サンプリングビット：16/20/24 ビット
（＊ 5）：動作温度は、標高が高くなると上限が下がります。
0 ～ 760m は、5 ～ 40℃
760 ～ 1500m は、5 ～ 35℃
1500 ～ 3000m は、5 ～ 30℃
また、35 ～ 40℃は「強制エコモード」になります。
（＊ 6）： 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●投写レンズ仕様（別売）

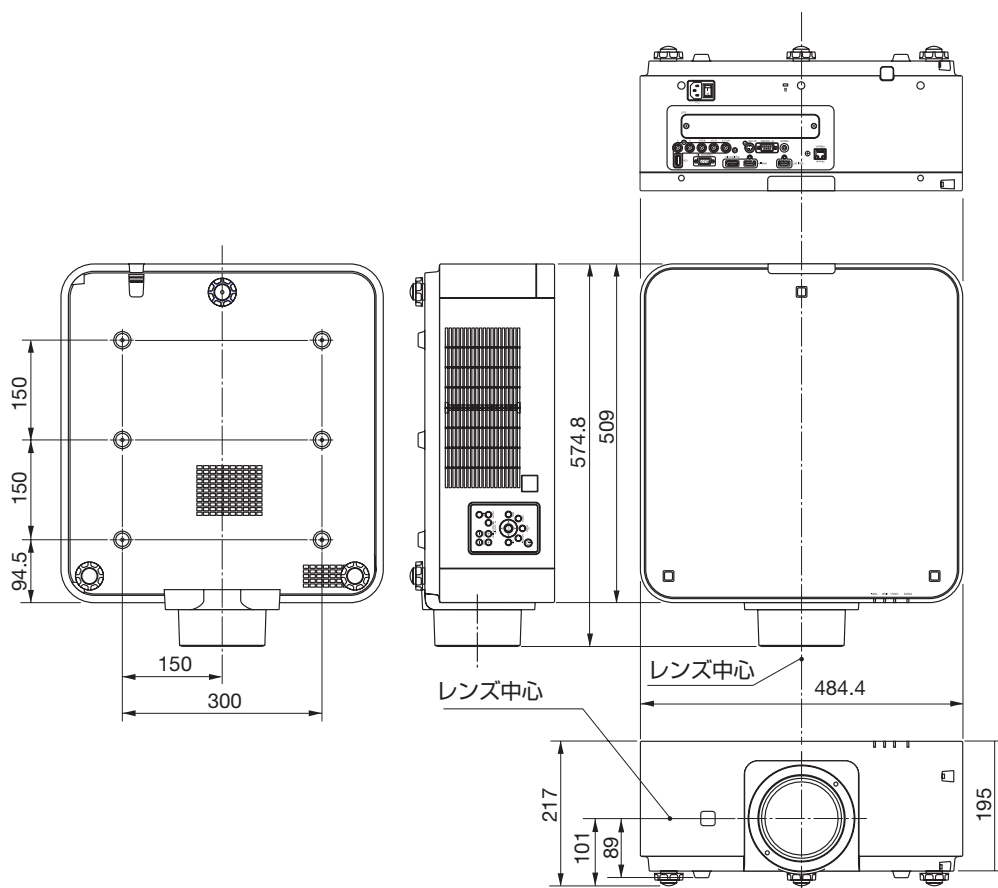
NP-PX602UL-WHJD 用投写レンズ

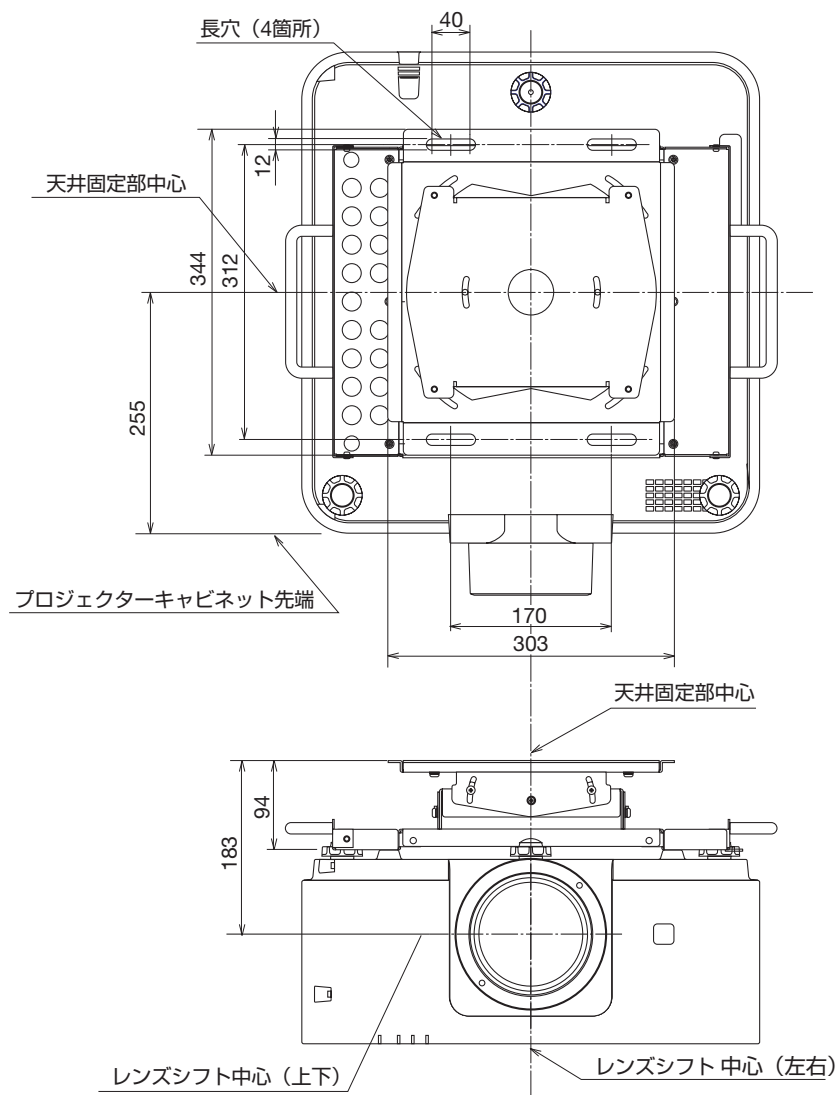
NP34ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス （投写比 0.96 ～ 1.23：1、F2.3 ～ 2.57、f=14.03 ～ 17.95mm）
NP35ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス （投写比 1.23 ～ 1.54：1、F2.0 ～ 2.32、f=18.07 ～ 22.59mm）
NP37ZL	電動レンズシフト、動ズーム、電動フォーカス （投写比 1.53 ～ 2.94：1、F2.3 ～ 3.39、f=22.56 ～ 42.87mm）

NP-PX602WL-WHJD 用投写レンズ

NP34ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス （投写比 1.01 ～ 1.29：1、F2.3 ～ 2.57、f=14.03 ～ 17.95mm）
NP35ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス （投写比 1.29 ～ 1.61：1、F2.0 ～ 2.32、f=18.07 ～ 22.59mm）
NP36ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス （投写比 1.29 ～ 1.61：1、F2.0 ～ 2.32、f=18.07 ～ 22.59mm）
NP37ZL	電動レンズシフト、動ズーム、電動フォーカス （投写比 1.61 ～ 3.08：1、F2.3 ～ 3.39、f=22.56 ～ 42.87mm）

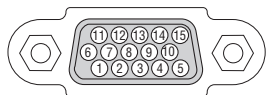
外観図

単位：mm

天吊り金具（別売）取り付け図

天井設置面寸法図 （単位：mm）

注）天吊り金具が　左右０度、上下０度、傾き０度の位置です。

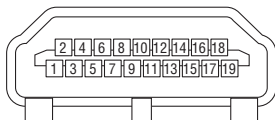
主な端子のピン配列と信号名

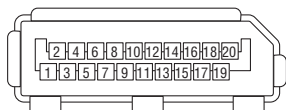
● COMPUTER 1 IN 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

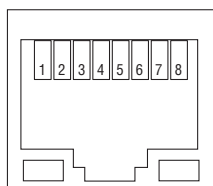
各ピンの接続と信号レベル

信号レベル

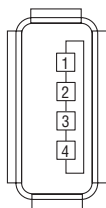
ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号　：TTL レベル

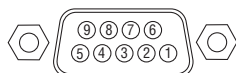
ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　　接　地
7	緑　　接　地	Y　　接　地
8	青　　接　地	Cb　　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

● HDMI IN 端子（タイプ A）

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 ＋	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック−
3	TMDS データ 2 −	13	CEC
4	TMDS データ 1 ＋	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 −	16	SDA
7	TMDS データ 0 ＋	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	＋ 5V 電源
9	TMDS データ 0 −	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック＋		

● DisplayPort IN 端子（DisplayPort）

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	メインリンク レーン 3 −	11	接地 0
2	接地 3	12	メインリンク レーン 0 ＋
3	メインリンク レーン 3 ＋	13	コンフィグ 1
4	メインリンク レーン 2 −	14	コンフィグ 2
5	接地 2	15	補助チャネル＋
6	メインリンク レーン 2 ＋	16	接地 4
7	メインリンク レーン 1 −	17	補助チャネル−
8	接地 1	18	ホットプラグ検知
9	メインリンク レーン 1 ＋	19	リターン
10	メインリンク レーン 0 −	20	+3.3V 電源

● Ethernet/HDBaseT ポート（RJ-45）

ピン番号	信号
1	TxD ＋ / HDBT0 ＋
2	TxD − / HDBT0 −
3	RxD ＋ / HDBT1 ＋
4	非接続 / HDBT2 ＋
5	非接続 / HDBT2 −
6	RxD − / HDBT1 −
7	非接続 / HDBT3 ＋
8	非接続 / HDBT3 −

● USB ポート（USB タイプ A）

ピン番号	信号
1	V_{BUS}
2	D −
3	D ＋
4	接地

● PC CONTROL 端子（D-Sub 9 ピン）

ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD　受信データ
3	TxD　送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS　送信要求
8	CTS　送信可
9	未使用

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	31
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	193
	標高約 760m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高速」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高速」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後、光源の温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	115
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	44
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマー、オートパワーオフ、またはプログラムタイマーを「オン（時間を選択）」にしていませんか。	133,134, 118
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	35
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	142 ～ 152
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	95
	(SHUTTER)（レンズシャッター）または(AV-MUTE)（映像消去）ボタンが押されていませんか。	46
映像が出ない	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	176
	コンピュータ信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。	43
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、190 ページをご覧ください。	―

付録

9

映像が出ない	HDMI IN端子およびDisplayPort IN端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピュータに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピュータ、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバや最新OSのインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	HDBaseT対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。またIR、RS232Cが対応できない場合があります。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	83
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	135
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	55
	標高約760m未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高速」に設定してください。	115
映像が歪む	正しく設置されていますか。	38
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	51, 104
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	41
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	38
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	170
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	173
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号（RGB）の場合、(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。	43
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	50

水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	97
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	176
コンピュータ信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている	(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	43 96,97
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	28
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	27
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	28
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	28
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。 コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	122
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	192,193
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	44

コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。
特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
  水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(➡ 136 ページ)

●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
  Fn キーを押したまま（▭/▢）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
  通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

キー操作	メーカー
Fn + F2	MSI
Fn + F3	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
Fn + F4	HP、Gateway
Fn + F5	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
Fn + F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn + F8	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
Fn + F10	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

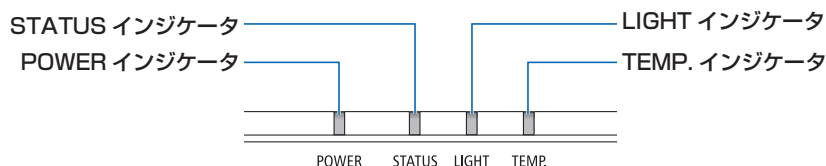
● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の 4 つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。

● POWER インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源が切れている	—
点滅	青色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	青色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態） プログラムタイマー （オフ時刻有効状態）	—
	オレンジ色（短い点滅）	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色（長い点滅）	プログラムタイマー （オン時刻有効状態）	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	赤色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ノーマル」）	—
	オレンジ色	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」）	—

● STATUS インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし、またはスタンバイ状態（スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」）	—
点滅	赤色（1 回周期）	レンズフードが装着されていない、またはポートレート投写時にセーフティカバー（別売）が装着されていない	レンズフード、セーフティカバーの状態を確認してください。
	赤色（4 回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
点灯	緑色	スタンバイ状態がスリープ状態※	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。（➲ 121 ページ）
		プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。（➲ 122, 123 ページ）

※スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。

● LIGHT インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		光源消灯	—
点灯	緑色	光源点灯中	—

● TEMP. インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色（2 回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。（このページ） 涼しい場所へ移動しても点滅する場合は、周囲温度測定機能が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
点灯	オレンジ色	高温（強制エコモード中）	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、TEMP. インジケータが点滅します（2 回点滅の繰り返し）。
同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。
このようなときは、以下のことを行ってください。

・電源プラグをコンセントから抜いてください。
・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。（159 ページ）
・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。　※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度　□常時　□時々(　　回中　　回)　□その他(　　　　　)

電源関係

□ 電源が入らない（電源インジケータが青色に点灯しない）。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ ⏻ボタンを押しても電源が入らない。
- □ 主電源スイッチは「入（I）」側になっている

□ 使用中、電源が切れる。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
- □ オフタイマーは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

□ コンピュータの画面が投写されない。
- □ コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。
- □ ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。
  Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]〜[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピュータによって異なります）。

□ 映像が出ない（ブルーバック・ロゴ・表示なし）。
- □ (AUTO ADJ.)ボタンを押してもなおらない。
- □ リセットを実行してもなおらない。
- □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
- □ 画面に何かメッセージが出ている。
  (　　　　　　　　　　)
- □ 接続している入力を選択している。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。

□ 映像が暗い。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。

□ 映像が歪む。
- □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。

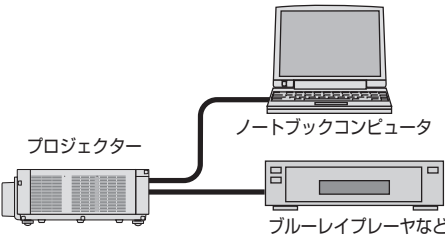
□ 映像が切れる。
- □ (AUTO ADJ.)ボタンを押してもなおらない。
- □ リセットを実行してもなおらない。
- □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
- □ コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 数ドット欠けている。

□ 映像がちらつく。
- □ (AUTO ADJ.)ボタンを押してもなおらない。
- □ リセットを実行してもなおらない。
- □ コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
- □ ファンモードを「高速」から「自動」にしてもなおらない。

□ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。

その他

□ リモコンが利かない。
- □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
- □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □ プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。

□ 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において
- □ 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
- □ 本体の(SOURCE)ボタンを10秒以上押してもなおらない。

索引

数字／アルファベット

3D 57
3D エミッタ 59
3D メガネ 57, 116
3D 設定 102
3D 視聴注意メッセージ 112
4 点補正 51, 105
AC IN 端子 20, 31
AMX BEACON 66, 129
AV ミュート 46
Brilliant Color 94
CRESTRON 66, 130
DHCP 64, 126
DICOM SIM. 92
DisplayPort 23, 143
DLP® Link 57, 116
DNS 64, 127
Ethernet/HDBaseT ポート 23, 151, 152
HDBaseT 124, 152
HDCP 149, 182
HDMI 23, 143, 145
HTTP 61, 129
ID 表示 111
IP アドレス 61, 64, 126
L/R 反転 102
LAN 151, 164, 167
LIGHT（リモコン） 27
LIGHT インジケータ 21, 193
MAC アドレス 136
NEC Projector CD-ROM 17, 160
PC Control Utility Pro 4 160, 168
PC Control Utility Pro 5 160, 169
PC ツール 107
PIP/PICTURE BY PICTURE 72, 103
PIP 設定 103
PJLink 129
POWER インジケータ 21, 192
SLOT 174
SLOT 電源 134
sRGB 92
STATUS インジケータ 21, 192
TEMP. インジケータ 21, 193
Virtual Remote Tool 160, 164

五十音

【ア行】
明るさ 95
アスペクト 98
アドバンストメニュー 83, 117
アラートメール 128
位相 97
色温度 94
色補正 95
インジケータ表示 192
インジケータ表示部 21
映像 92
映像設定（マルチスクリーン） 109
エッジブレンディング 74, 108
オートパワーオフ 133
オートパワーオン選択 133
オーバースキャン 98
オフタイマー 79, 134
オプションボード 174
オンスクリーンミュート 47
オンスクリーンメニュー 79, 83
温度プロテクタ 193

【カ行】
カーボンメータ 50
解像度 100, 176
画像設定 96
壁色補正 114
画面モード 94
カラー 95
カラー方式 131
ガンマ補正 93
管理者モード 117
キーワード 54, 122
幾何学補正 104
基準ホワイトバランス 116
輝度一定モード（ライトモード） 115
吸気口 20
強制エコモード 50, 79
クローズドキャプション 131
クロック周波数 96
黒レベル（エッジブレンディング） 77, 108
ゲートウェイ 64, 126
言語 33, 111

コントラスト 95
コントロール ID 122
コンピュータケーブル 31, 142, 150

【サ行】
サブ入力 103
サブネットマスク 64, 126
参照 93
色相 95
自動調整 43
自動調整（入力設定） 130
シャープネス 95
詳細設定 93
上端 / 下端 / 左端 / 右端（エッジブレンディング） 108
情報 136
初期入力選択 36, 131
信号形式 101
スイートビジョン 101
スタッキングホルダー 17, 157
垂直 97
水平 97
スクリーンサイズ（映像） 93
スクリーンサイズ（投写距離） 170, 172
スタンバイモード 132
制御 117
静止 47
セーフティカバー 153, 155
セキュリティ 54, 122
セキュリティバー 20
接続端子部 20, 23
設置 113
セットアップ 111

【タ行】
台形歪み 51
台形補正 104
ダイナミックコントラスト 94
ダイレクトパワーオン 133
調整 92
調整（ライトモード） 115
チルトフット 19, 42
ツール 117
ツールバー（Virtual Remote Tool） 164
通信速度 122
デインターレース 101
テストパターン 88
電源 32, 44
電源コード 4, 17, 31, 45
電源設定 132
電池 27
投写距離 170
投写方法 113
盗難防止用ロック 20
ドメイン 65, 127, 128

【ナ行】
入力信号 35
入力信号解像度 100
入力設定 130
入力端子 23, 88
入力端子表示 111
ネットワークサービス 129
ネットワーク設定 64, 125
ノイズリダクション 100

【ハ行】
バックグラウンド 131
日付と時刻設定 121
表示 103
表示位置入替え 103
表示境界 104
表示時間 112
表示色選択 111
ピンクッション補正 107
ビデオ 100
ビデオレベル 101
ファンモード 79, 115
フォーマット（3D） 102
部分拡大 48
ブランキング 97
プリセット 92
プログラムタイマー 118
プロジェクター調整 62
プロジェクター名 65, 127
ベーシックメニュー 83, 117
防塵キャップ 17, 140
ホワイトバランス 94
ホワイトバランス（マルチスクリーン） 109
ポートレート 153
本体キーロック 121
本体操作部 19, 21

【マ行】
マウス設定 121
マルチスクリーン 67, 109
メール通知 128
メニュー設定 111

付録

9

メニューモード	117
モード	92
モード（エッジブレンディング）	108
モード（表示）	103
文字入力画面	82

【ヤ行】

有線 LAN	61, 64, 66, 126 151,

【ラ行】

ライトモード	115
ライト使用時間	136
リセット	135
リセット（映像）	96
リセット（幾何学補正）	107
リモコン	17, 25
リモコン受光部	19, 28
リモコン受光部設定	124
レンズ	19, 158
レンズシフト	39, 173
レンズシャッター	46
レンズフード	19, 139
レンズマウント	139
レンズユニット	11, 138
ロゴ	131, 164

本製品に含まれるTOPPERS 適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には TOPPERS License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about TOPPERS」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。

別売品／商標について

●別売品

商　品　名			型　名
レンズユニット	NP-PX602UL-WHJD 用	ズームレンズ	NP34ZL
		ズームレンズ	NP35ZL
		ズームレンズ	NP37ZL
	NP-PX602WL-WHJD 用	ズームレンズ	NP34ZL
		ズームレンズ	NP35ZL
		ズームレンズ	NP36ZL
		ズームレンズ	NP37ZL
天吊り金具	天井用取付けユニット		NP15CM
セーフティカバー			NP07CV
3G/HD/SD-SDI ボード			SB-04HC

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

次ページに続く

●商標について

- ViewLight、ビューライト、AccuBlend、スイートビジョンは、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Apple、Mac、MacBook 、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe PDF、Adobe Reader、および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の登録商標または商標です。

- DisplayPort, DisplayPort Compliance Logo は Video Electronics Standards Association の商標です。

- HDBaseT は、HDBaseT Alliance の商標です。

- DLP（Digital Light Processing）、BrilliantColor はテキサス・インスツルメンツの商標です。
- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

・本体：お買い上げ日から 1 年間です。（ただし添付品は除く）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（➡187 ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（➡194, 195 ページ）で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	NEC プロジェクター
型　　名	NP-PX602UL-WHJD/ NP-PX602WL-WHJD
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎（　　）　ー

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

・ 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋
・ 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋
・ 引取費用
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL 0120-610-161　**FAX 0120-134-516**

受付時間　9:00〜18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ　**http://www.nec-display.com/jp/support/projector/**

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料

● より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法　本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ　**http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/**

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社